

江別市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査報告書

令和6年3月
江 別 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と実施方法	1
3. 配布と回収状況	1
4. 調査結果の見方	2
II 就学前調査	3
1. お子さんご家族の状況について	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	5
3. 保護者の就労状況について	13
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について	22
5. 地域の子育て支援事業の利用について	29
6. 土日等の休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について	32
7. お子さんの病気の際の対応について	35
8. 一時預かり等の不定期の教育・保育事業の利用について	40
9. 就学後における放課後の過ごし方について	43
10. 育児休業等の職場の両立支援制度について	47
11. 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望について	55
12. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	57
III 小学生調査	66
1. お子さんご家族の状況について	66
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	68
3. 保護者の就労状況について	73
4. 放課後の過ごし方について	82
5. お子さんの病気の際の対応について	86
6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	90
7. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	91
IV 資料編	100
1. 就学前調査 単純集計表	100
2. 小学生調査 単純集計表	121
3. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査票 就学前子ども用	132
4. 子ども・子育て支援に関するニーズ調査票 小学生用	154

I 調査の概要

1. 調査の目的

現行の江別市子ども・子育て支援事業計画が2025年度で終了となることから、第3期江別市子ども・子育て支援事業計画(2026年～30年度)策定の基礎資料とするために実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象(母集団)	実施方法
就学前子どもアンケート	市内の就学前(0～5歳) 5,283人の保護者	無作為抽出 1,500人 郵送による配布 郵送・WEBによる回収
小学生アンケート	市内の就学児童(小学1～6年生) 5,907人の保護者	無作為抽出 1,500人 郵送による配布 郵送・WEBによる回収

【基準日】令和5年11月1日

【調査期間】令和6年1月22日～2月2日

3. 配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

	配布数(件)	回収数(件)		回収率(%)
		紙	WEB	
就学前子どもアンケート	1,500	342	769	51.3
		427		
小学生アンケート	1,500	285	696	46.4
		411		

4. 調査結果の見方

設問ごとにその設問内容を示すタイトルをつけています。

タイトルの横には、次のデータを掲載しています。

- ・ 限定設問である場合の回答対象者
- ・ 質問形態（SA=単数回答、MA=複数回答、FA=文字記述、NA=数量回答）

SA=単数回答：「1つに○」等、選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答：「あてはまるものすべてに○」等、選択肢を2つ以上選ぶ質問形態

FA=文字記述回答

NA=数量回答：日数や時間、回数などの数値を記入してもらう質問形態

- ・ 集計結果のグラフ・表における「無回答」は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（単数回答設問における複数回答等）の件数を示しています。
- ・ 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ・ 集計は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ・ グラフ上で表している数値については、表現の都合により2.0%未満を掲載していない場合があります。
- ・ お子さんの年齢を示す設問については、
「平成29年4月2日～30年4月1日」は「6歳」、
「平成30年4月2日～31年4月1日」は「5歳」、
「平成31年4月2日～令和2年4月1日」は「4歳」、
「令和2年4月2日～3年4月1日」は「3歳」、
「令和3年4月2日～4年4月1日」は「2歳」、
「令和4年4月2日～5年4月1日」は「1歳」、
「令和5年4月2日～」は「0歳」と掲載しています。

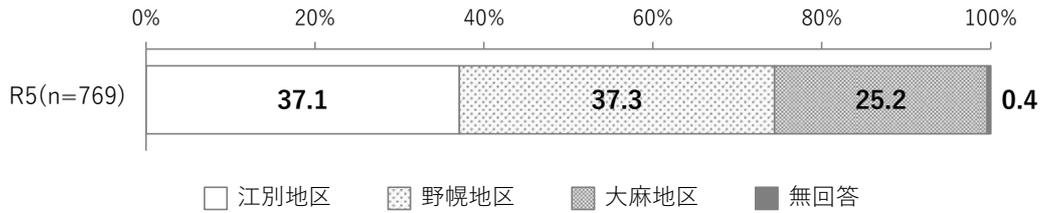
II 就学前調査

1. お子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地域 (FA)

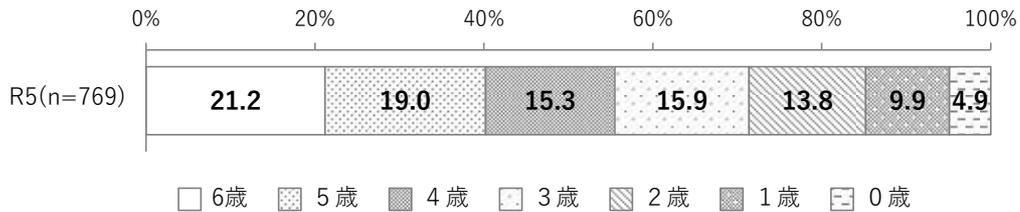
「江別地区」が37.1%、「野幌地区」が37.3%、「大麻地区」が25.2%となっています。

図表1 お住まいの地域



問2 お子さんの年齢 (SA)

図表2 お子さんの年齢

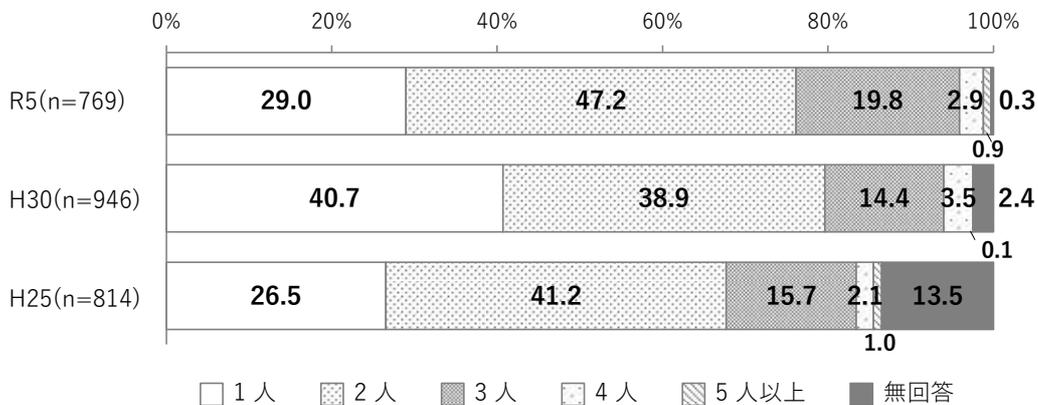


問3 お子さんの人数と末子の生年月 (NA)

「2人」が47.2%で最も多く、次いで「1人」が29.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「2人」が8.3ポイント増加しています。

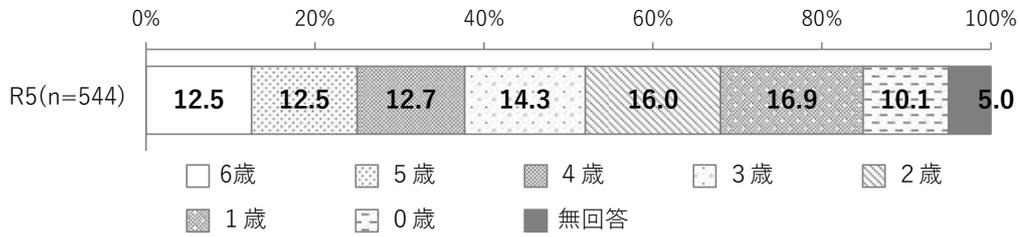
図表3 お子さんの人数



回答条件：兄弟が2人以上の人

「1歳」が16.9%、「2歳」が16.0%、「3歳」が14.3%となっています。

図表4 末子の年齢

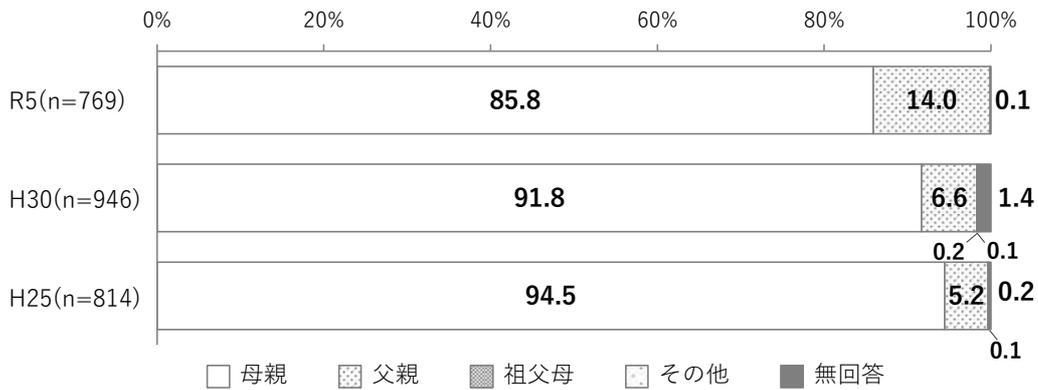


問4 回答者 (SA)

「母親」が85.8%となっています。

前回調査 (H30) と比べて「父親」が7.4ポイント増加しています。

図表5 回答者



問5 回答者の配偶関係 (SA)

回答条件：母親もしくは父親が回答した人

「配偶者がいる」が94.5%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

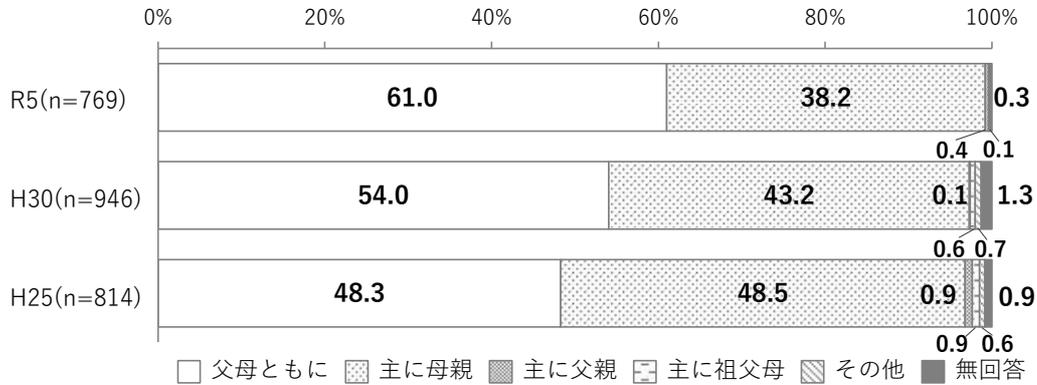
図表6 回答者の配偶関係



問6 子育てを主に行っている人 (SA)

「父母ともに」が61.0%と最も多く、次いで「主に母親」が38.2%となっています。
 前回調査 (H30) と比べると、「父母ともに」が7.0ポイント増加しています。

図表7 子育てを主に行っている人

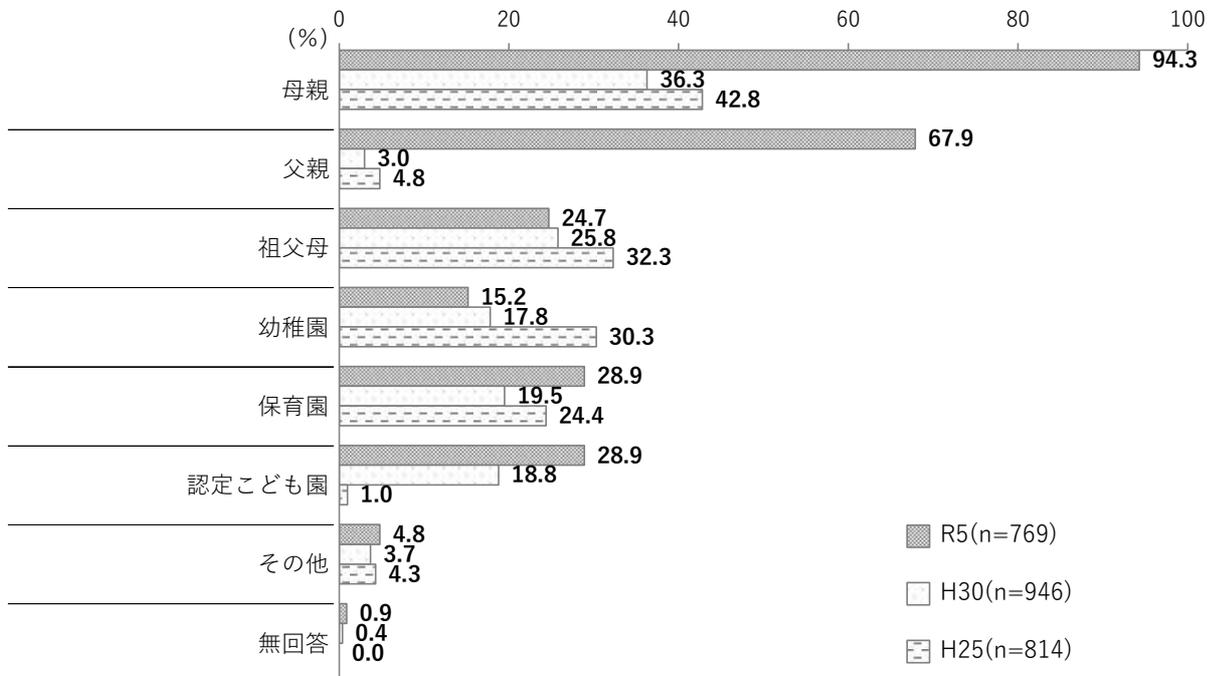


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 子育てに日常的に関わっている人 (MA)

「母親」が94.3%で最も多く、次いで「父親」が67.9%となっています。

図表8 子育てに日常的に関わっている人



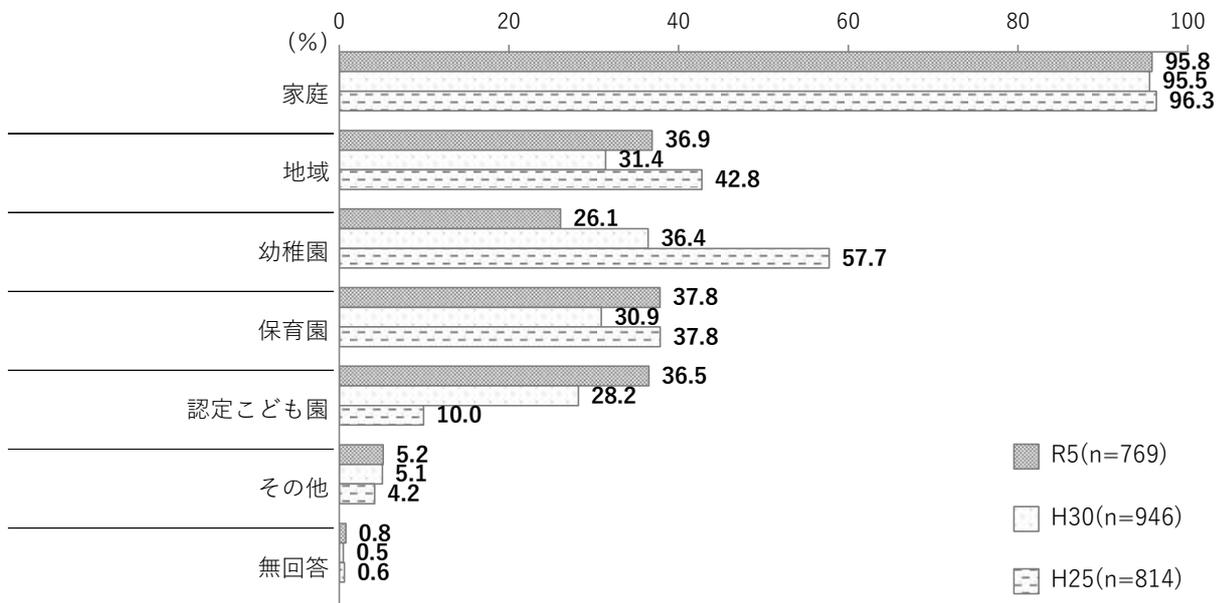
※前回調査までは「父母ともに」という選択肢がありました。

問8 子育てに影響すると思う環境 (MA)

「家庭」が95.8%と最も多く、次いで「保育園」が37.8%、「地域」が36.9%、「認定こども園」が36.5%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「幼稚園」が10.3ポイント減少しています。

図表9 子育てに影響すると思う環境

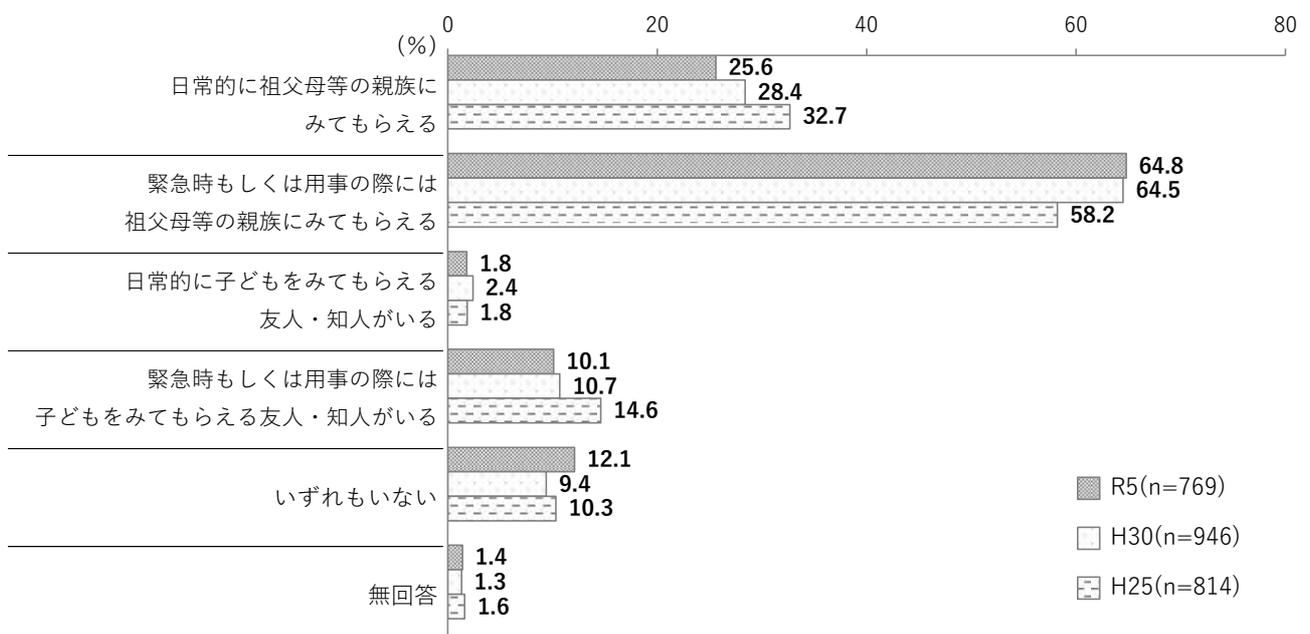


問9 お子さんをみてもらえる親族・知人 (MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が25.6%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表10 お子さんをみてもらえる親族・知人



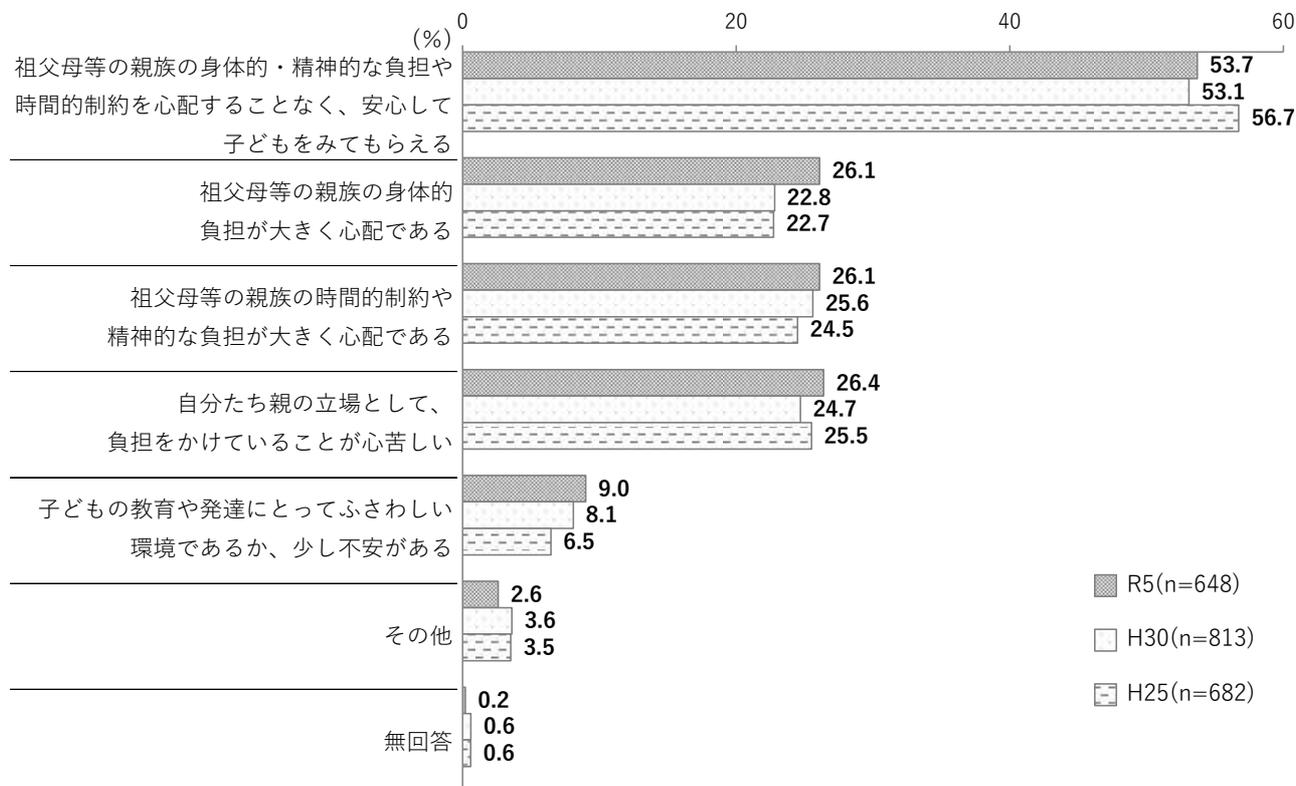
問9-1 祖父母等の親族にみてもらう状況 (MA)

回答条件：祖父母に子どもをみてもらえる人

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.7%と最も多くなっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 11 祖父母等の親族にみてもらう状況

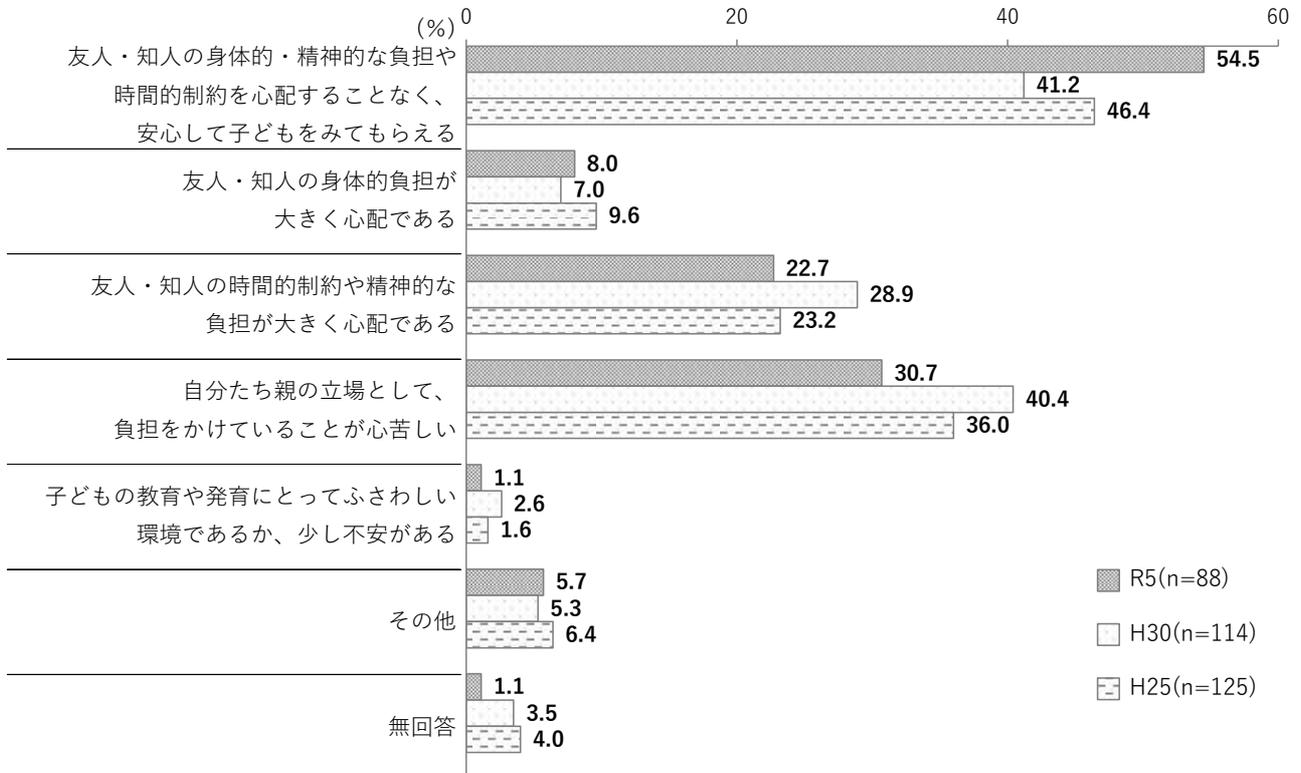


問9-2 友人・知人にみてもらう状況 (MA)

回答条件：友人・知人に子どもをみてもらえる人

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が54.5%と最も多く、前回調査（H30）と比べると13.3ポイント増加しています。

図表 12 友人・知人にみてもらう状況

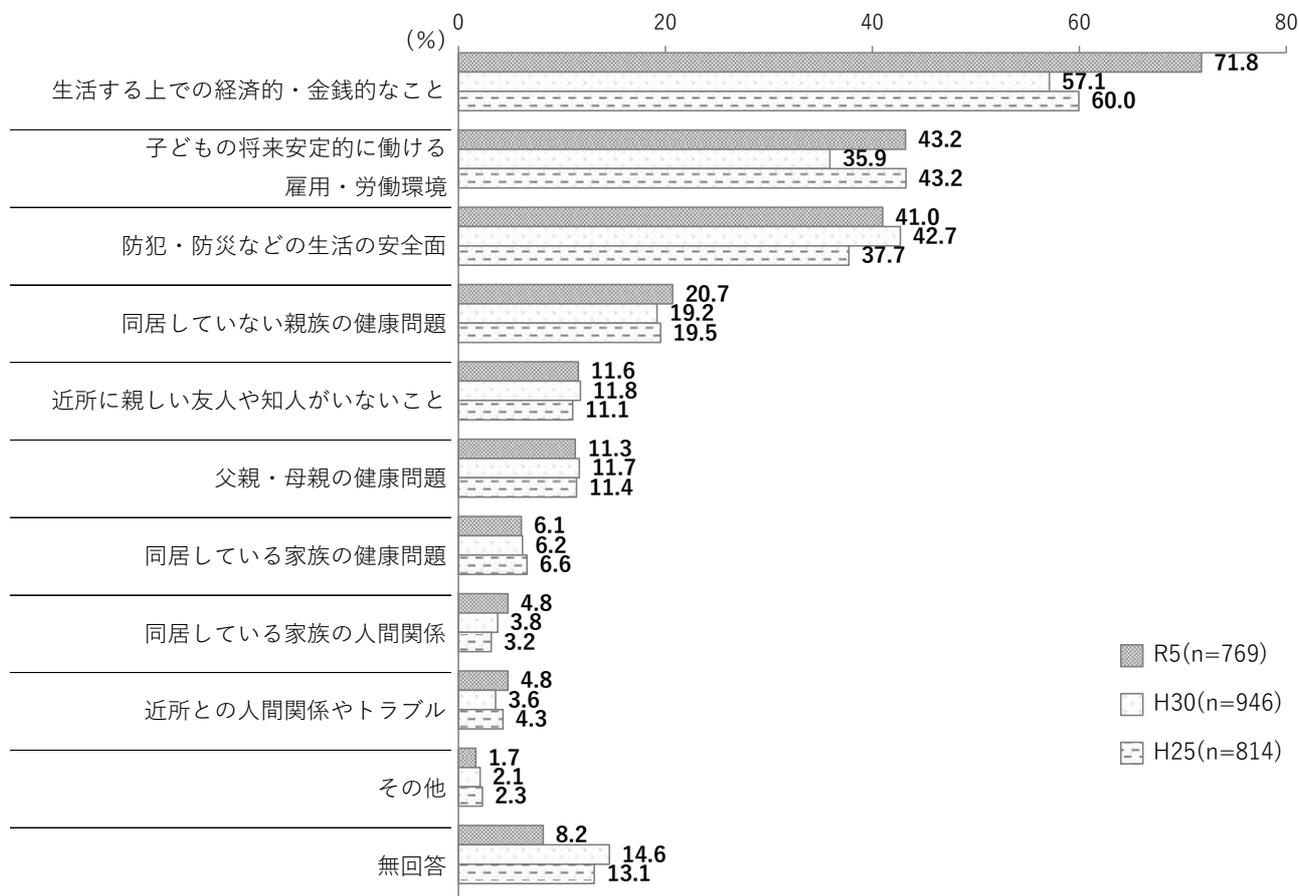


問 10 (1) 家庭で気になっていること 生活全般 (MA)

「生活する上での経済的・金銭的なこと」が71.8%で最も多く、次いで「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が43.2%、「防犯・防災などの生活の安全面」が41.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「生活する上での経済的・金銭的なこと」が14.7ポイント増加しています。

図表 13 家庭で気になっていること 生活全般

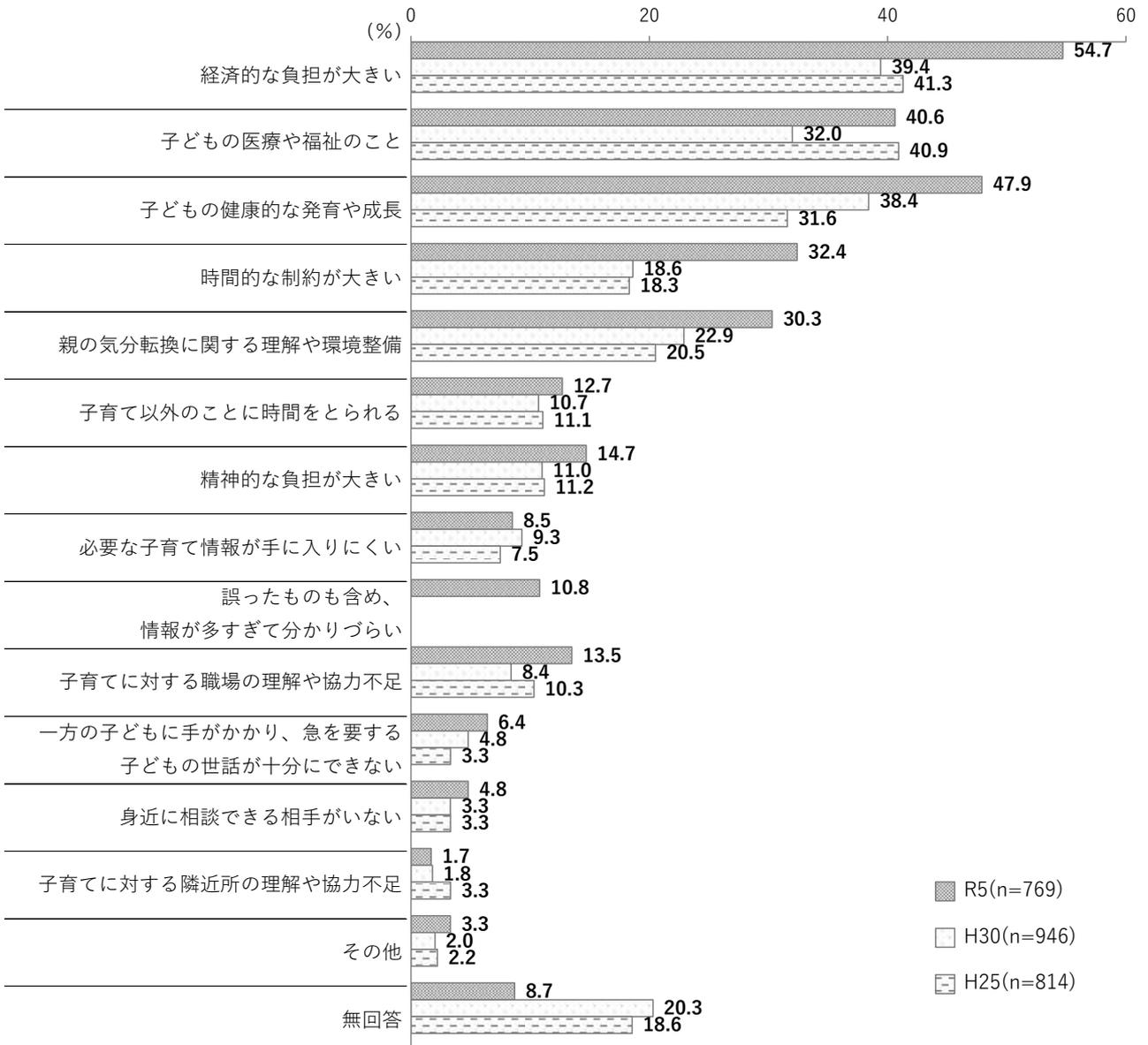


問 10 (2) 家庭で気になっていること 子育て (MA)

「経済的な負担が大きい」が54.7%で最も多く、次いで「子どもの健康的な発育や成長」が47.9%、「子どもの医療や福祉のこと」が40.6%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「経済的な負担が大きい」が15.3ポイント、「時間的な制約が大きい」が13.8ポイント増加しています。

図表 14 家庭で気になっていること 子育て

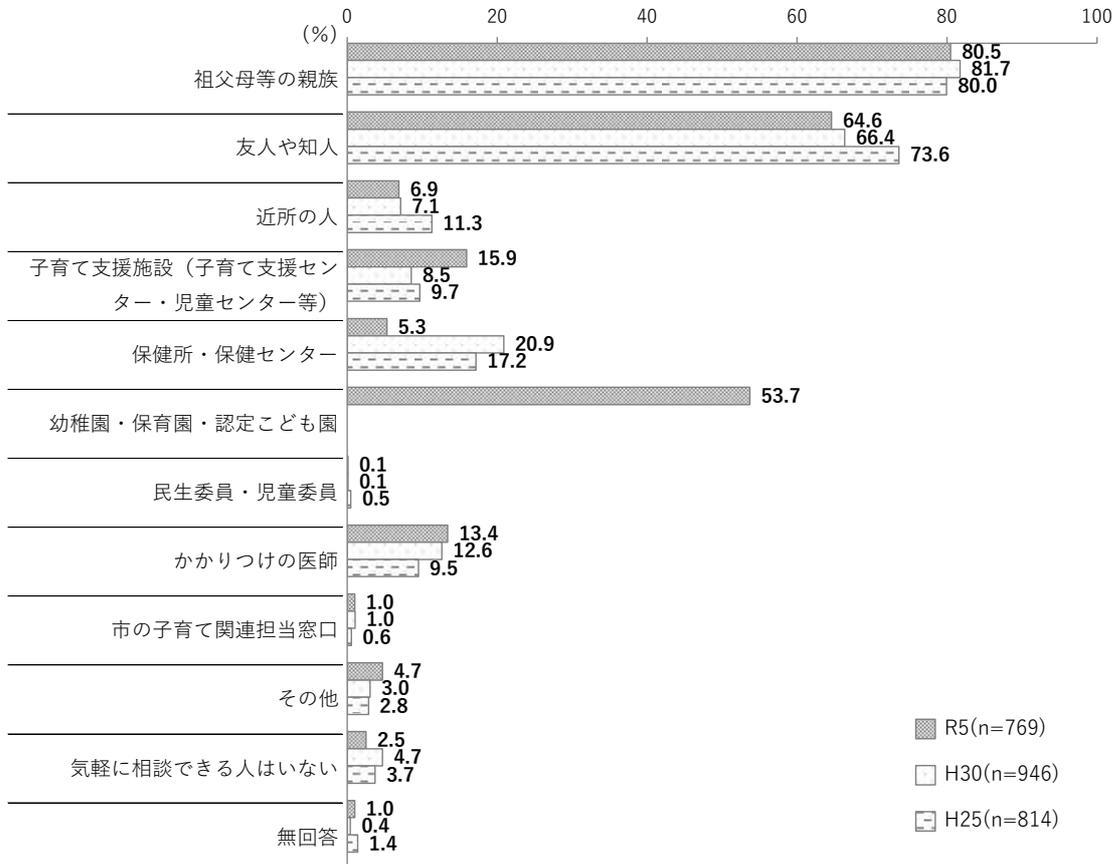


※「誤ったものも含め、情報が多すぎて分かりづらい」は新規の選択肢です。

問 11 相談先 (MA)

「祖父母等の親族」が80.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が64.6%となっています。
 前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 15 相談先



※「幼稚園・保育園・認定こども園」は新規の選択肢です。
 ※「子育て支援施設 (子育て支援センター・児童センター等)」は前回調査までと表現が異なります。
 ※H25、H30 調査は今回の設問設計に合わせて再集計を行っています。

		問11 相談先												
		合計	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設 (子育て支援センター・児童センター等)	保健所・保健センター	幼稚園・保育園・認定こども園	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	市の子育て関連担当窓口	その他	気軽に相談できる人はいない	無回答
上段：実数	下段：比率													
全体		769	619	497	53	122	41	413	1	103	8	36	19	8
		100.0	80.5	64.6	6.9	15.9	5.3	53.7	0.1	13.4	1.0	4.7	2.5	1.0
問5 配偶関係	配偶者がいる	726	587	466	51	116	35	391	1	99	8	33	19	8
		100.0	80.9	64.2	7.0	16.0	4.8	53.9	0.1	13.6	1.1	4.5	2.6	1.1
	配偶者がいない	41	30	30	2	5	6	21	-	4	-	3	-	-
		100.0	73.2	73.2	4.9	12.2	14.6	51.2	-	9.8	-	7.3	-	-
問9 お子さんをみてもらえる親族・知人	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	197	186	128	16	36	12	104	-	32	3	8	1	-
		100.0	94.4	65.0	8.1	18.3	6.1	52.8	-	16.2	1.5	4.1	0.5	-
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	498	421	336	34	87	24	275	1	72	5	20	8	1
		100.0	84.5	67.5	6.8	17.5	4.8	55.2	0.2	14.5	1.0	4.0	1.6	0.2
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	14	9	13	3	2	1	7	-	1	-	1	-	-
		100.0	64.3	92.9	21.4	14.3	7.1	50.0	-	7.1	-	7.1	-	-
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	78	67	72	21	13	4	53	-	15	1	6	-	-	
	100.0	85.9	92.3	26.9	16.7	5.1	67.9	-	19.2	1.3	7.7	-	-	
いずれもない	93	43	49	3	9	5	51	-	9	1	7	11	1	
	100.0	46.2	52.7	3.2	9.7	5.4	54.8	-	9.7	1.1	7.5	11.8	1.1	

問 12 周囲からあればよいと思うサポート (FA)

周囲からあればよいと思うサポートについて、345 人が回答しています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

○生活環境・遊び場
冬の遊び場が少ない。 公園の遊具の場所が暗く、防犯上好ましくない。
○地域における支援
子供向けの集まり、イベントを増やしてほしい。 地域で子供を見守れる取組があると安心。
○保育サービス
【一時預かり保育】 簡単に利用できるようにしてほしい。 一時あずかりの場所が少ない。 【保育園】 保育園にも認定こども園のような教育よみかき等のサポートがほしい。 保育園をもう少し増やしてほしい。 保活をもっとしやすく、保育園入りやすくしてほしい。 【認定こども園】 預りの料金をもう少し安くしてほしい。 【病児保育】 病児保育を増やしてほしい。 病児保育やファミサポがもっと利用しやすくしてほしい。
○情報提供
幼稚園については各家庭において自力で情報収集しなければいけないのが負担。 ネットだけでなく園からのお便りや何か紙でも送られてくると参考にしやすい。
○交通
保育園の送迎サービス、子育て世代への公共交通機関の利用パスポートがあればいい。 歩道にガードレールを設置して、パトロールを強化してほしい。
○健康・医療
未成年であるうちは、医療費を無償化してほしい。
○相談体制
メール、SNS で相談できるようにしてほしい。 大きな節目（入園のタイミング、入学の時など）に相談できる場があるといい。
○経済的支援
こども園の預りの料金をもう少し安くしてほしい。 児童手当の金額を増やしてほしい。 大きな病気の時の俊敏な対応と経済的なサポートがほしい。
○仕事と子育ての両立支援
小さな子がいても働ける場を提供して欲しい。 病児保育で預けられる時間がもう少し長くなれば、安心して仕事との両立ができます。
○その他
習いごとへの送迎サービスがあれば助かります。

3. 保護者の就労状況について

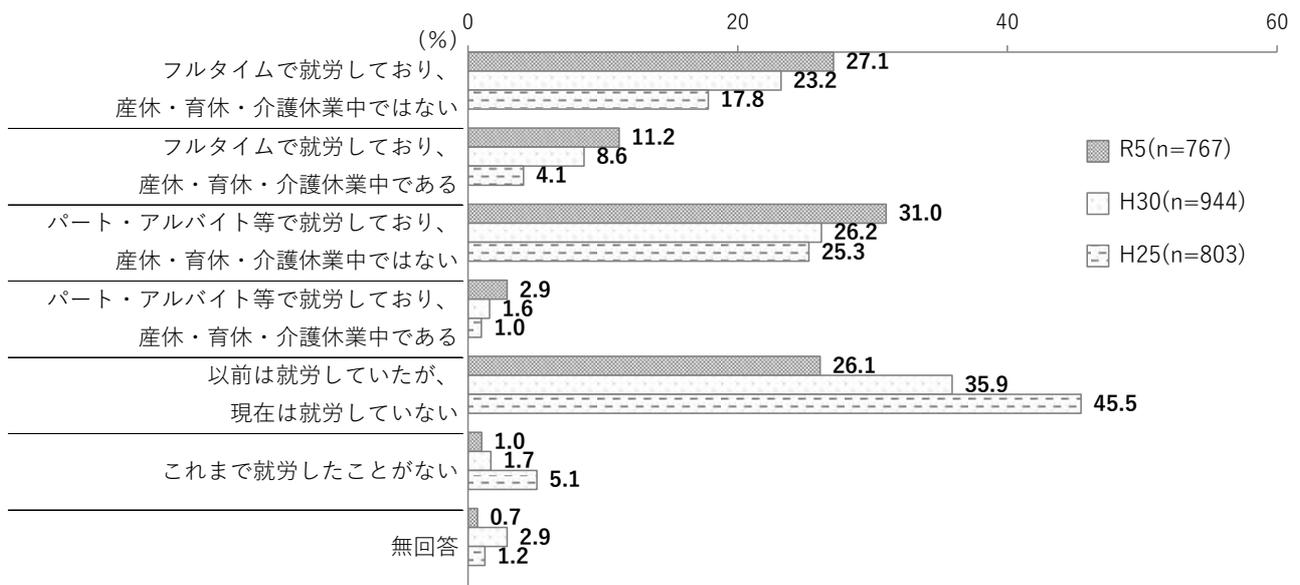
問 13 母親の就労状況 (SA)

回答条件：回答者=父親かつ配偶者いない人除く

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 31.0%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 27.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 26.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 9.8 ポイント減少しています。

図表 16 母親の就労状況



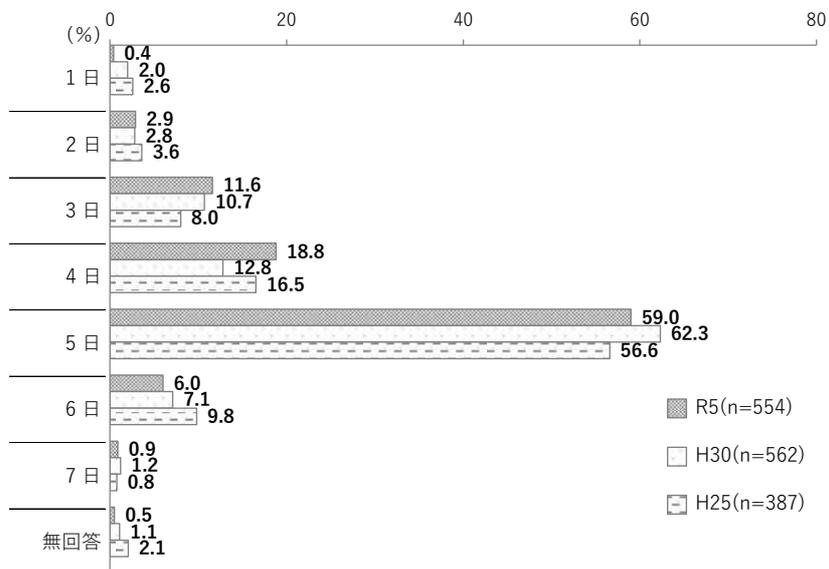
		問13 母親の就労状況							
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		767	208	86	238	22	200	8	5
		100.0	27.1	11.2	31.0	2.9	26.1	1.0	0.7
問2 お子さんの年齢	6歳	163	46	4	72	3	35	2	1
		100.0	28.2	2.5	44.2	1.8	21.5	1.2	0.6
	5歳	145	45	8	50	3	35	2	2
		100.0	31.0	5.5	34.5	2.1	24.1	1.4	1.4
	4歳	118	35.0	10.0	41.0	4.0	28.0	-	-
		100.0	29.7	8.5	34.7	3.4	23.7	-	-
	3歳	122	32	12	34	2	39	2	1
		100.0	26.2	9.8	27.9	1.6	32.0	1.6	0.8
2歳	105	35	17	22	2	28	1	-	
	100.0	33.3	16.2	21.0	1.9	26.7	1.0	-	
1歳	76	15	16	17	1	26	-	1	
	100.0	19.7	21.1	22.4	1.3	34.2	-	1.3	
0歳	38	-	19	2	7	9	1	-	
	100.0	-	50.0	5.3	18.4	23.7	2.6	-	

問 13-1 母親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

回答条件：母親が就労している人

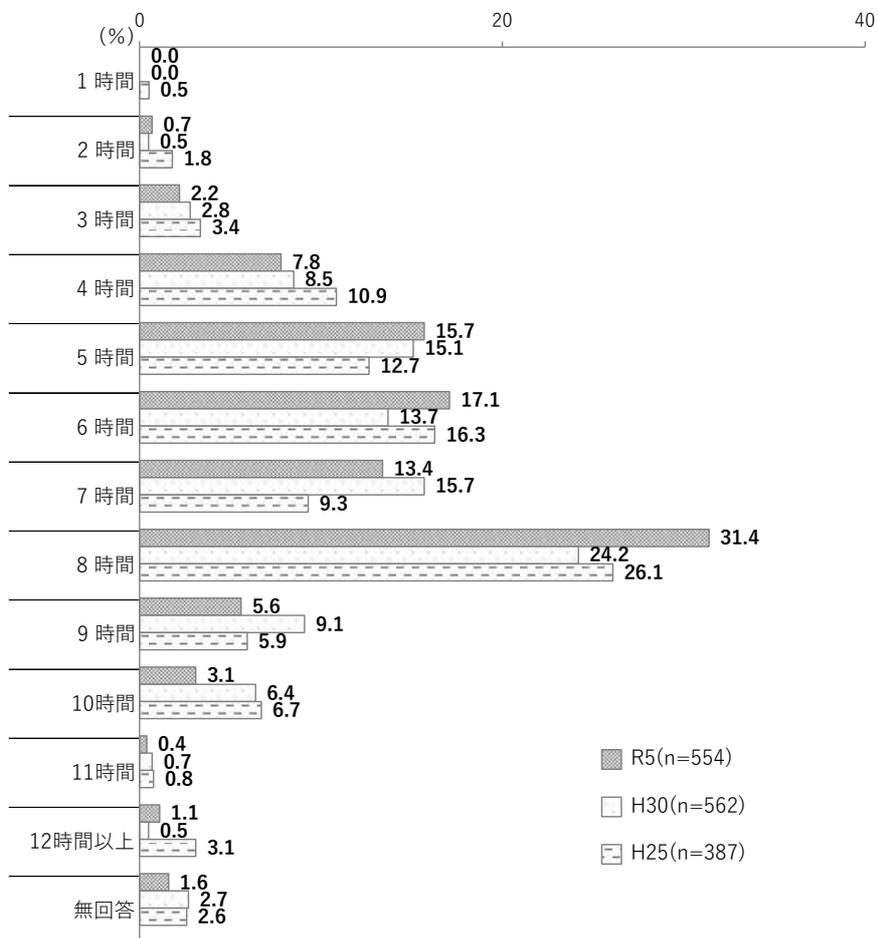
「5日」が59.0%と最も多くなっており、前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 17 母親の平均就労日数



「8時間」が31.4%と最も多く、次いで「6時間」が17.1%、「5時間」が15.7%となっています。前回調査（H30）と比べると「8時間」が7.2ポイント増加しています。

図表 18 母親の平均就労時間

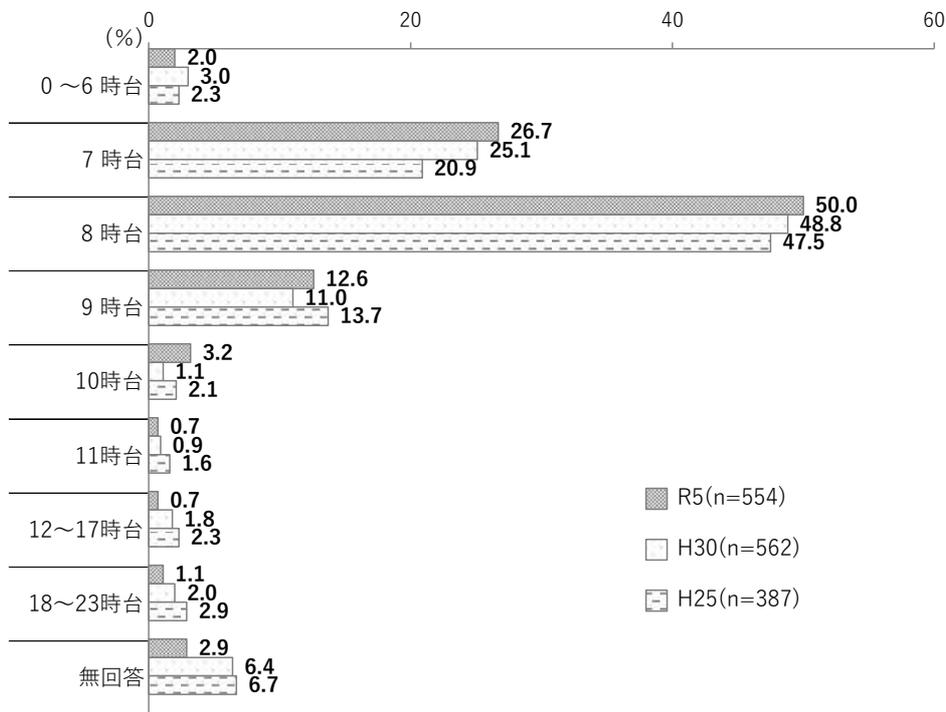


問 13-2 母親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

回答条件：母親が就労している人

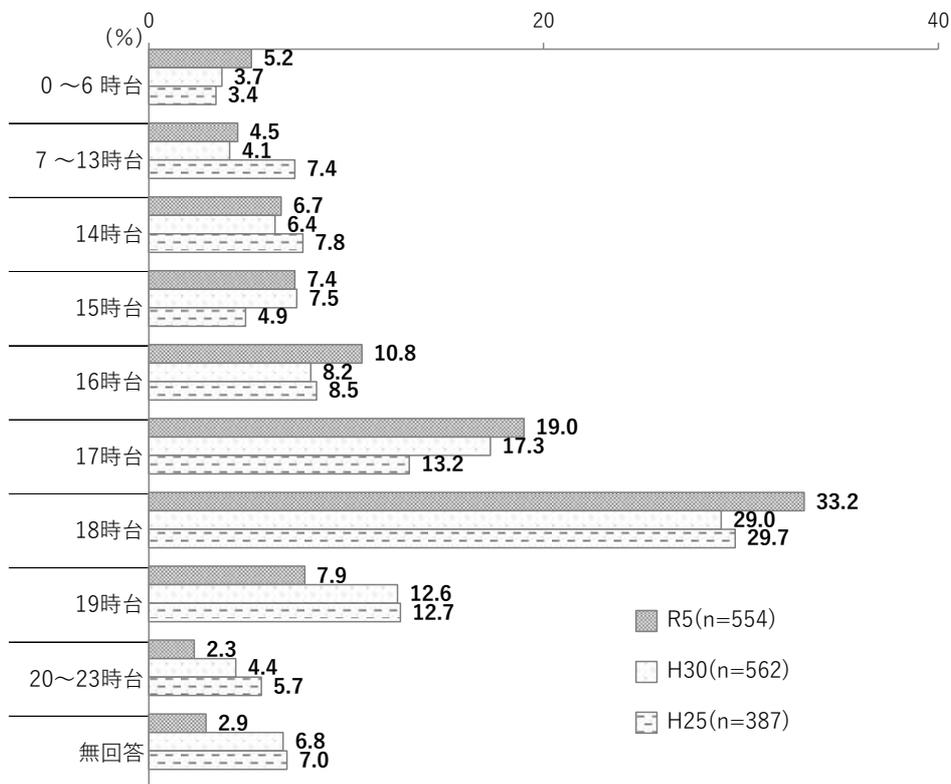
「8 時台」が 50.0%と最も多く、次いで「7 時台」が 26.7%、「9 時台」が 12.6%となっています。

図表 19 母親の家を出る時間



「18 時台」が 33.2%と最も多く、次いで「17 時台」が 19.0%、「16 時台」が 10.8%となっています。

図表 20 母親の帰宅時間



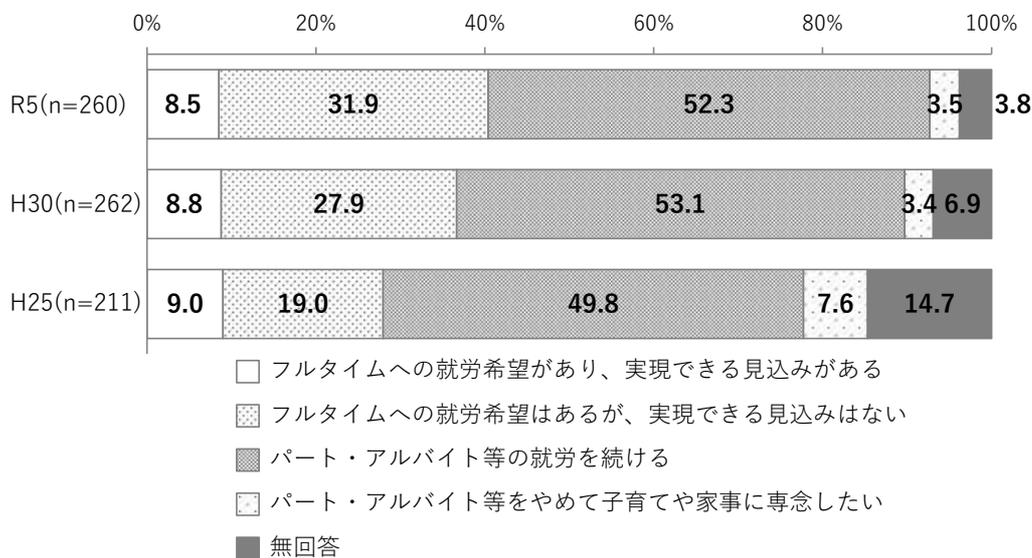
問 13-3 母親のフルタイムへの就労希望 (SA)

回答条件：母親がパート・アルバイト等で就労している人

「パート・アルバイト等の就労を続ける」が52.3%と最も多くなっています。

前回調査 (H30) と比べると、「フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が4.0ポイント増加しており、調査の度に増加しています。

図表 21 母親のフルタイムへの就労希望



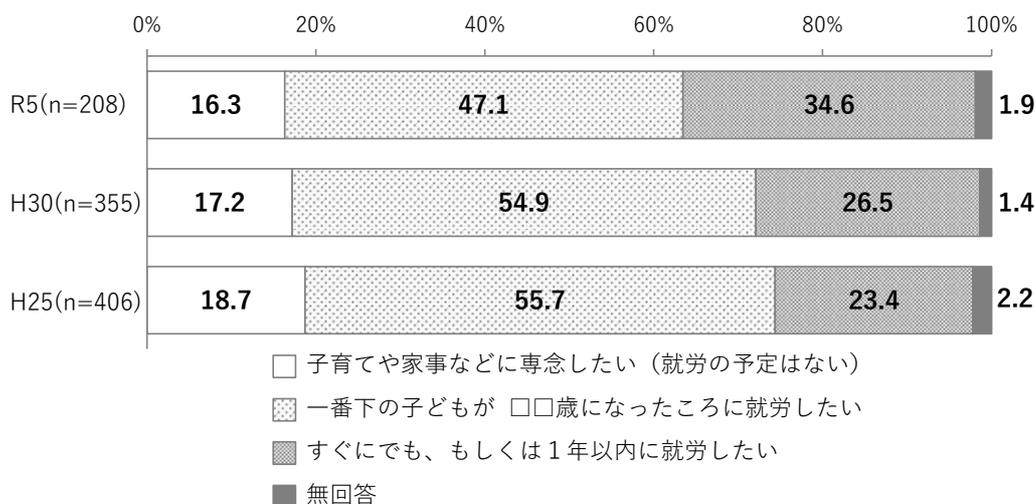
問 13-4 母親の就労希望 (SA)

回答条件：母親が現在就労していない人

「一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」が47.1%と最も多くなっています。

前回調査 (H30) と比べると「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が8.1ポイント増加しています。

図表 22 母親の就労希望

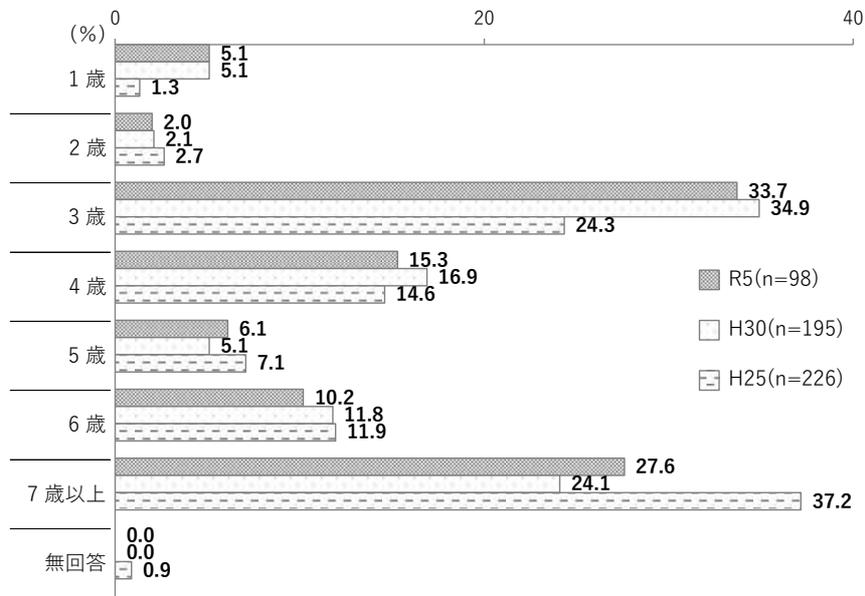


回答条件：母親が非就労かつ子どもが□□歳になったら就労したい人

「一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい」と回答した方の□□歳の年齢は、「3歳」が33.7%と最も多く、次いで「7歳以上」が27.6%、「4歳」が15.3%となっています。

前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 23 □□歳になったころ

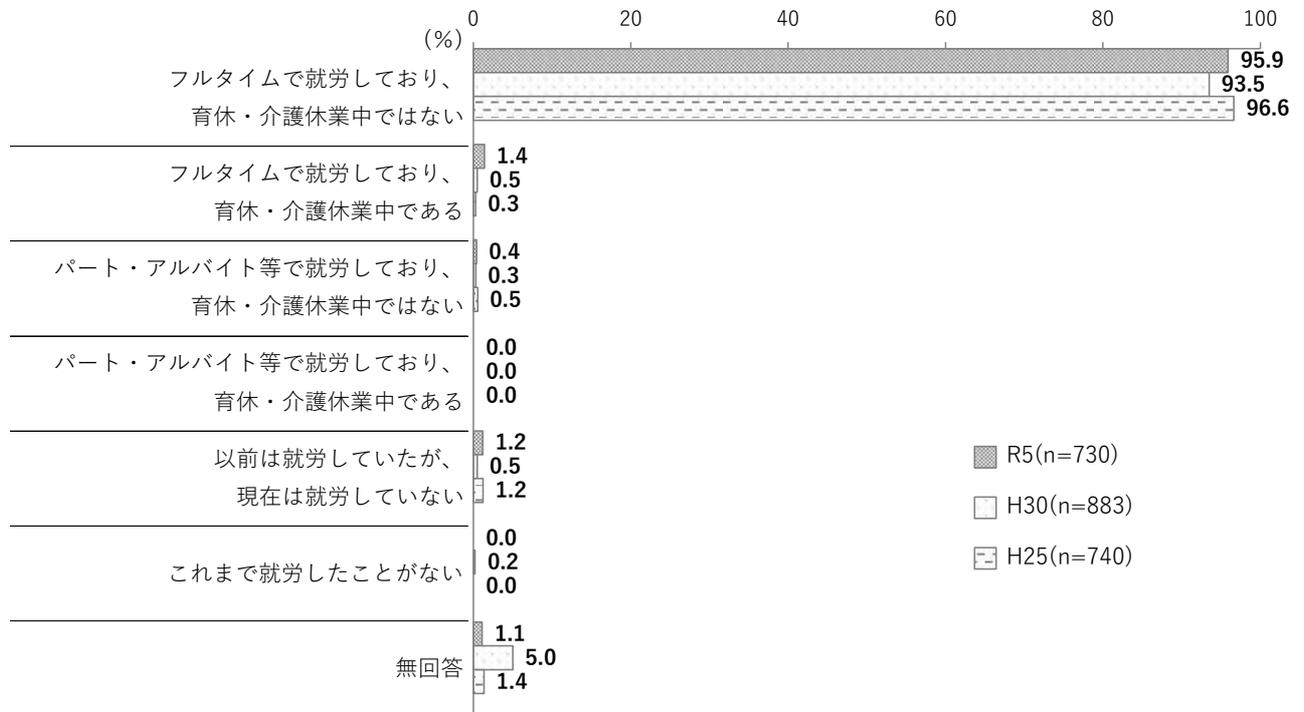


問 14 父親の就労状況 (SA)

回答条件：回答者=母親かつ配偶者いない人除く

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が95.9%と最も多くなっています。
 前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 24 父親の就労状況



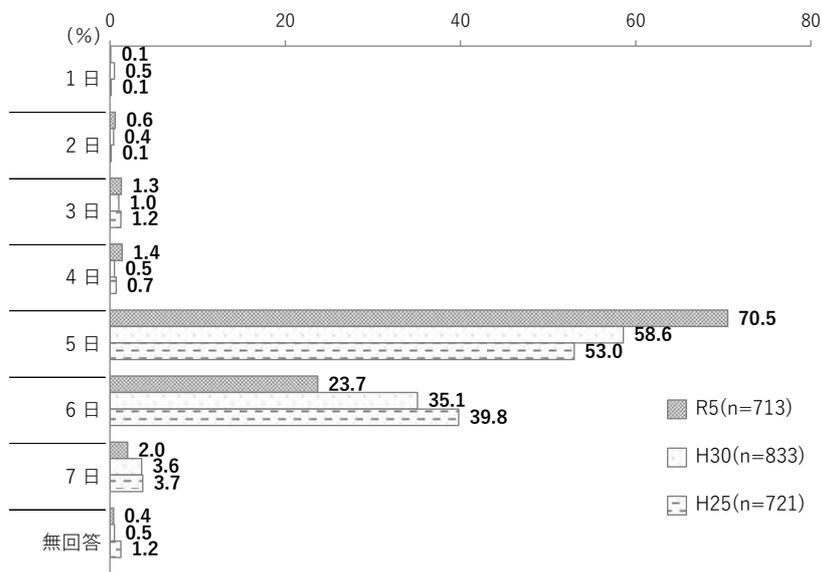
問 14-1 父親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

回答条件：父親が就労している人

「5日」が70.5%、「6日」が23.7%となっています。

前回調査 (H30) と比べると「5日」が11.9ポイント増加しています。

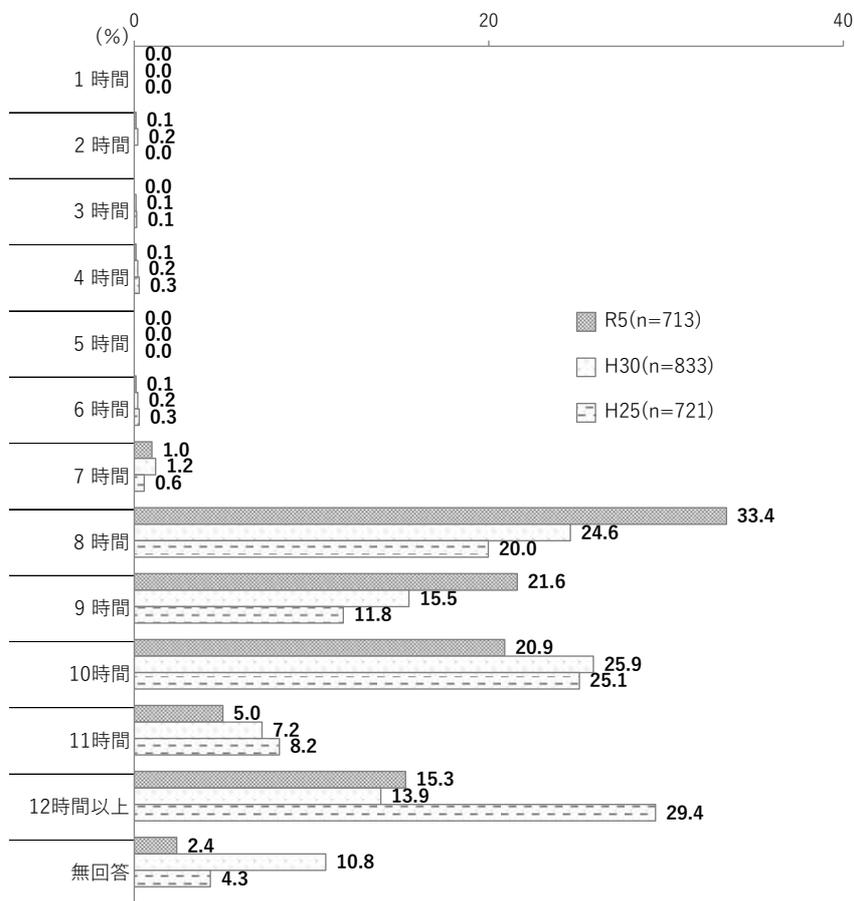
図表 25 父親の平均就労日数



「8時間」が33.4%と最も多く、次いで「9時間」が21.6%、「10時間」が20.9%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「8時間」が8.8ポイント増加しています。

図表 26 父親の平均就労時間

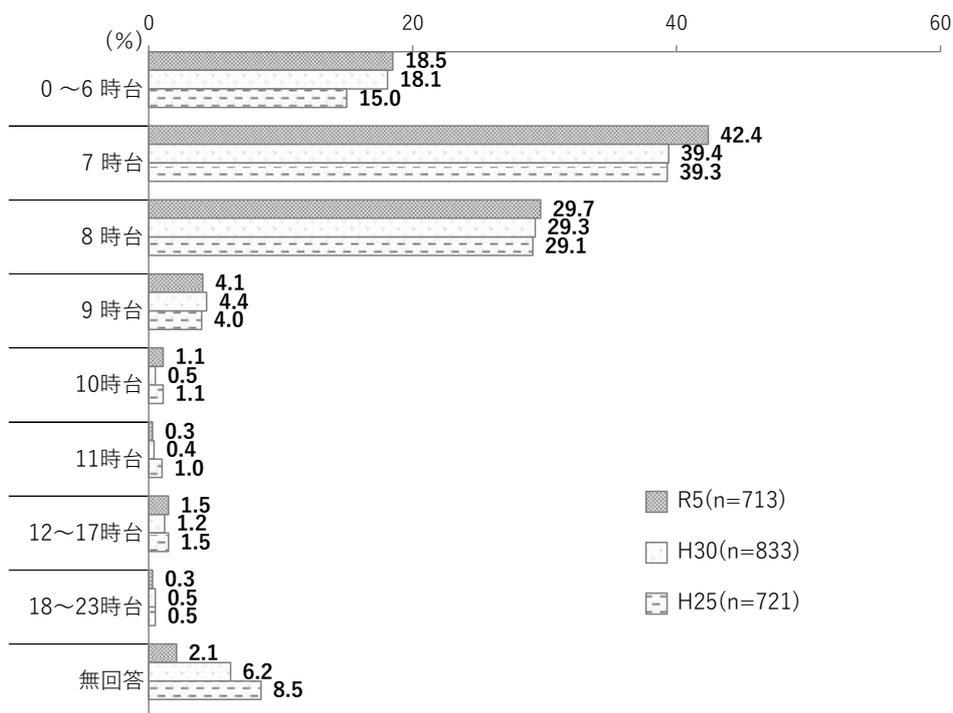


問 14-2 父親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

回答条件：父親が就労している人

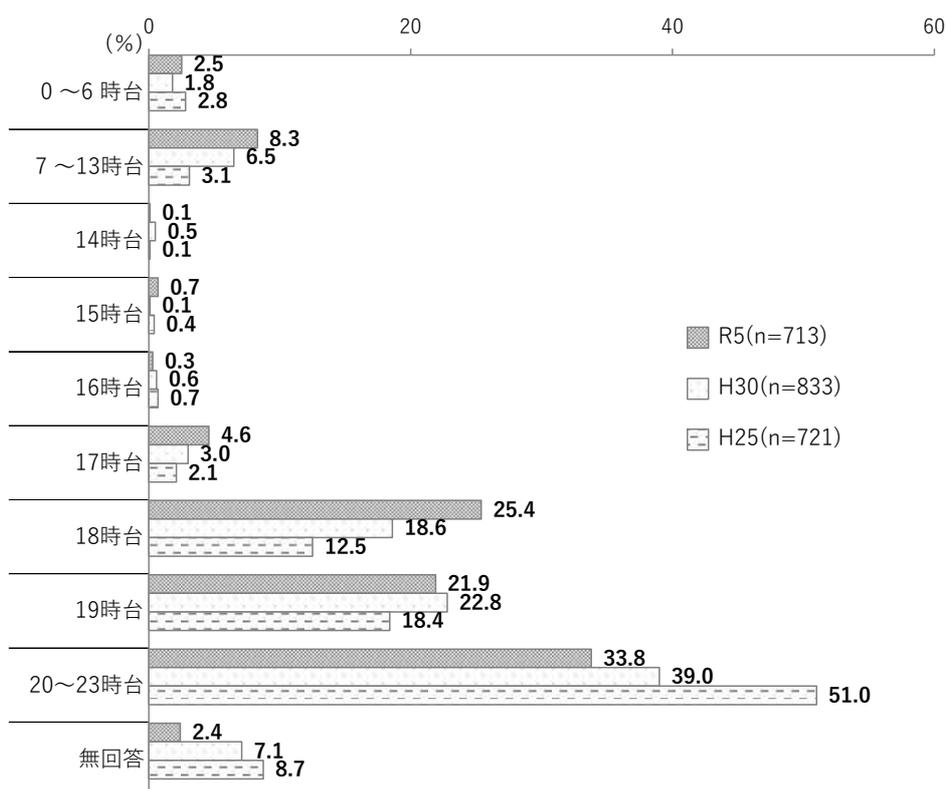
「7 時台」が 42.4%と最も多く、次いで「8 時台」が 29.7%、「0~6 時台」が 18.5%となっています。

図表 27 父親の家を出る時間



「20~23 時台」が 33.8%と最も多く、次いで、「18 時台」が 25.4%、「19 時台」が 21.9%となっています。

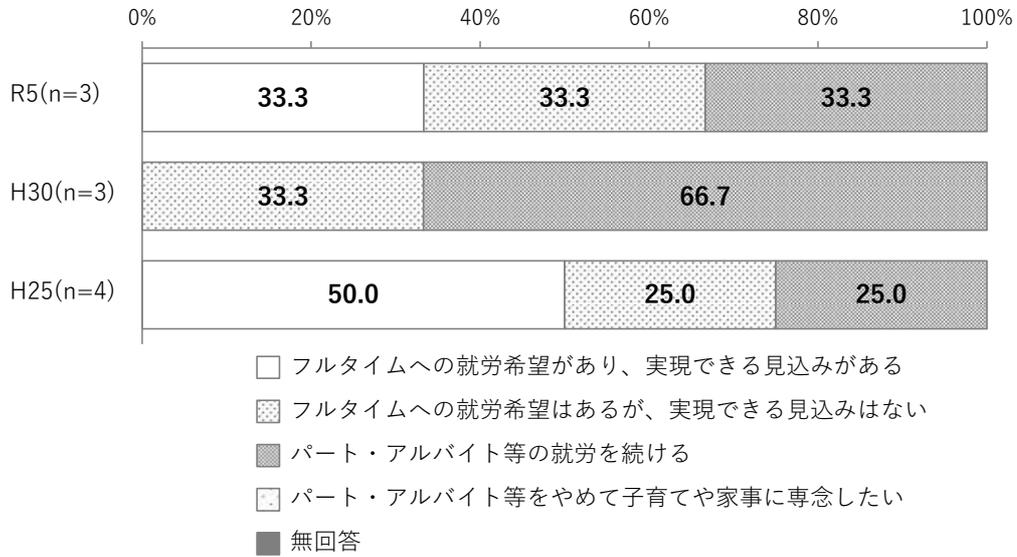
図表 28 父親の帰宅時間



問 14-3 父親のフルタイムへの就労希望 (SA)

回答条件：父親がパート・アルバイト等で就労している人

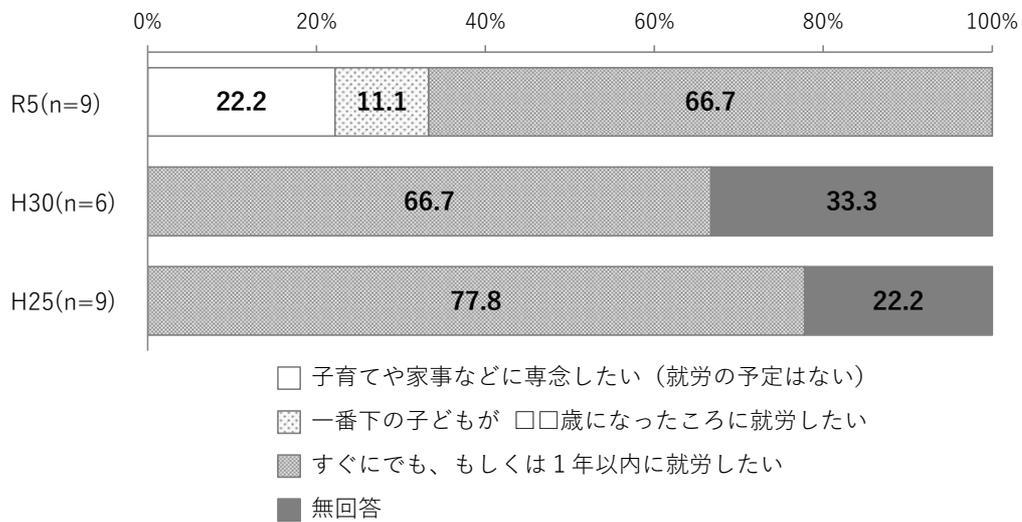
図表 29 父親のフルタイムへの就労希望



問 14-4 父親の就労希望 (SA)

回答条件：父親が現在就労していない人

図表 30 父親の就労希望

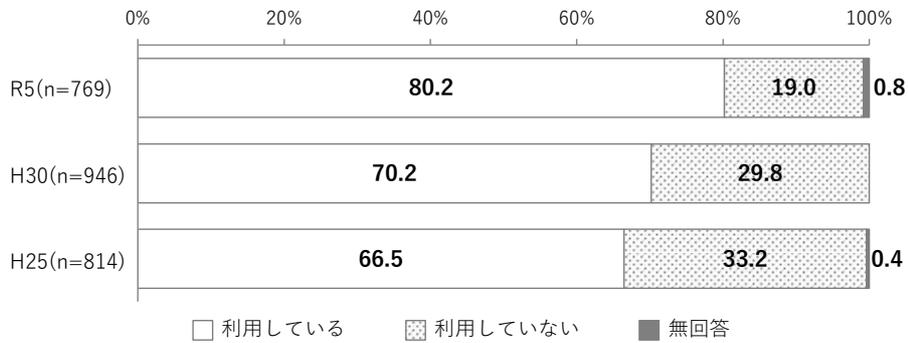


4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

問 15 教育・保育事業の利用の有無 (SA)

「利用している」が80.2%、「利用していない」が19.0%となっています。
前回調査（H30）と比べると「利用している」が10.0ポイント増加しています。

図表 31 教育・保育事業の利用の有無



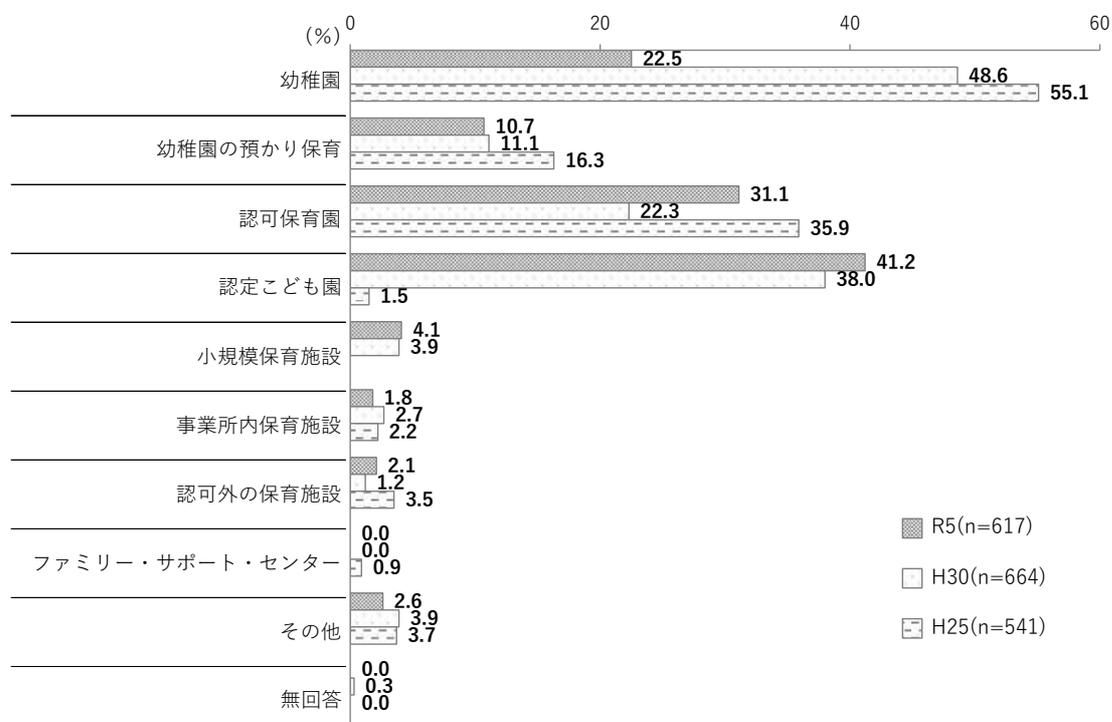
問 15- 1 利用している教育・保育事業 (MA)

回答条件：定期的な教育・保育事業を利用している人

「認定こども園」が41.2%と最も多く、次いで「認可保育園」が31.1%、「幼稚園」が22.5%となっています。

前回調査 (H30) と比べると「幼稚園」は26.1ポイント減少しています。

図表 32 利用している教育・保育事業



上段：実数 下段：比率		問15- 1 利用している教育・保育事業																			
		合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 園	認定こども 園	小規模保 育施設	事業所内 保育施設	認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	その他										
全体	617	100.0	139	22.5	66	10.7	192	31.1	254	41.2	25	4.1	11	1.8	13	2.1	-	-	16	2.6	
問2 お子さん の生年月日	6歳	162	100.0	53	32.7	28	17.3	38	23.5	76	46.9	1	0.6	1	0.6	2	1.2	-	-	4	2.5
	5歳	145	100.0	44	30.3	23	15.9	45	31.0	60	41.4	-	-	-	-	2	1.4	-	-	4	2.8
	4歳	113	100.0	25.0	22.1	9.0	8.0	36.0	31.9	43.4	1.0	0.9	-	-	2.0	1.8	-	-	1.0	0.9	
	3歳	93	100.0	14	15.1	4	4.3	29	31.2	36	38.7	7	7.5	4	4.3	3	3.2	-	-	6	6.5
	2歳	74	100.0	2	2.7	1	1.4	36	48.6	22	29.7	10	13.5	4	5.4	3	4.1	-	-	-	-
	1歳	28	100.0	1	3.6	1	3.6	8	28.6	10	35.7	5	17.9	2	7.1	1	3.6	-	-	1	3.6
	0歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	-	-	-	-	-

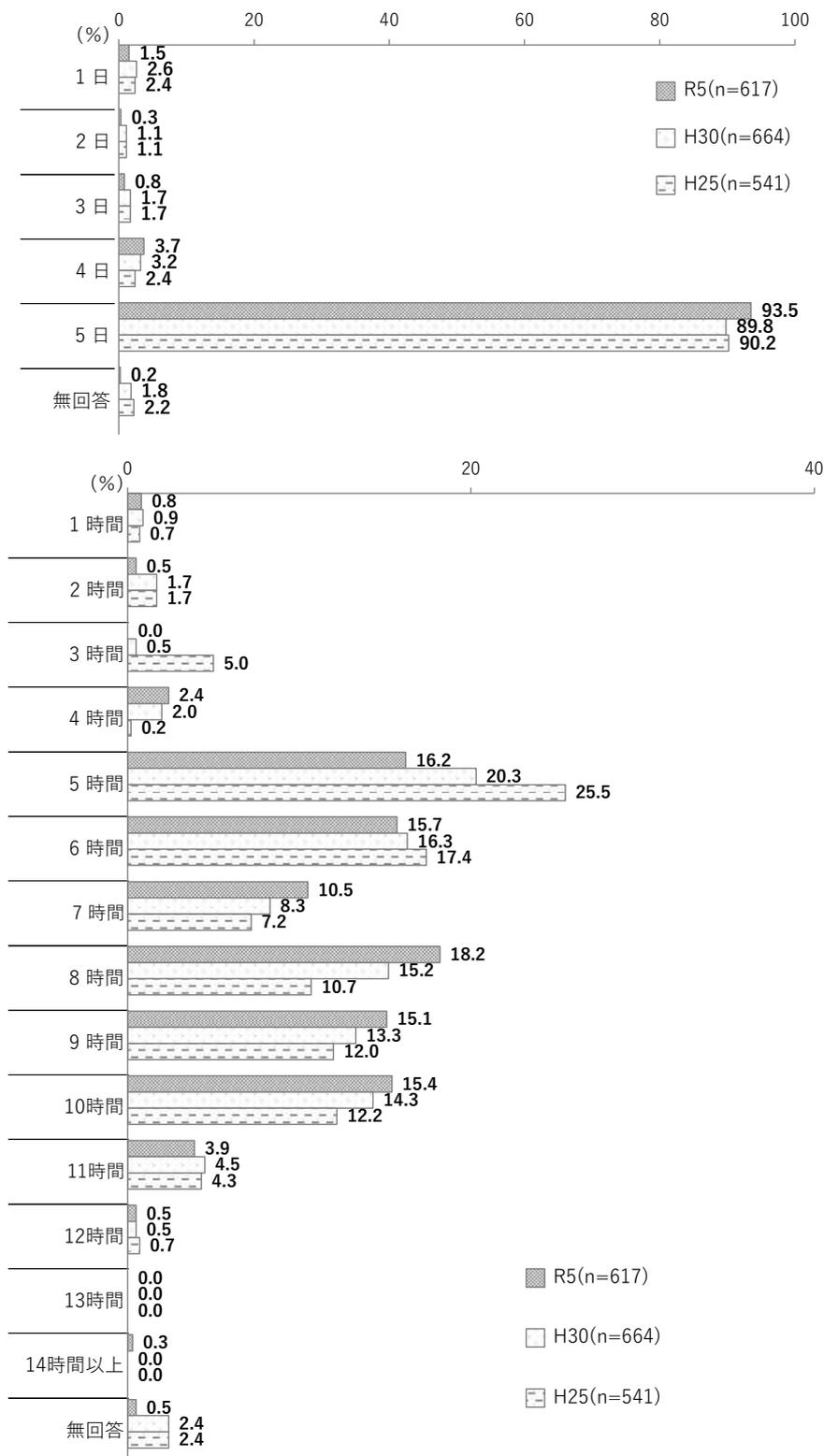
問 15-2 利用状況・利用希望 (NA)

回答条件：定期的な教育・保育事業を利用している人

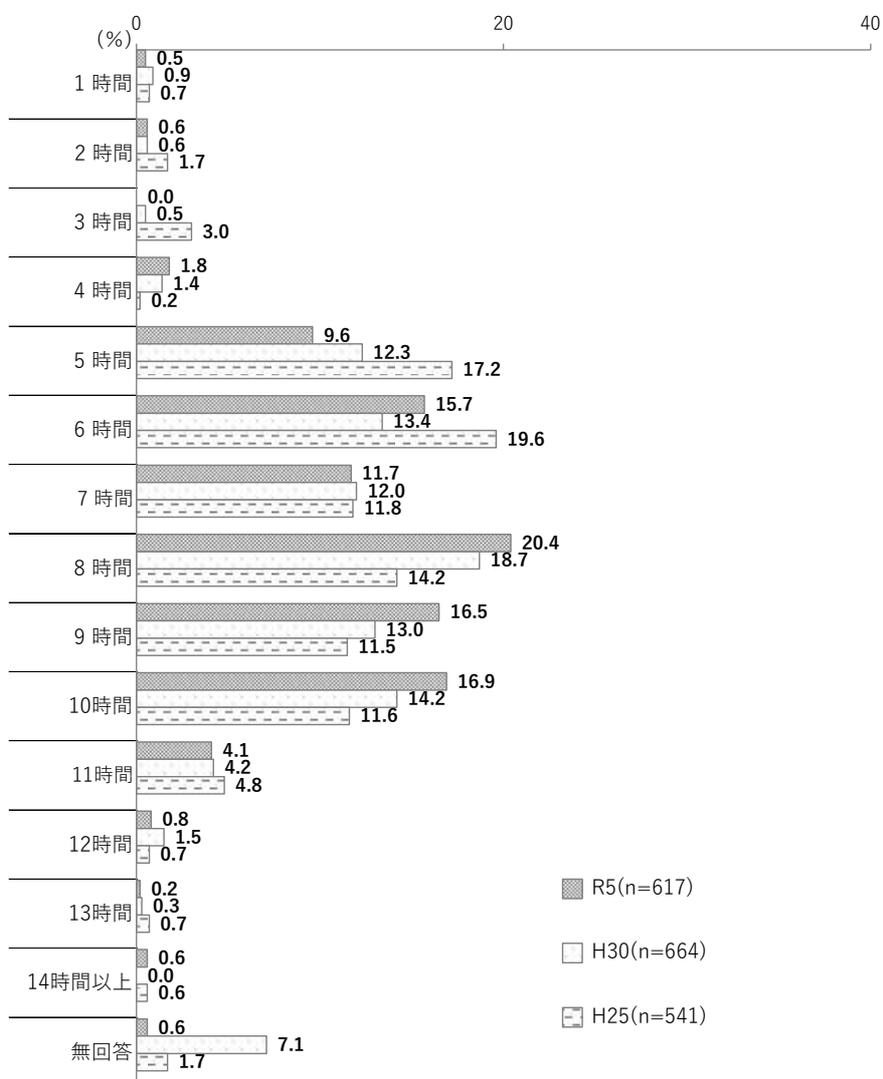
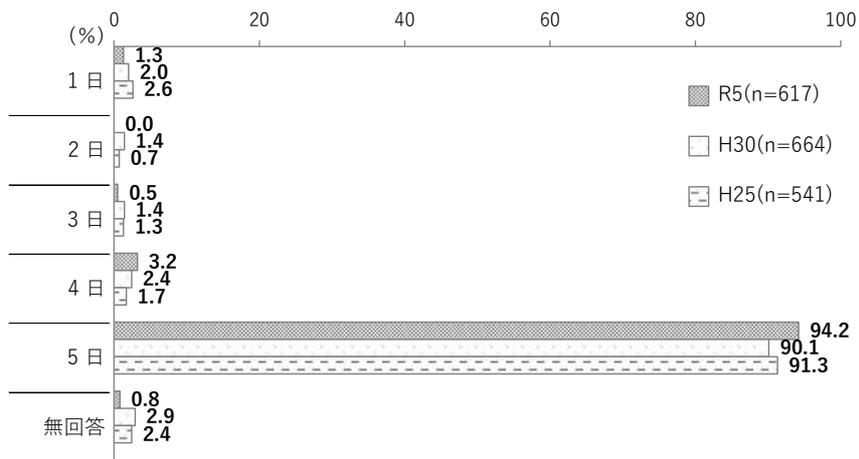
日数においては、「5日」の現在が93.5%、希望が94.2%となっています。

時間においては、「8時間」の現在が18.2%、希望が20.4%となっており、現在、希望ともに「8時間」が最も多くなっています。いずれも、前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 33 利用状況



図表 34 利用希望



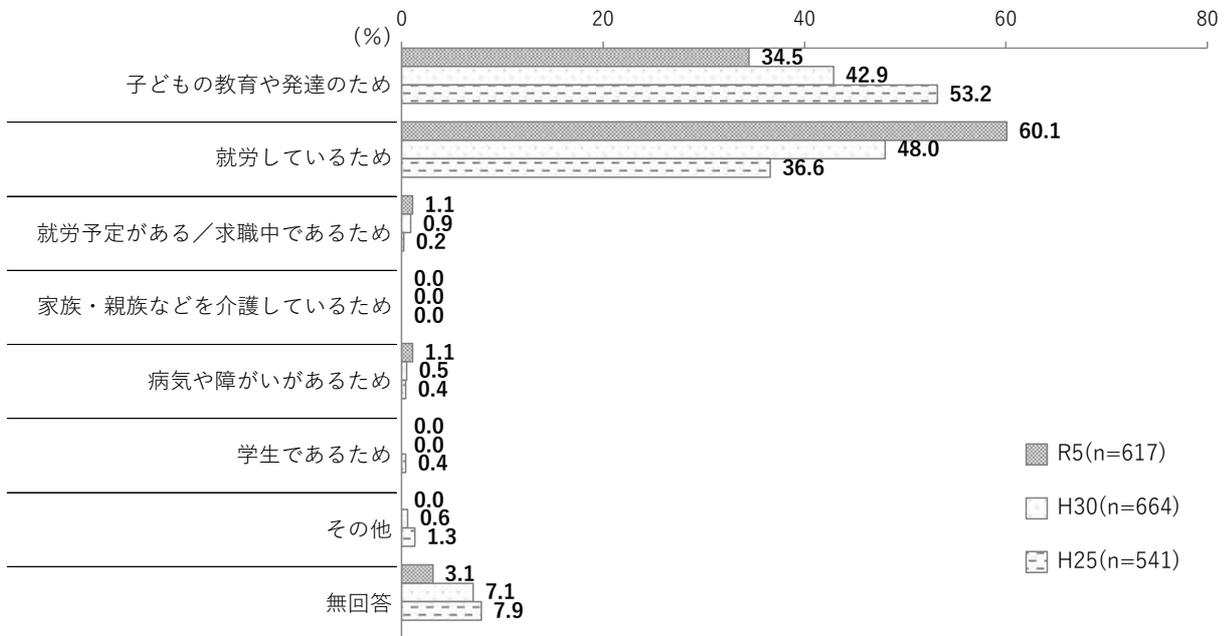
問 15-3 教育・保育事業を利用している理由 (SA)

回答条件：定期的な教育・保育事業を利用している人

「就労しているため」が60.1%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が34.5%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「就労しているため」が12.1ポイント増加しています。

図表 35 教育・保育事業を利用している理由



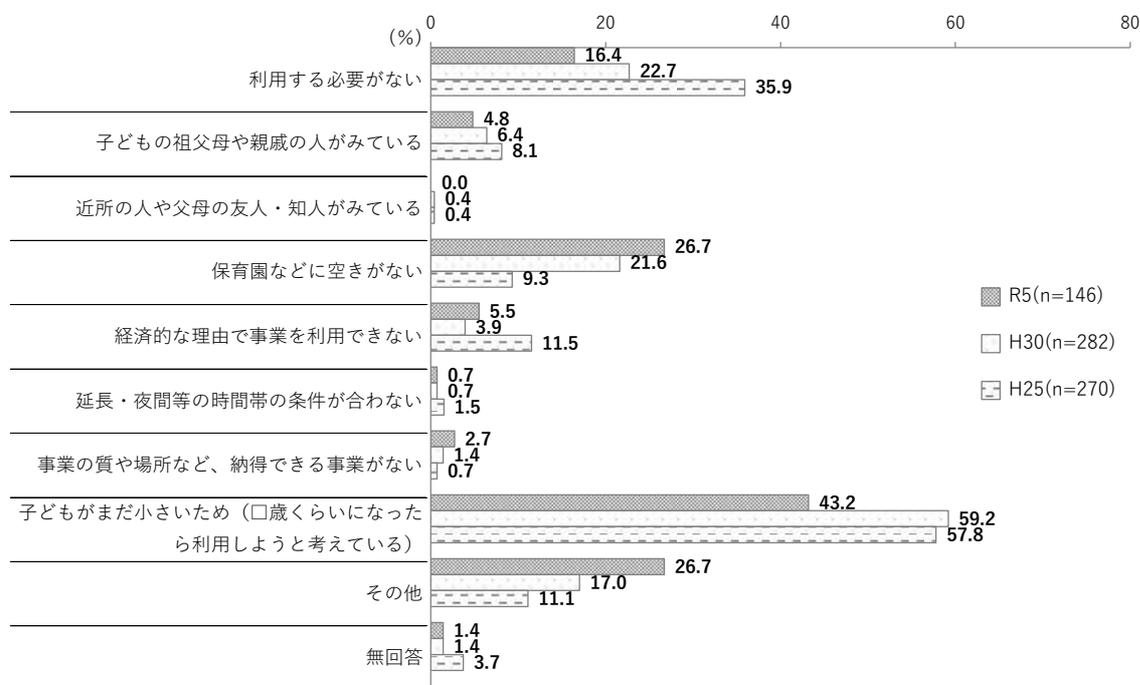
問 15-4 教育・保育事業を利用していない理由 (MA)

回答条件：定期的な教育・保育事業を利用していない人

「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が43.2%と最も多く、次いで「保育園などに空きがない」が26.7%となっています。

前回調査(H30)と比べると、「利用する必要がない」が6.3ポイント減少し、「保育園などに空きがない」が5.1ポイント増加しています。

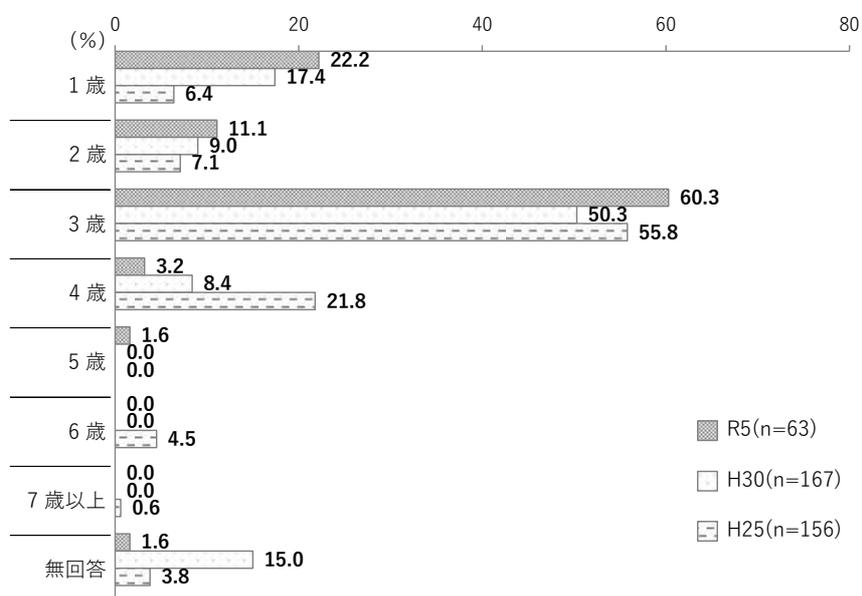
図表 36 教育・保育事業を利用していない理由



回答条件：定期的な教育・保育事業を非利用かつ子どもが□□歳になったら利用したい人

「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した方の□歳に当てはまる子どもの年齢は、「3歳」が60.3%と最も多く、次いで「1歳」が22.2%となっています。前回調査(H30)と比べると「3歳」が10.0ポイント増加し、「4歳」が5.2ポイント減少しています。

図表 37 □歳くらい

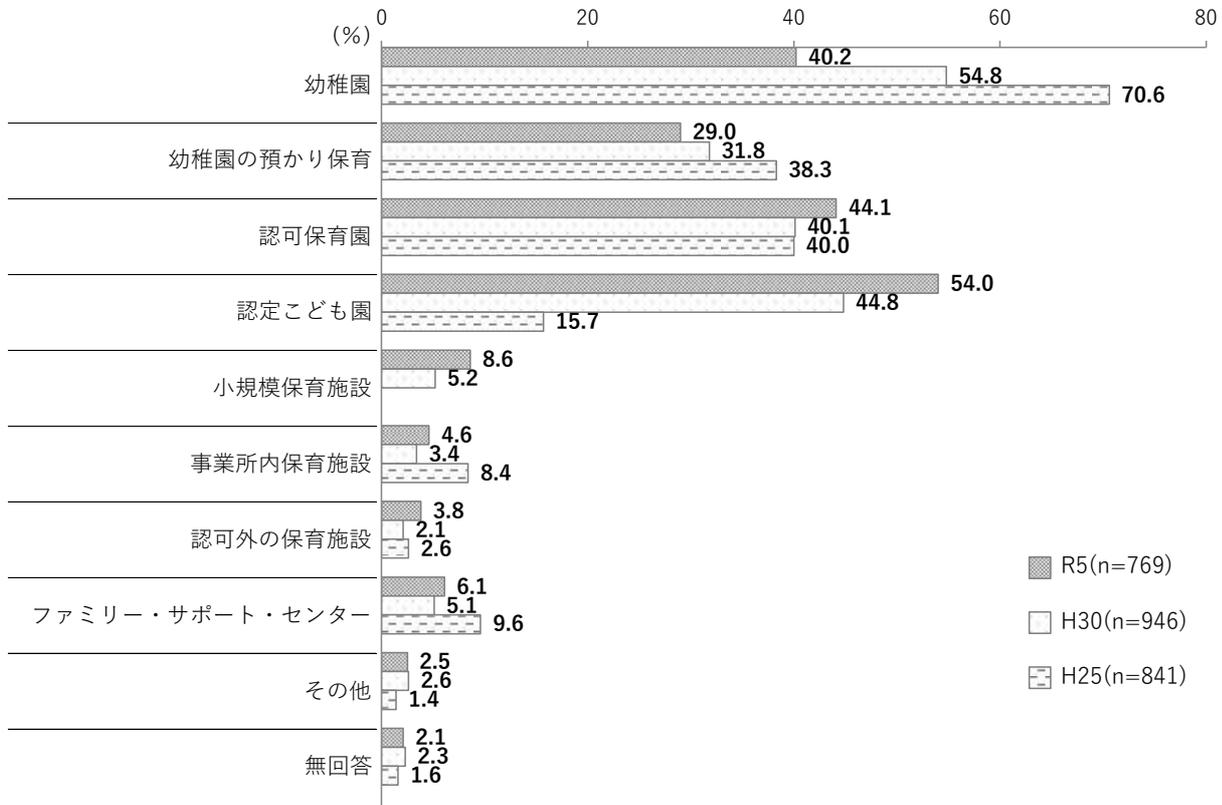


問 16 利用したいと考えている事業 (MA)

「認定こども園」が54.0%と最も多く、次いで「認可保育園」が44.1%、「幼稚園」が40.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べると「幼稚園」は14.6ポイント減少しています。

図表 38 利用したいと考えている事業



※「小規模保育施設」はH30からの選択肢となっています。

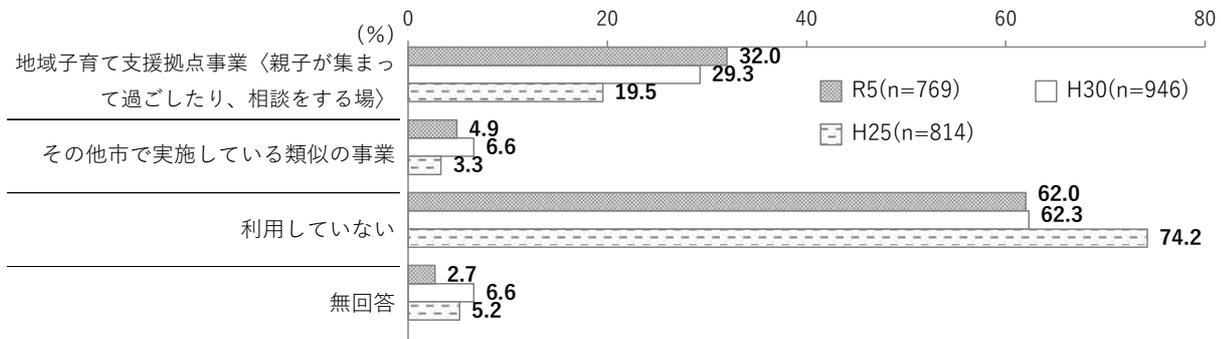
上段：実数 下段：比率		問16 定期的に利用したい教育・保育の事業										
		合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保 育園	認定こ ども 園	小規模保 育施設	事業所内 保育施設	認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答
全体		769	309	223	339	415	66	35	29	47	19	16
		100.0	40.2	29.0	44.1	54.0	8.6	4.6	3.8	6.1	2.5	2.1
問2 お子さん の年齢	6歳	163	70	59	57	85	6	1	3	5	3	2
		100.0	42.9	36.2	35.0	52.1	3.7	0.6	1.8	3.1	1.8	1.2
	5歳	146	53	37	56	70	6	6	3	6	2	1
		100.0	36.3	25.3	38.4	47.9	4.1	4.1	2.1	4.1	1.4	0.7
	4歳	118	41.0	30.0	43.0	61.0	3.0	3.0	4.0	9.0	1.0	5.0
		100.0	34.7	25.4	36.4	51.7	2.5	2.5	3.4	7.6	0.8	4.2
	3歳	122	51	41	46	71	9	4	3	8	6	3
		100.0	41.8	33.6	37.7	58.2	7.4	3.3	2.5	6.6	4.9	2.5
2歳	106	40	20	61	59	16	7	5	6	4	2	
	100.0	37.7	18.9	57.5	55.7	15.1	6.6	4.7	5.7	3.8	1.9	
1歳	76	36	26	48	49	20	11	9	10	2	3	
	100.0	47.4	34.2	63.2	64.5	26.3	14.5	11.8	13.2	2.6	3.9	
0歳	38	18	10	28	20	6	3	2	3	1	-	
	100.0	47.4	26.3	73.7	52.6	15.8	7.9	5.3	7.9	2.6	-	

5. 地域の子育て支援事業の利用について

問 17 地域子育て支援拠点事業の利用 (MA)

全体では、「利用していない」が 62.0%となっていますが、年齢別で見ると、この事業利用の中心となる 0～2 歳の層では、53.2%が利用しています。

図表 39 地域子育て支援拠点事業の利用

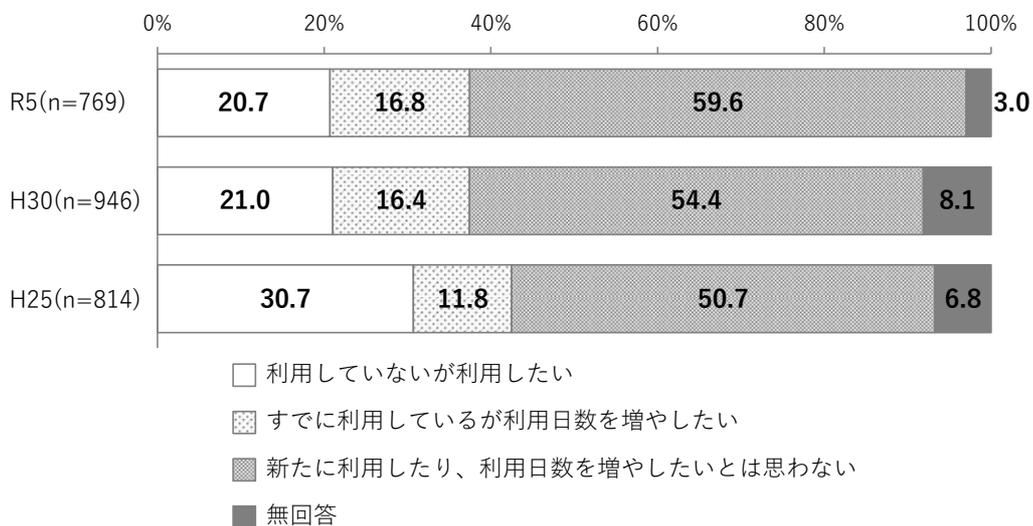


上段：実数 下段：比率		問17 地域子育て支援拠点事業の利用				
		合計	地域子育て支援拠点事業〈親子が集まって過ごしたり、相談をする場〉	その他市で実施している類似の事業	利用していない	無回答
全体		769 100.0	246 32.0	38 4.9	477 62.0	21 2.7
問 2 お子さんの年齢	6 歳	163 100.0	24 14.7	5 3.1	124 76.1	11 6.7
	5 歳	146 100.0	28 19.2	9 6.2	107 73.3	3 2.1
	4 歳	118 100.0	43.0 36.4	9.0 7.6	67.0 56.8	2.0 1.7
	3 歳	122 100.0	34 27.9	6 4.9	82 67.2	2 1.6
	2 歳	106 100.0	51 48.1	4 3.8	50 47.2	3 2.8
	1 歳	76 100.0	47 61.8	4 5.3	29 38.2	-
	0 歳	38 100.0	19 50.0	1 2.6	18 47.4	-

問 18 地域子育て支援事業の利用希望 (SA)

全体では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 59.6% となっていますが、0～1 歳の層では、「利用していないが利用したい」と「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」を合わせると、63.2% となっています。

図表 40 地域子育て支援事業の利用希望



上段：実数 下段：比率		問18 地域子育て支援事業の利用希望				
		合計	利用してないが利用したい	すでに利用しているが利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体		769 100.0	159 20.7	129 16.8	458 59.6	23 3.0
問2 お子さんの年齢	6歳	163 100.0	39 23.9	9 5.5	109 66.9	6 3.7
	5歳	146 100.0	25 17.1	17 11.6	100 68.5	4 2.7
	4歳	118 100.0	15.0 12.7	18.0 15.3	80.0 67.8	5.0 4.2
	3歳	122 100.0	30 24.6	23 18.9	65 53.3	4 3.3
	2歳	106 100.0	18 17.0	22 20.8	63 59.4	3 2.8
	1歳	76 100.0	17 22.4	25 32.9	34 44.7	-
	0歳	38 100.0	15 39.5	15 39.5	7 18.4	1 2.6

問 19 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望 (SA)

認知度の「はい」は、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 88.2%と最も多く、次いで「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 80.8%、「⑦児童センター・児童館」が 80.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「⑨スマートフォン向け『えべつ子育てアプリ』」が 27.3 ポイント、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 17.2 ポイント増加しています。

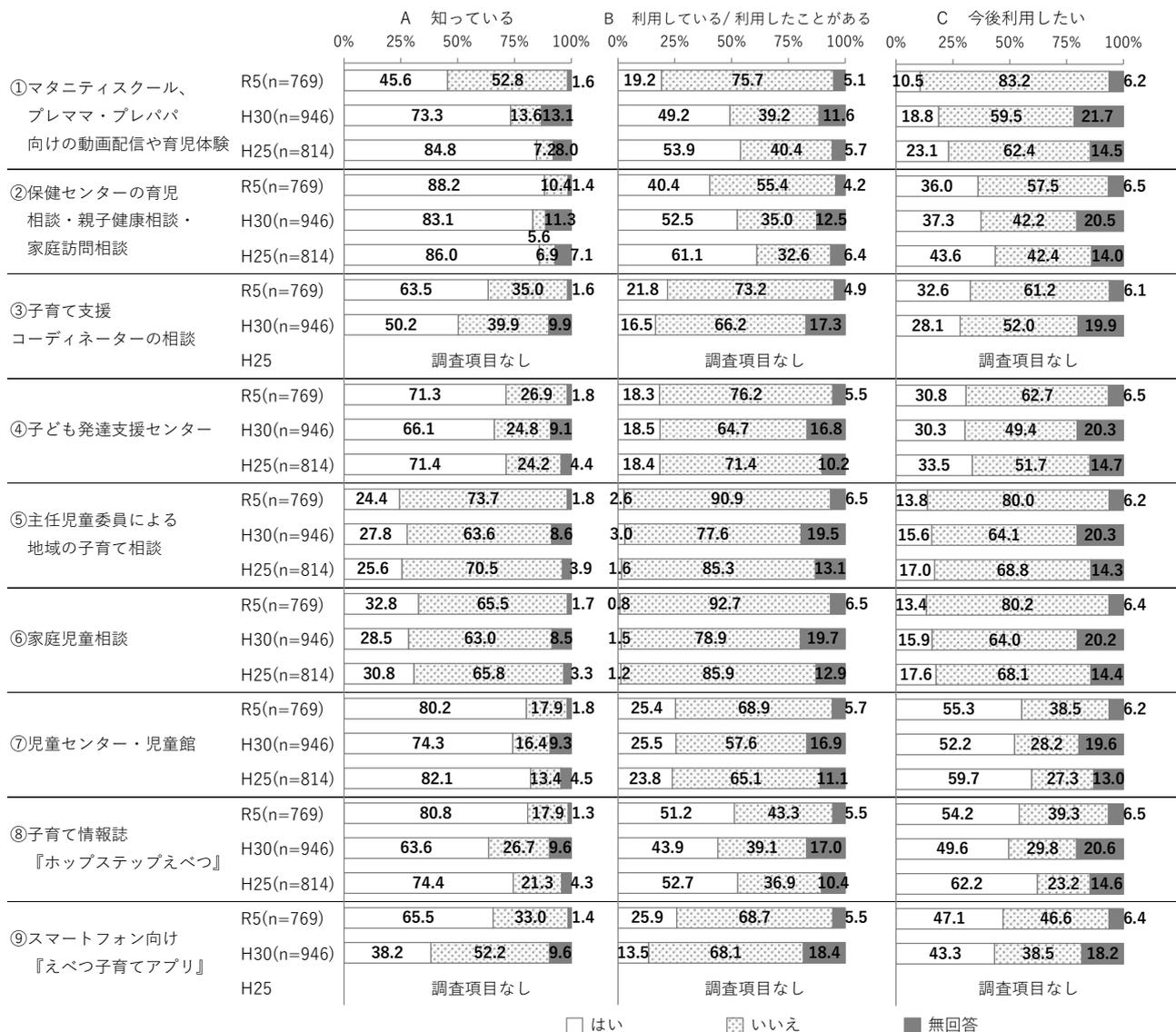
利用経験の「はい」は、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 51.2%と最も多く、次いで「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 40.4%、「⑨スマートフォン向け『えべつ子育てアプリ』」が 25.9%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「⑨スマートフォン向け『えべつ子育てアプリ』」が 12.4 ポイント、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 7.3 ポイント増加しています。

今後の利用希望の「はい」は、「⑦児童センター・児童館」が 55.3%と最も多く、次いで「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 54.2%、「⑨スマートフォン向け『えべつ子育てアプリ』」が 47.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「①マタニティスクール、プレママ・プレパパ向けの動画配信や育児体験」が 8.3 ポイント減少しています。

図表 41 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望



□ はい ■ いいえ ■ 無回答

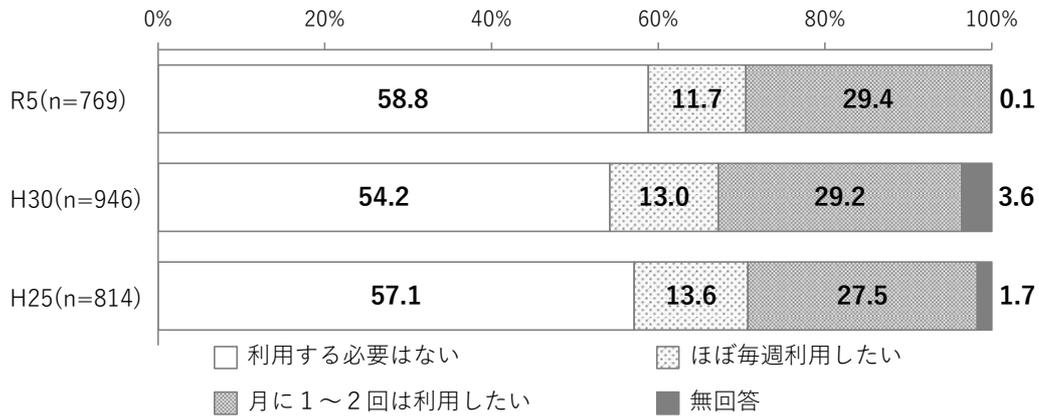
※ 「①マタニティスクール、プレママ・プレパパ向けの動画配信や育児体験」「④子ども発達支援センター」は前回調査までと表現が異なります。

6. 土日等の休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について

問 20 (1) 土曜日の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 58.8% となっています。
 前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

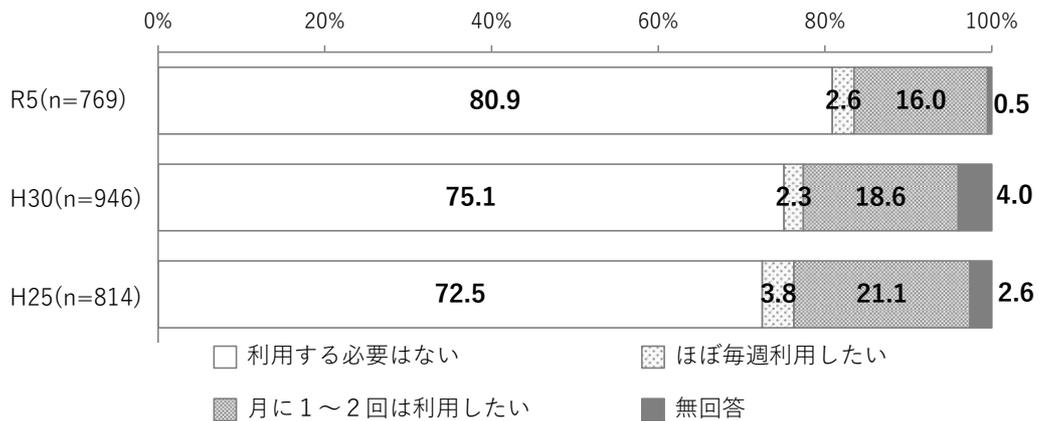
図表 42 土曜日の利用希望



問 20 (2) 日曜日・祝日の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 80.9% となっています。
 前回調査 (H30) と比べると「利用する必要はない」が 5.8 ポイント増加しています。

図表 43 日曜日・祝日の利用希望



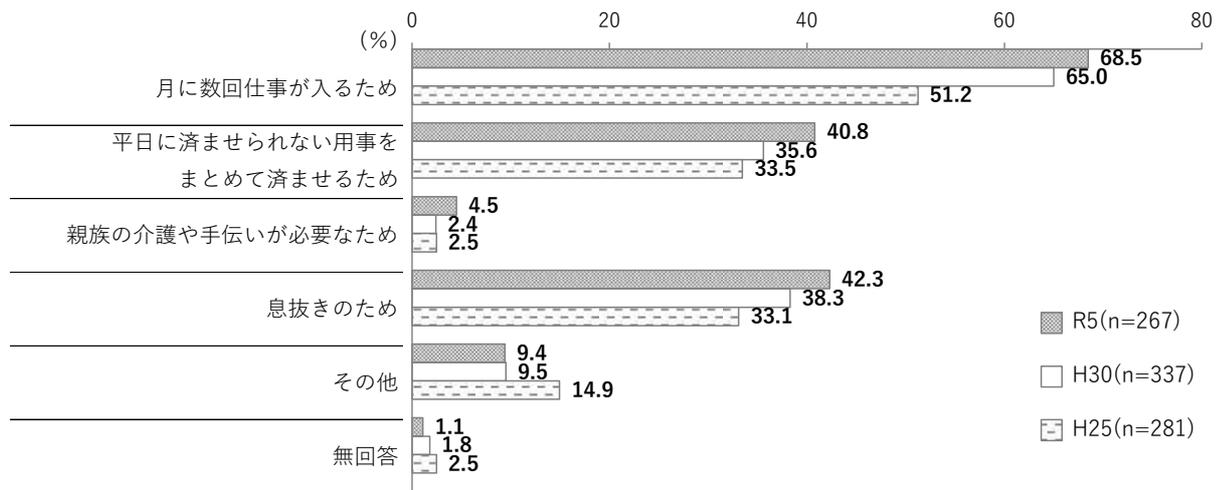
問 20- 1 土曜日・日曜日・祝日に利用したい理由 (MA)

回答条件：土曜日・日曜日・祝日に月に1～2回は定期的な幼稚園・保育園・認定こども園などを利用したい人

「月に数回仕事が入るため」が68.5%と最も多く、次いで「息抜きのため」が42.3%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が40.8%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が5.2ポイント増加しています。

図表 44 土曜日・日曜日・祝日に利用したい理由



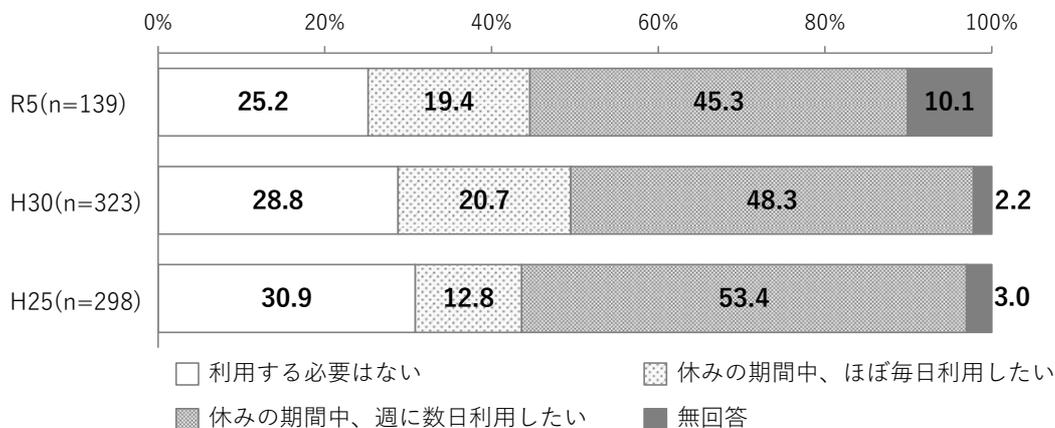
上段：実数 下段：比率		問20-1 たまに利用したい理由						
		合計	月に数回 仕事が入 るため	平日に済 ませられ ない用事 をまと めて済ま せるため	親族の介 護や手伝 いが必要 なため	息抜きのた め	その他	無回答
全体		267 100.0	183 68.5	109 40.8	12 4.5	113 42.3	25 9.4	3 1.1
問16 定期的に 利用したい教 育・保育の事業	幼稚園	93 100.0	57 61.3	35 37.6	5 5.4	38 40.9	13 14.0	2 2.2
	幼稚園の預かり保育	86 100.0	51 59.3	35 40.7	3 3.5	37 43.0	10 11.6	1 1.2
	認可保育園	139 100.0	104 74.8	55 39.6	8 5.8	58 41.7	15 10.8	-
	認定こども園	146 100.0	100 68.5	59 40.4	8 5.5	62 42.5	17 11.6	2 1.4
	小規模保育施設	22 100.0	14 63.6	8 36.4	1 4.5	16 72.7	3 13.6	-
	事業所内保育施設	13 100.0	5 38.5	7 53.8	1 7.7	7 53.8	3 23.1	-
	認可外の保育施設	11 100.0	6 54.5	6 54.5	2 18.2	8 72.7	3 27.3	-
	ファミリー・サポート・センター	26 100.0	15 57.7	14 53.8	1 3.8	13 50.0	3 11.5	1 3.8
	その他	7 100.0	2 28.6	3 42.9	-	5 71.4	3 42.9	-

問 21 長期休暇中の利用希望 (SA)

回答条件：幼稚園を利用している人

「休みの期間中、週に数日利用したい」が45.3%となっています。
 前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 45 長期休暇中の利用希望



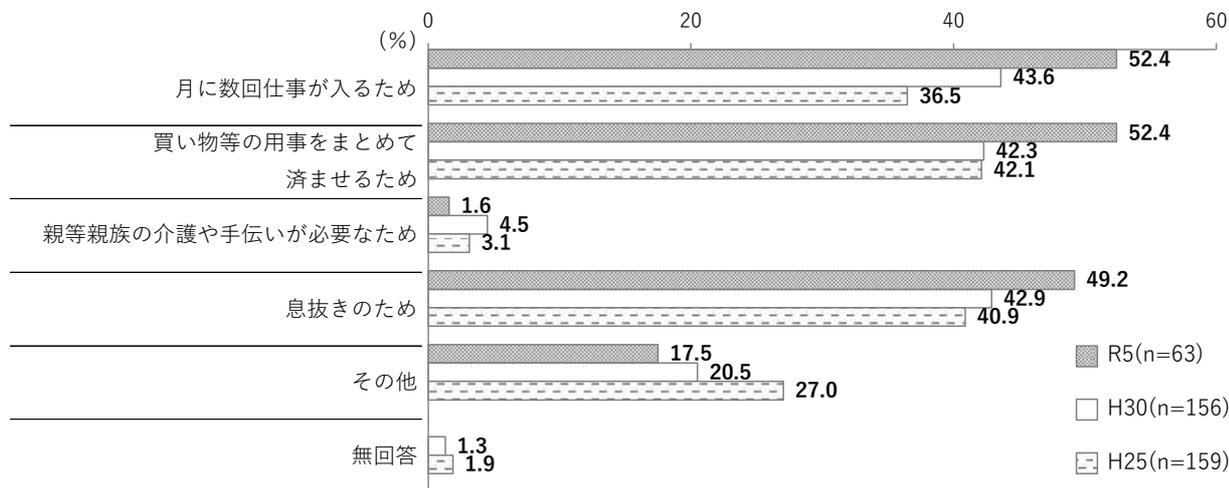
問 21-1 長期休暇中に利用したい理由 (MA)

回答条件：休みの期間中、週に数日利用したい人

「月に数回仕事が入るため」「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が各々52.4%と最も多く、次いで「息抜きのため」が49.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が10.1ポイント、「月に数回仕事が入るため」が8.8ポイント、「息抜きのため」が6.3ポイント増加しています。

図表 46 長期休暇中に利用したい理由



7. お子さんの病気の際の対応について

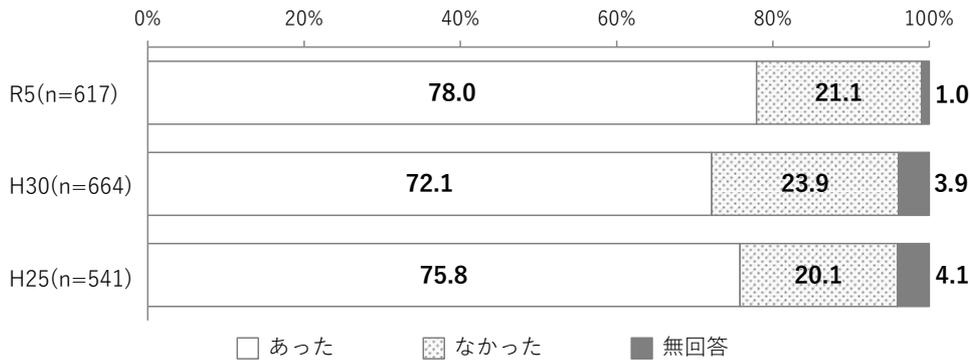
問 22 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験 (SA)

回答条件：定期的な教育・保育事業を利用している人

「あった」が78.0%、「なかった」が21.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「あった」が5.9ポイント増加しています。

図表 47 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験



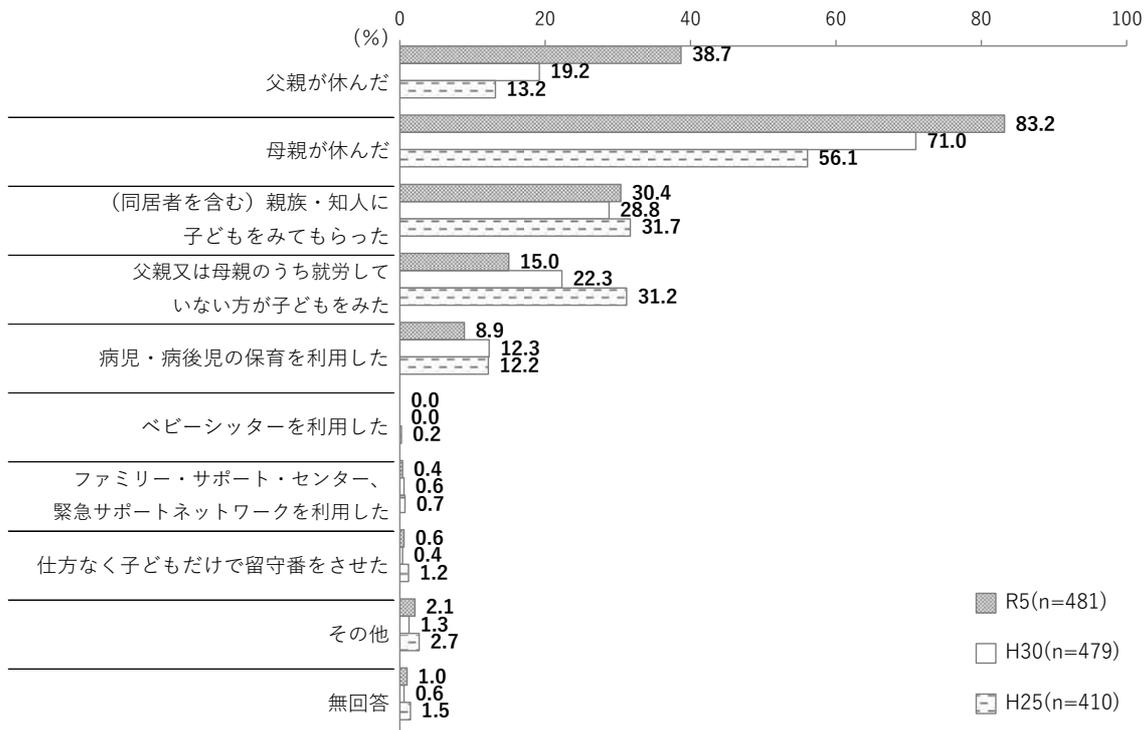
問 22-1 利用できなかったときの対処方法 (MA)

回答条件：子どもの病気やケガで事業が利用できなかった人

「母親が休んだ」が83.2%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.7%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が30.4%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「父親が休んだ」が19.5ポイント、「母親が休んだ」が12.2ポイント増加しています。

図表 48 利用できなかったときの対処方法



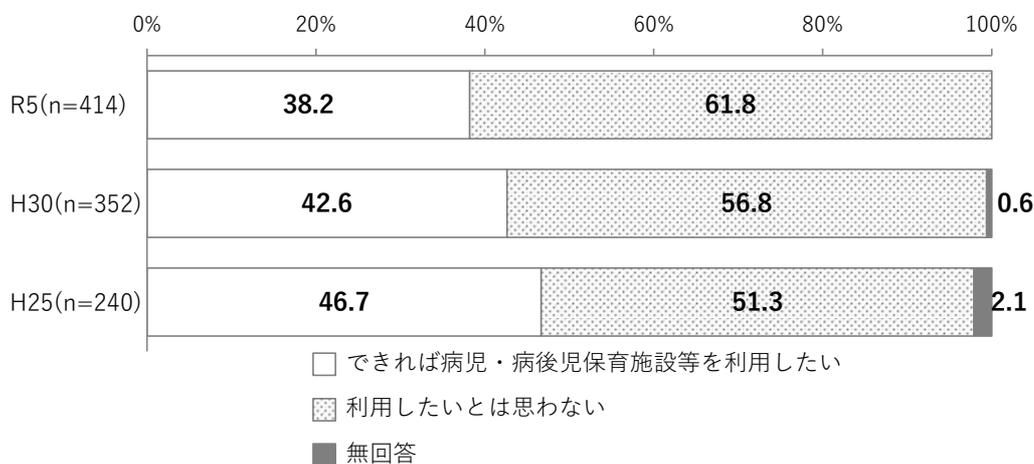
問 22-2 病児・病後児の保育施設等の利用希望 (SA)

回答条件：父親または母親が休んで対処した人

「利用したいとは思わない」が 61.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 38.2% となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「利用したいとは思わない」が 5.0 ポイント増加しています。

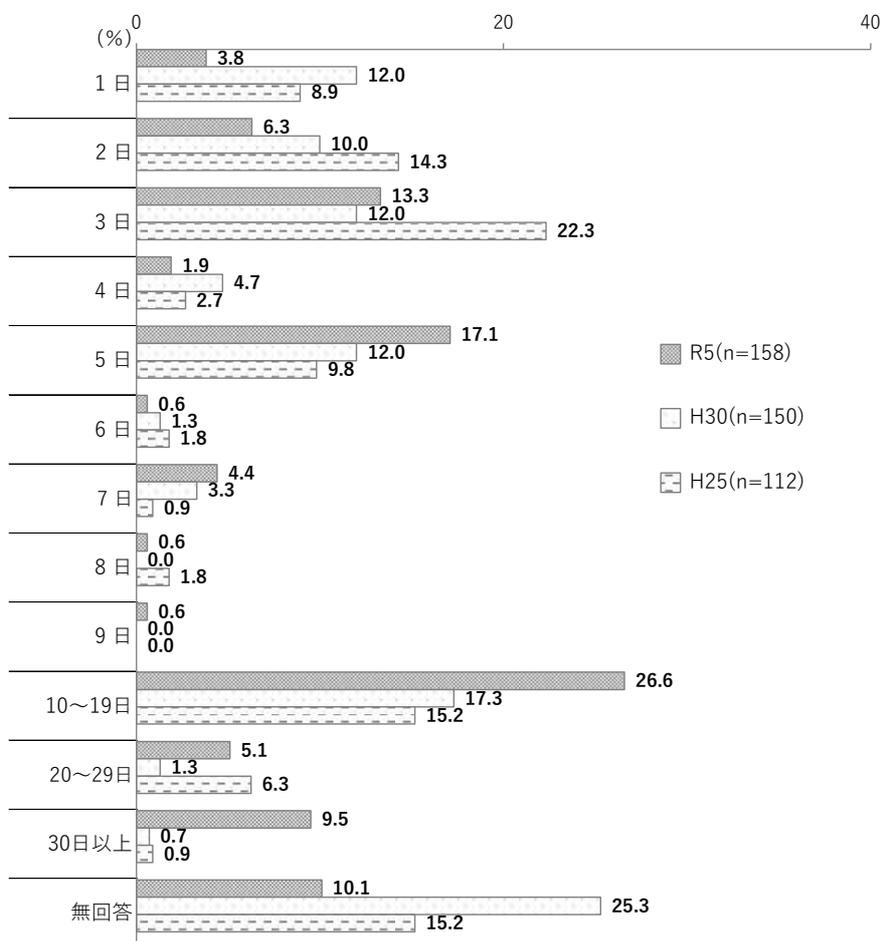
図表 49 病児・病後児の保育施設等の利用希望



回答条件：できれば病児・病後児保育施設等を利用したい人

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方の利用したい日数は、「10～19日」が 26.6%と最も多く、次いで「5日」が 17.1%、「3日」が 13.3%となっています。

図表 50 利用したい日数

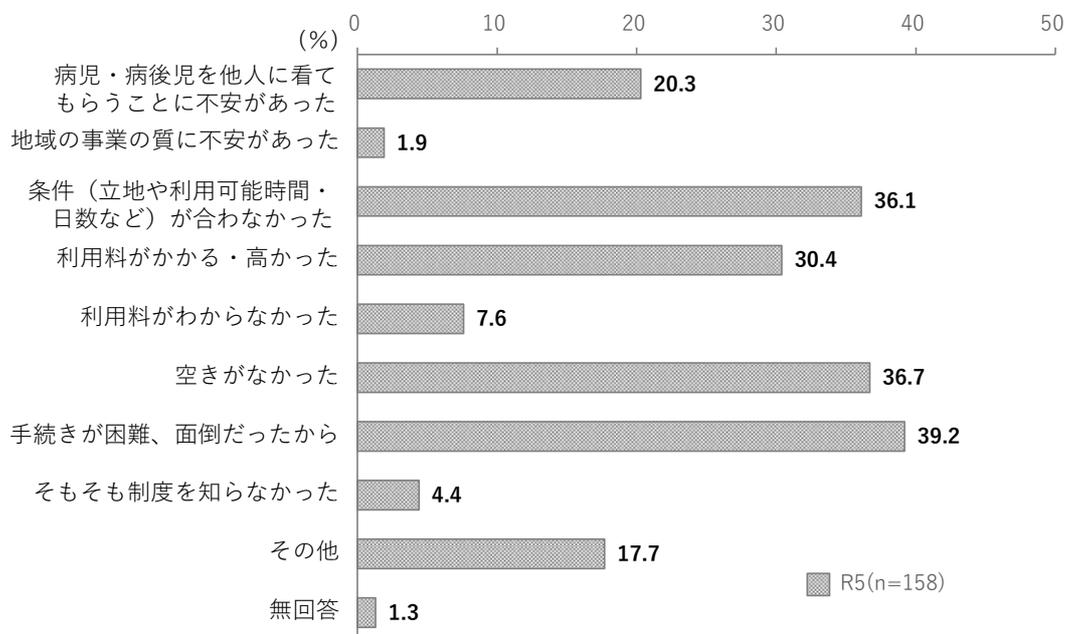


問 22-3 病児・病後児の保育施設等を利用しなかった理由 (MA)

回答条件：できれば病児・病後児保育施設等を利用したい人

「手続きが困難、面倒だったから」が 39.2%と最も多く、次いで「空きがなかった」が 36.7%、「条件（立地や利用可能時間・日数など）が合わなかった」が 36.1%となっています。

図表 51 病児・病後児の保育施設等を利用しなかった理由



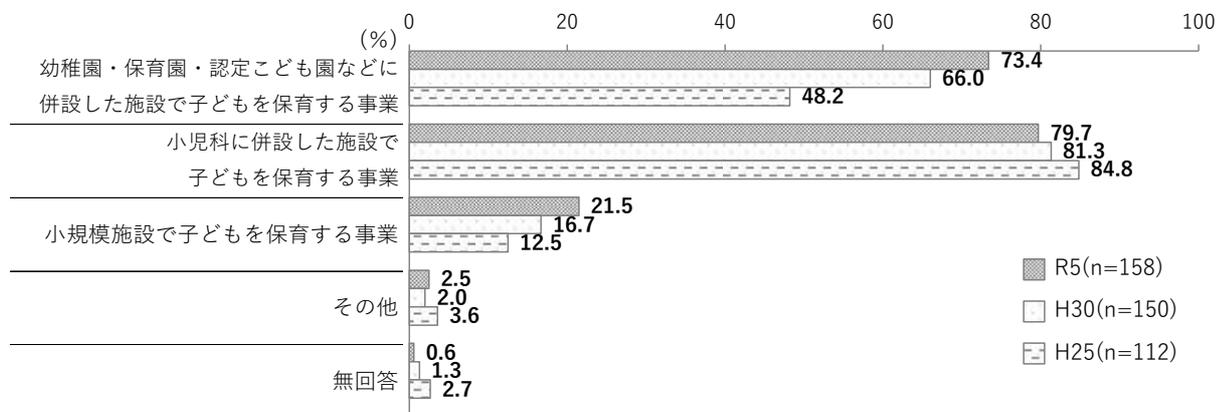
問 22-4 病児・病後児の保育施設等を利用したい場合に望ましい事業形態 (MA)

回答条件：できれば病児・病後児保育施設等を利用したい人

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 79.7%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園などに併設した施設で子どもを保育する事業」が 73.4%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「幼稚園・保育園・認定こども園などに併設した施設で子どもを保育する事業」が 7.4 ポイント増加しています。

図表 52 病児・病後児の保育施設等を利用したい場合に望ましい事業形態



※「幼稚園・保育園・認定こども園などに併設した施設で子どもを保育する事業」は前回調査までは下線部分がありません。

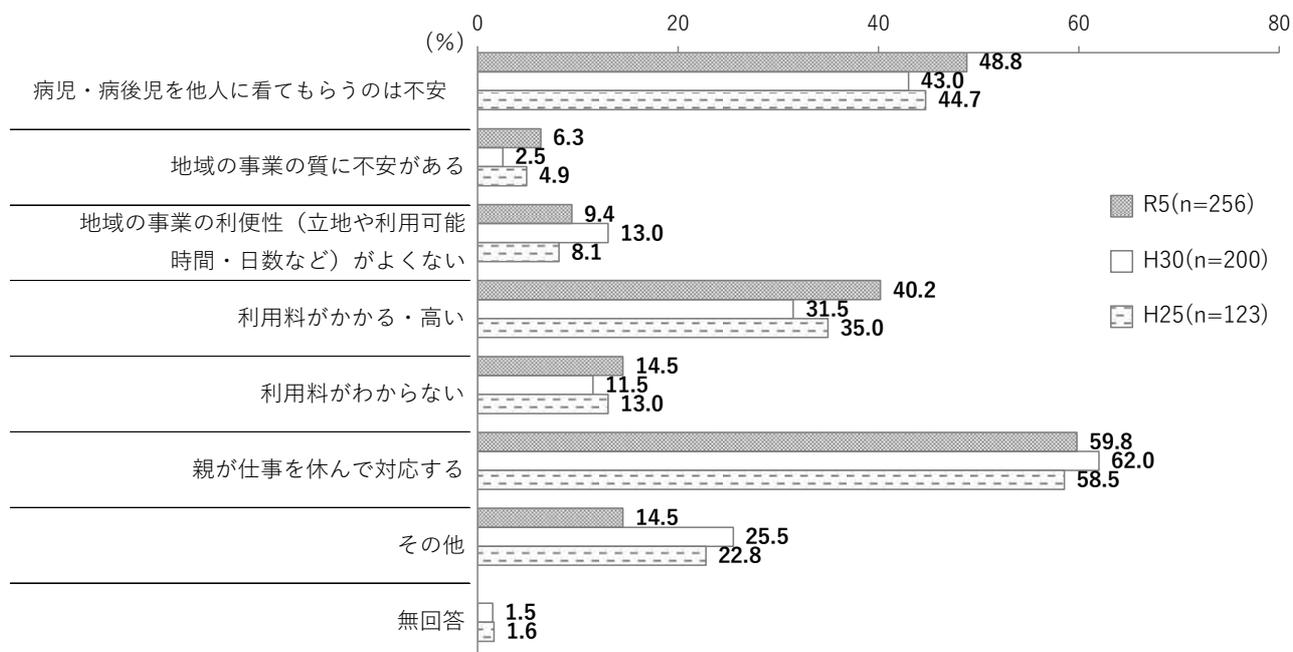
問 22-5 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由 (MA)

回答条件：病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない人

「親が仕事を休んで対応する」が 59.8% と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 48.8%、「利用料がかかる・高い」が 40.2% となっています。

前回調査 (H30) と比べると「利用料がかかる・高い」が 8.7 ポイント、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 5.8 ポイント増加しています。

図表 53 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由

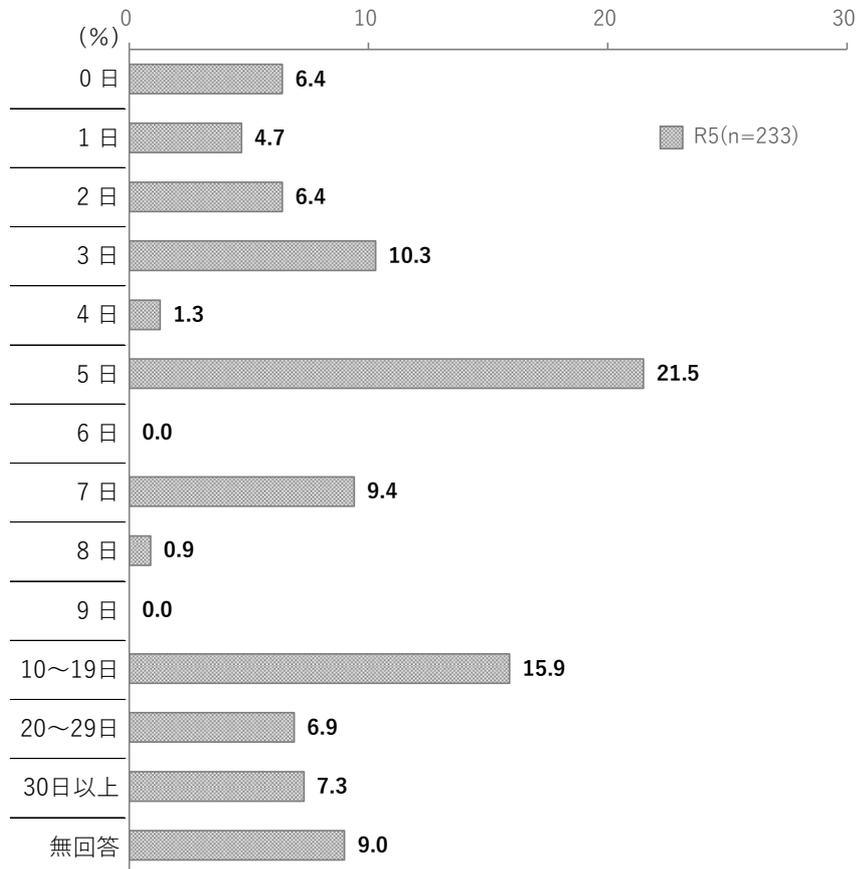


問 22-6 仕事を休んで看れるとしたら、どれくらい休んで見たかったか (NA)

回答条件：父親または母親が休む以外で対処した人

「5日」が21.5%で最も多く、次いで「3日」が10.3%となっています。一方、「0日」は6.4%となっています。

図表 54 仕事を休んで看れるとしたら、どれくらい休んで見たかったか

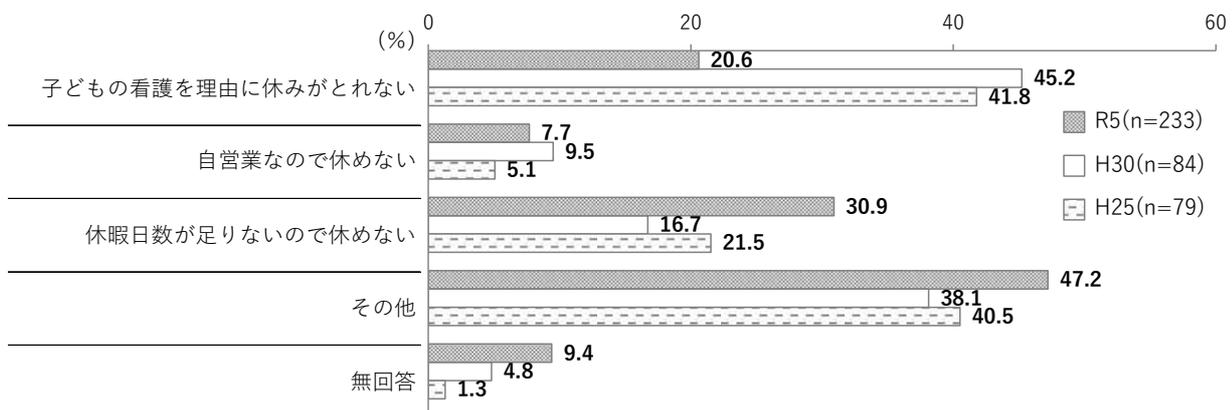


問 22-7 父母のいずれかが仕事を休めない理由 (MA)

回答条件：父親または母親が休む以外で対処した人

「その他」が47.2%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が30.9%となっています。「その他」の内容として“休みづらい”仕事“忙しい”職場の人員不足”などといった意見が多数見受けられました。

図表 55 父母のいずれかが仕事を休めない理由



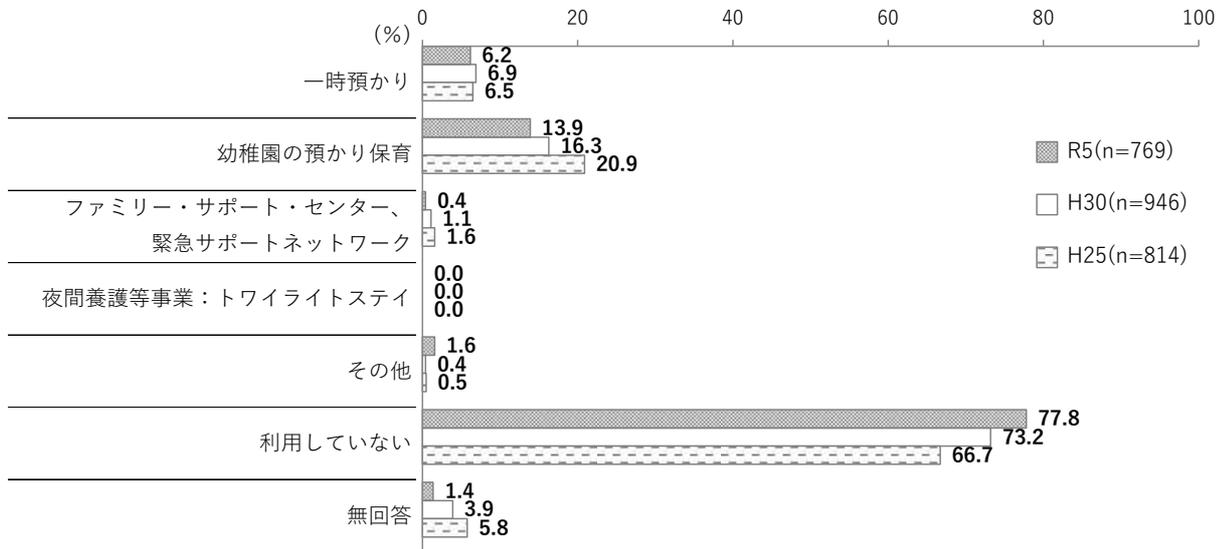
8. 一時預かり等の不定期の教育・保育事業の利用について

問 23 不定期の教育・保育事業の利用状況 (MA)

「利用していない」が77.8%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 56 不定期の教育・保育事業の利用状況



※「ファミリー・サポート・センター、緊急サポートネットワーク」は前回調査までは下線部分がありません。

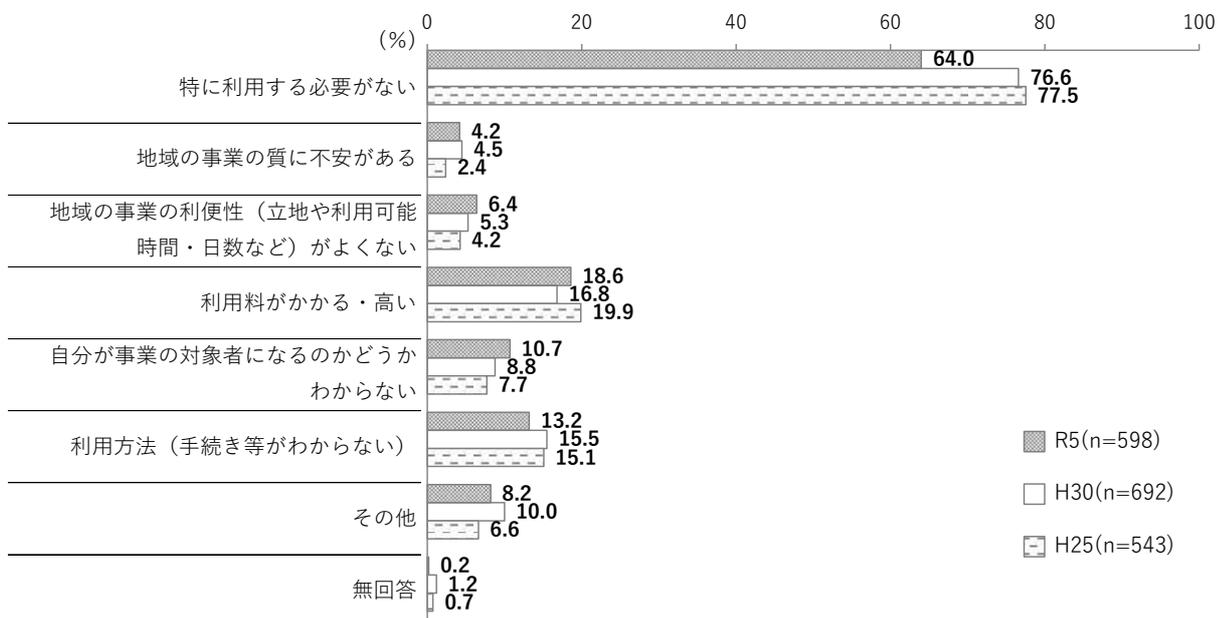
問 23-1 不定期の利用をしていない理由 (MA)

回答条件：不定期の教育・保育事業を利用していない人

「特に利用する必要がない」が64.0%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が18.6%、「利用方法（手続き等がわからない）」が13.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べると「特に利用する必要がない」が12.6ポイント減少しています。

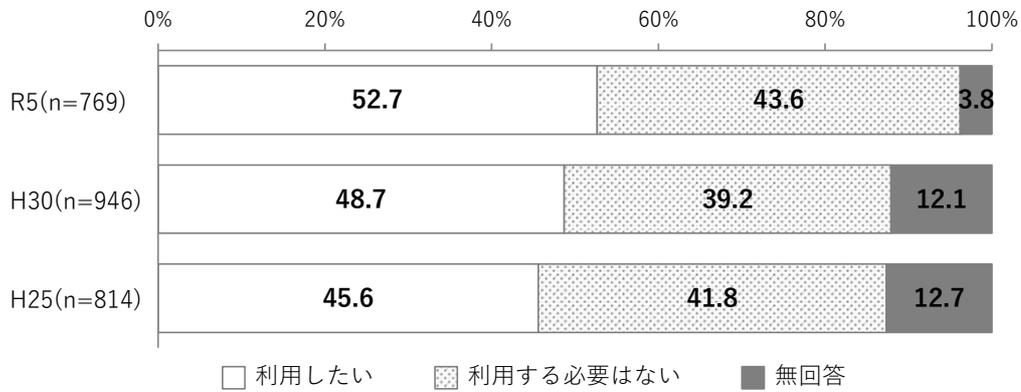
図表 57 不定期の利用をしていない理由



問 24 不特定の教育・保育事業の利用希望と目的 (SA) (MA)

「利用したい」が52.7%、「利用する必要はない」が43.6%となっています。
 前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 58 不特定の教育・保育事業の利用希望

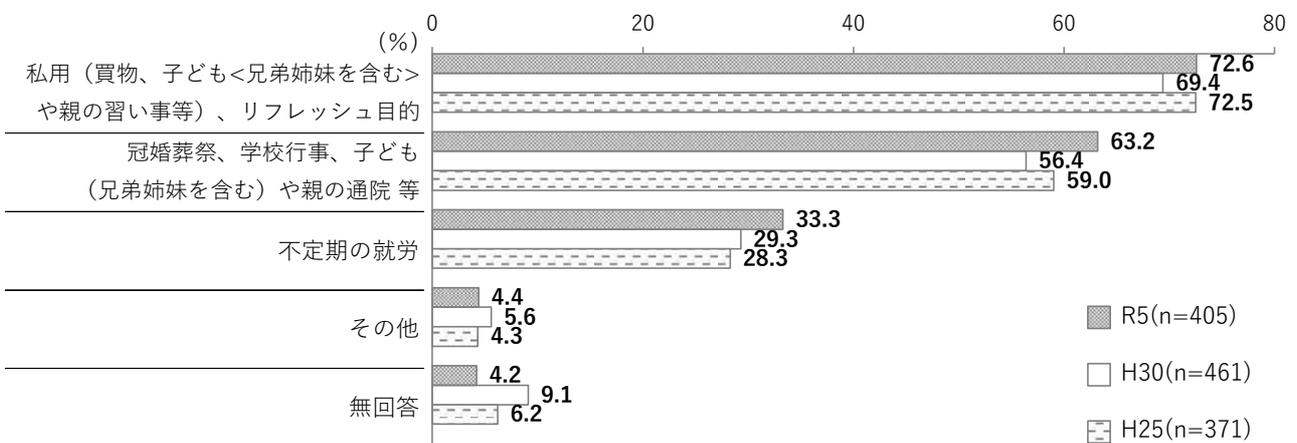


「利用したい」と回答した方の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が72.6%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が63.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べると「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が6.8ポイント増加しています。

回答条件：不特定の教育・保育事業を利用したい人

図表 59 利用目的



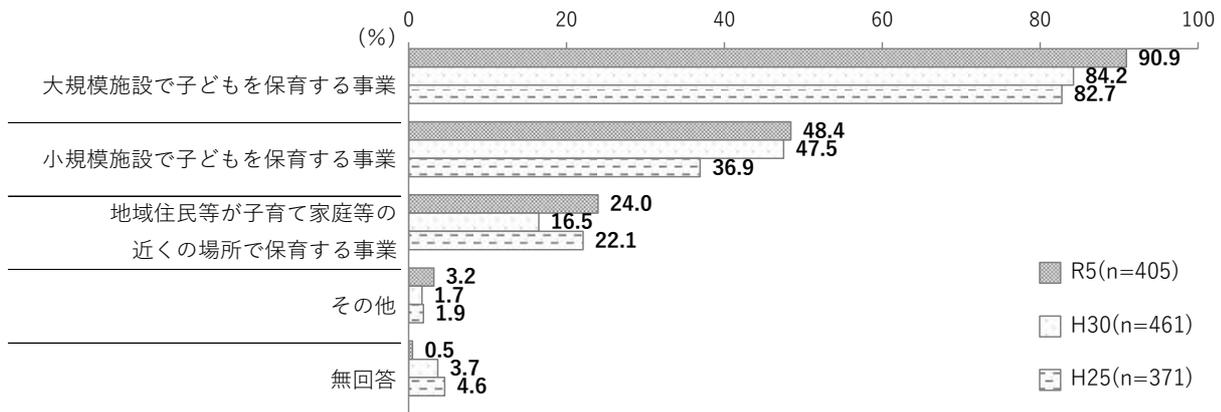
問 24- 1 不特定の教育・保育事業を利用したい場合に望ましい事業形態 (MA)

回答条件：不特定の教育・保育事業を利用したい人

「大規模施設で子どもを保育する事業」が90.9%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が48.4%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が7.5ポイント、「大規模施設で子どもを保育する事業」が6.7ポイント増加しています。

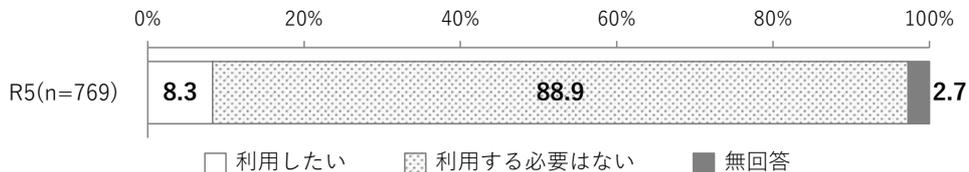
図表 60 不特定の教育・保育事業を利用したい場合に望ましい事業形態



問 25 子育て短期支援事業 (ショートステイ) の利用希望の有無 (SA) (MA)

「利用したい」が8.3%、「利用する必要はない」が88.9%となっています。

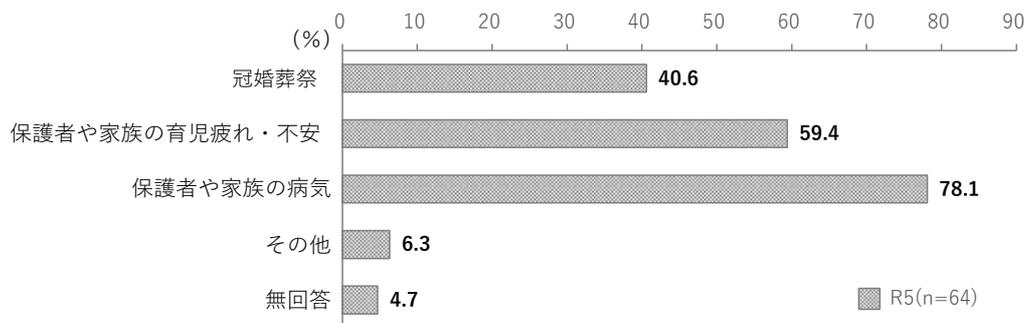
図表 61 子育て短期支援事業 (ショートステイ) の利用希望の有無



回答条件：子育て短期支援事業を利用したい人

「利用したい」と回答した方の利用目的は、「保護者や家族の病気」が78.1%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が59.4%となっています。

図表 62 利用目的



9. 就学後における放課後の過ごし方について

問 26 就学後の放課後に居場所として希望する場所 (MA)

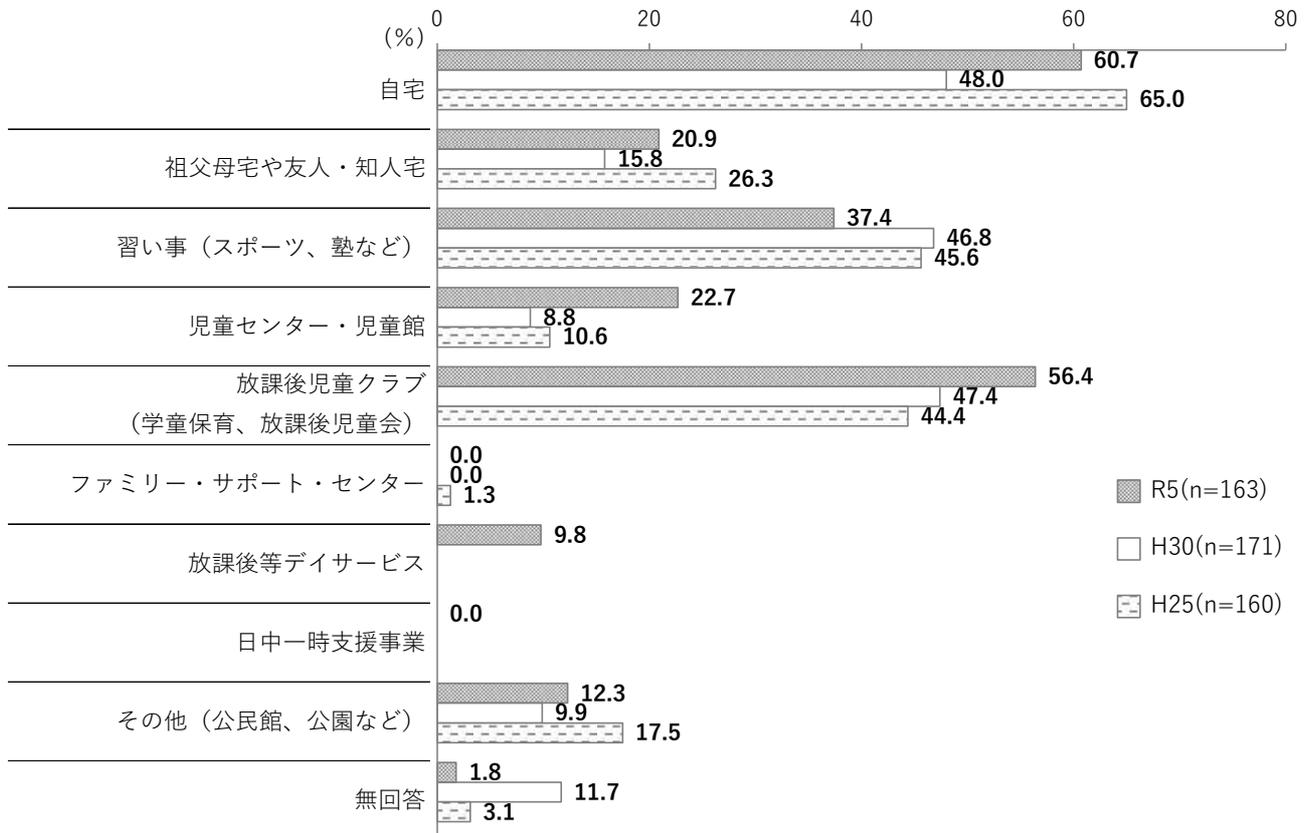
回答条件：お子さんが年長児の人

【1～3年生までの間】

「自宅」が60.7%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が56.4%、「習い事」が37.4%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「児童センター・児童館」が13.9ポイント、「自宅」が12.7ポイント増加しています。

図表 63 就学後の放課後に居場所として希望する場所 低学年



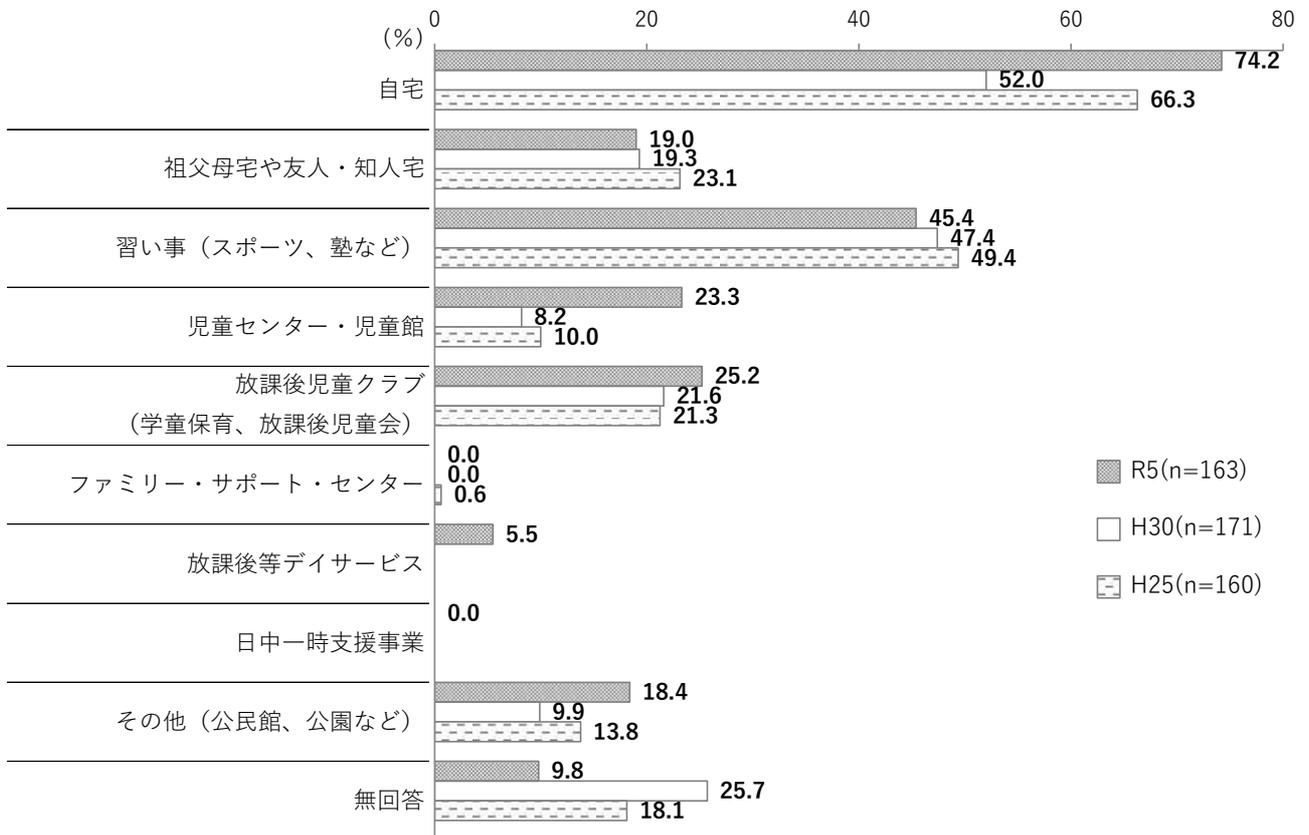
※「放課後等デイサービス」「日中一時支援事業」は新規の選択肢です。

【4～6年生までの間】

「自宅」が74.2%と最も多く、次いで「習い事」が45.4%、「放課後児童クラブ」が25.2%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「自宅」が22.2ポイント、「児童センター・児童館」が15.1ポイント増加しています。

図表 64 就学後の放課後に居場所として希望する場所 高学年



※「放課後等デイサービス」「日中一時支援事業」は新規の選択肢です。

問 27 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇での放課後児童クラブの利用希望（SA）

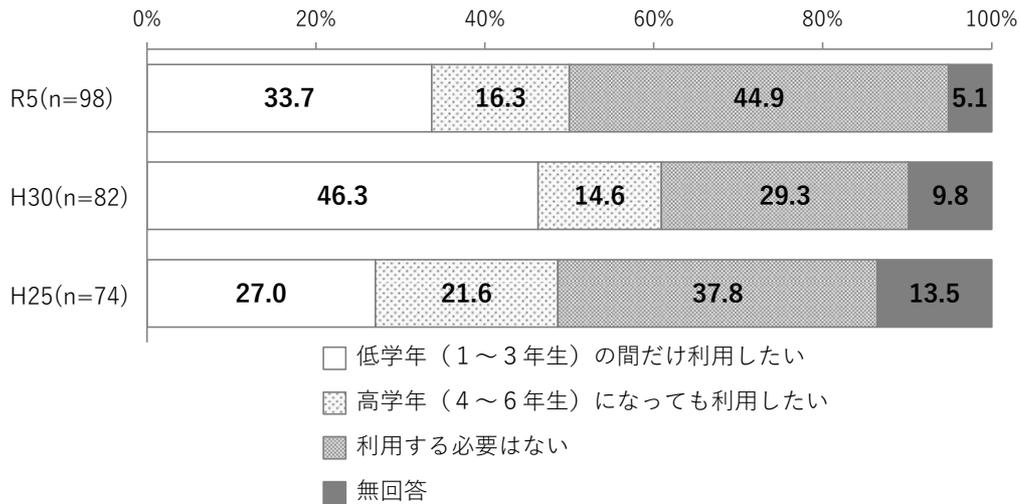
回答条件：放課後児童クラブを利用したい人

【土曜日】

「利用する必要はない」が44.9%と最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が33.7%、「高学年になっても利用したい」が16.3%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「利用する必要はない」が15.6ポイント増加し、「低学年の間だけ利用したい」が12.6ポイント減少しています。

図表 65 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

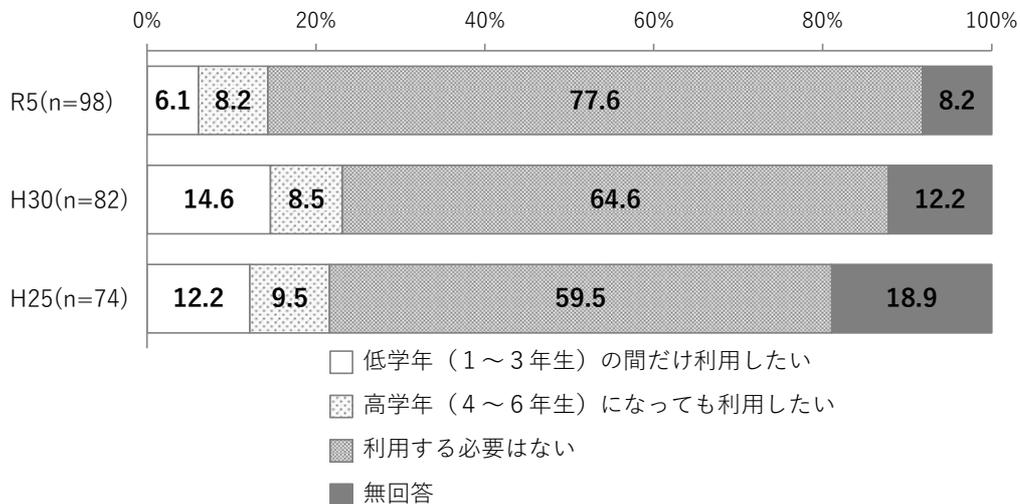


【日曜日・祝日】

「利用する必要はない」が77.6%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が8.2%、「低学年の間だけ利用したい」が6.1%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「利用する必要はない」が13.0ポイント増加し、「低学年の間だけ利用したい」が8.5ポイント減少しています。

図表 66 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

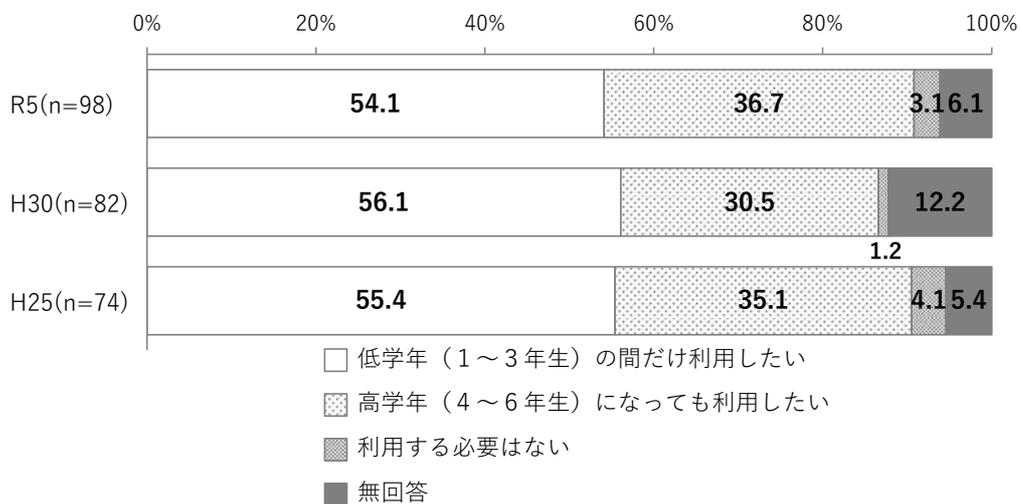


【長期休暇】

「低学年の間だけ利用したい」が54.1%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が36.7%、「利用する必要はない」が3.1%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「高学年になっても利用したい」が6.2ポイント増加しています。

図表 67 長期休暇の放課後児童クラブの利用希望



10. 育児休業等の職場の両立支援制度について

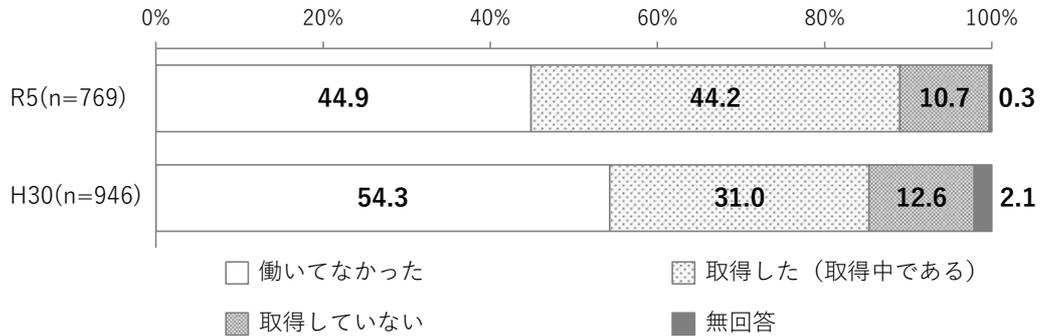
問 28 育児休業の取得の有無 (SA)

【母親】

「働いていなかった」が44.9%、「取得した（取得中である）」が44.2%、「取得していない」が10.7%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「取得した（取得中である）」が13.2ポイント増加し、「働いてなかった」が9.4ポイント減少しています。

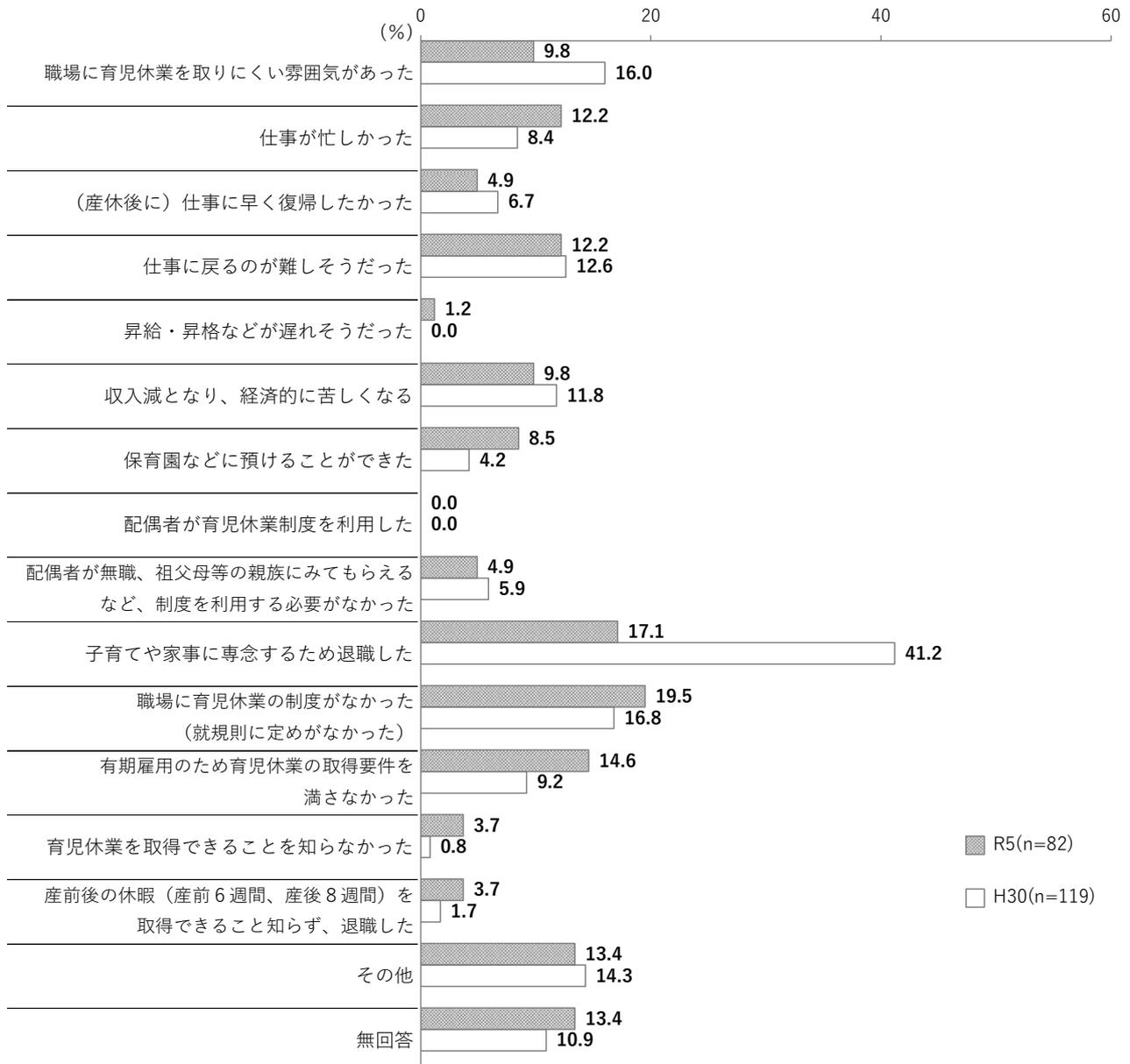
図表 68 母親の育児休業の取得の有無



「取得していない」と回答した方の理由は、「職場に育児休業の制度がなかった」が19.5%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が17.1%となっています。前回調査（H30）と比べると、「子育てや家事に専念するため退職した」が24.1ポイント減少しています。

回答条件：育児休業を取得しなかった人

図表 69 母親の取得していない理由

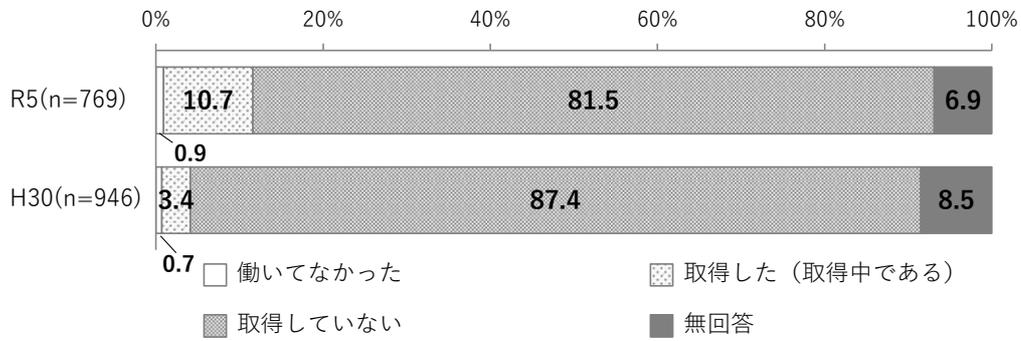


【父親】

「取得した（取得中である）」が10.7%、「取得していない」が81.5%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「取得した（取得中である）」が7.3ポイント増加し、「取得していない」が5.9ポイント減少しています。

図表 70 父親の育児休業の取得の有無

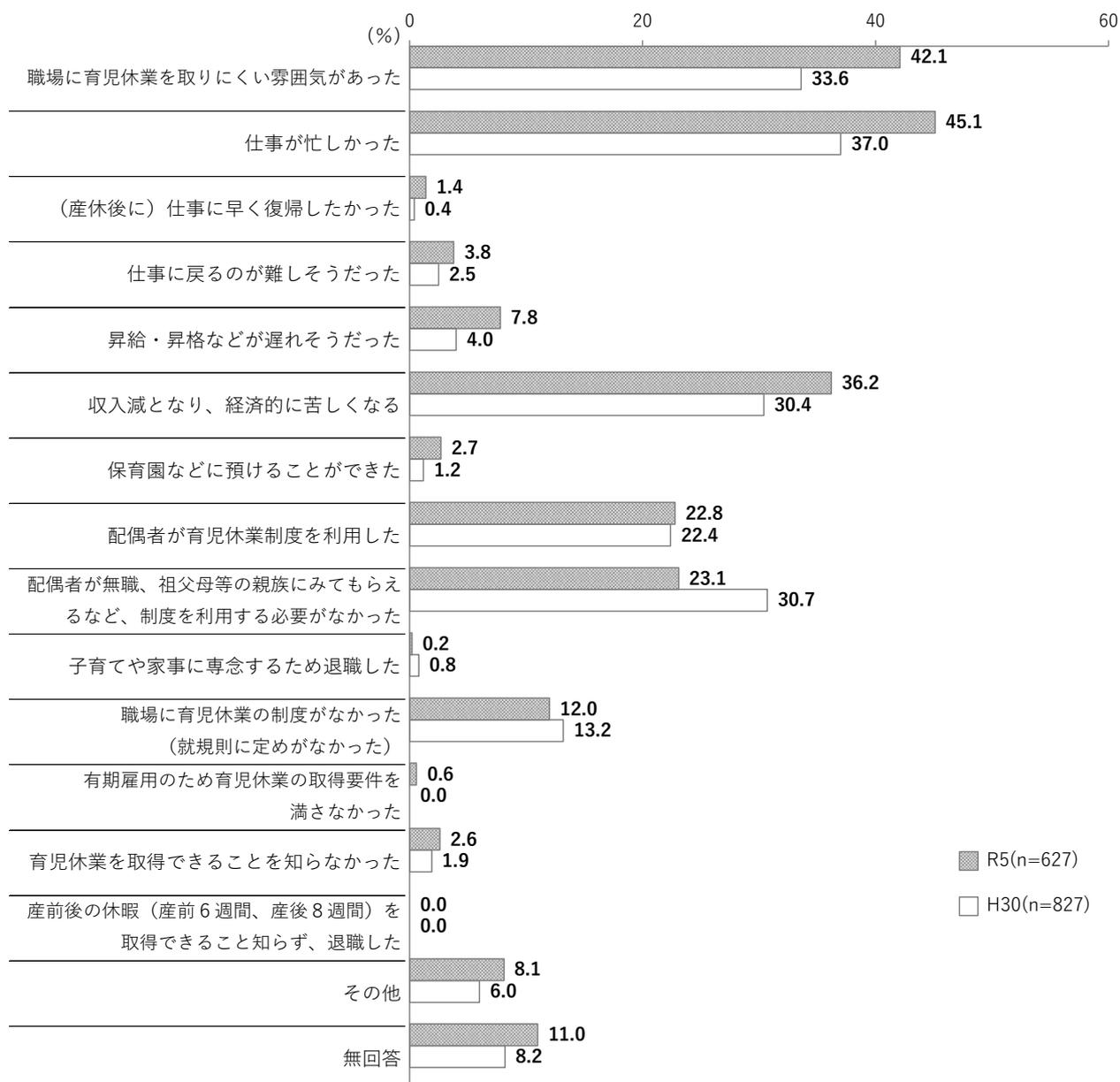


「取得していない」と回答した方の理由は、「仕事が忙しかった」が45.1%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が42.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が36.2%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が8.5ポイント、「仕事が忙しかった」が8.1ポイント増加しています。

回答条件：育児休業を取得しなかった人

図表 71 父親の取得していない理由



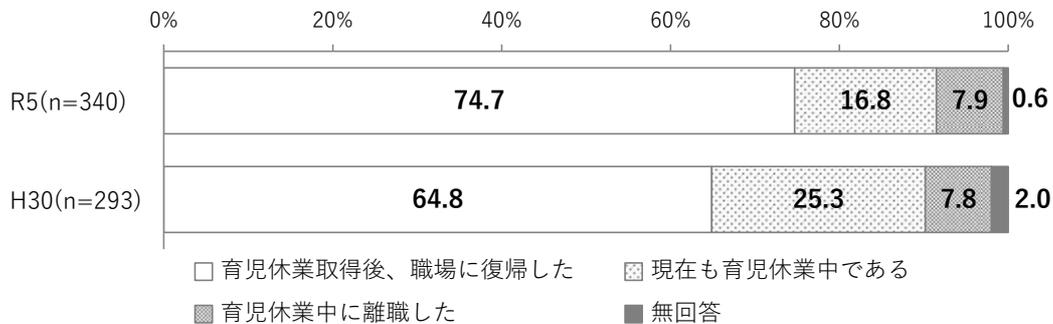
問 28-1 (1) 母親の育児休業後の職場復帰の有無 (SA)

回答条件：育児休業を取得した人

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 74.7%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 16.8%、「育児休業中に離職した」が 7.9%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 9.9 ポイント増加し、「現在も育児休業中である」が 8.5 ポイント減少しています。

図表 72 母親の育児休業後の職場復帰の有無



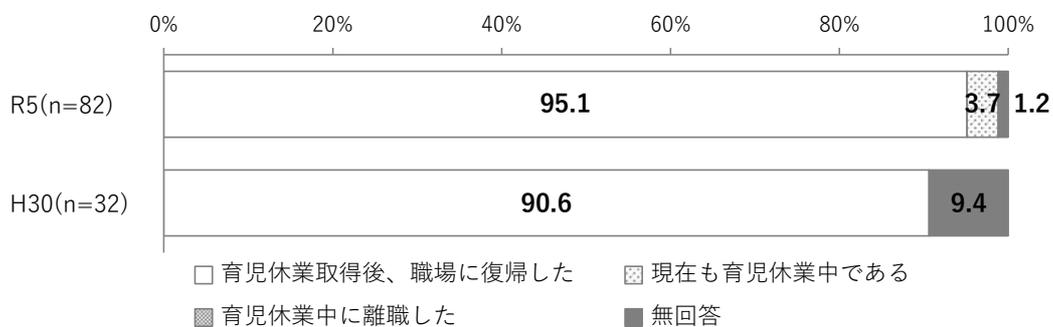
問 28-1 (2) 父親の育児休業後の職場復帰の有無 (SA)

回答条件：育児休業を取得した人

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 95.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 73 父親の育児休業後の職場復帰の有無

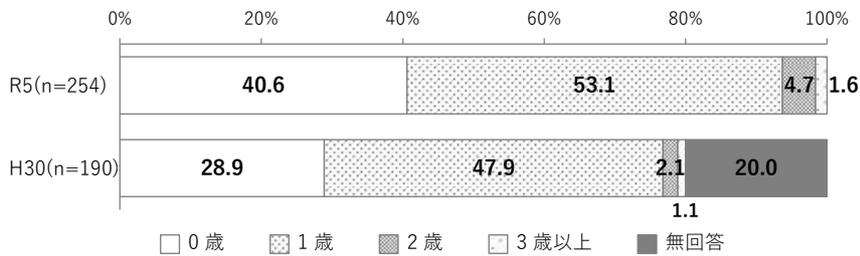


問 28-2 (1) 母親の育児休業の実際の取得期間と希望の期間 (NA)

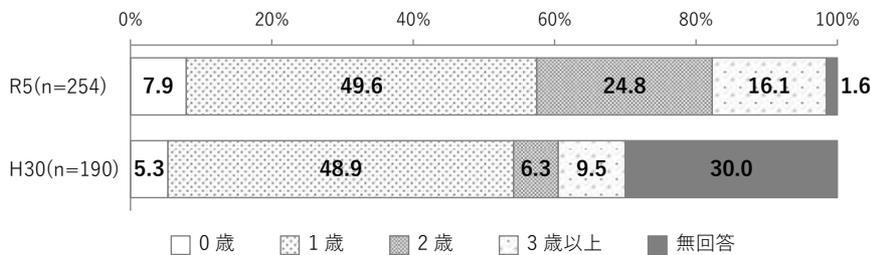
回答条件：育児休業取得後に、職場に復帰した人

実際の時期は「1歳」が53.1%と最も多く、希望の時期も「1歳」が49.6%と最も多くなっています。前回調査 (H30) と比べると、実際では「0歳」が11.7ポイント増加しています。

図表 74 母親の育児休業の実際の取得期間



図表 75 母親の育児休業の希望の期間

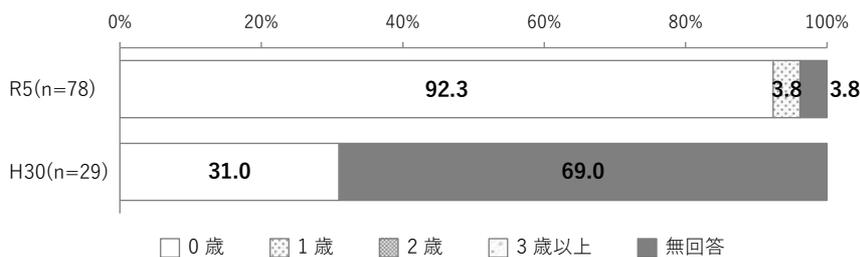


問 28-2 (2) 父親の育児休業の実際の取得期間と希望の期間 (NA)

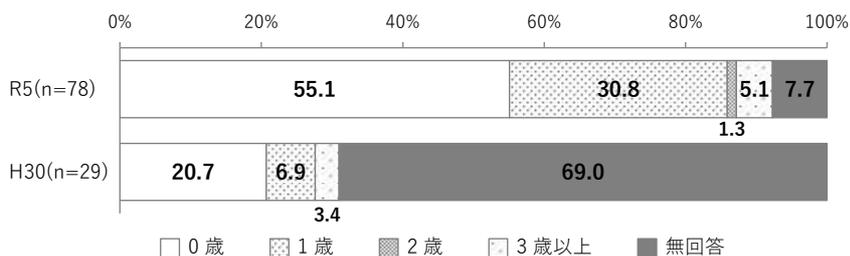
回答条件：育児休業取得後に、職場に復帰した人

実際の時期は「0歳」が92.3%、希望の時期では「0歳」が55.1%となっています。

図表 76 父親の育児休業の実際の取得期間



図表 77 父親の育児休業の希望の期間

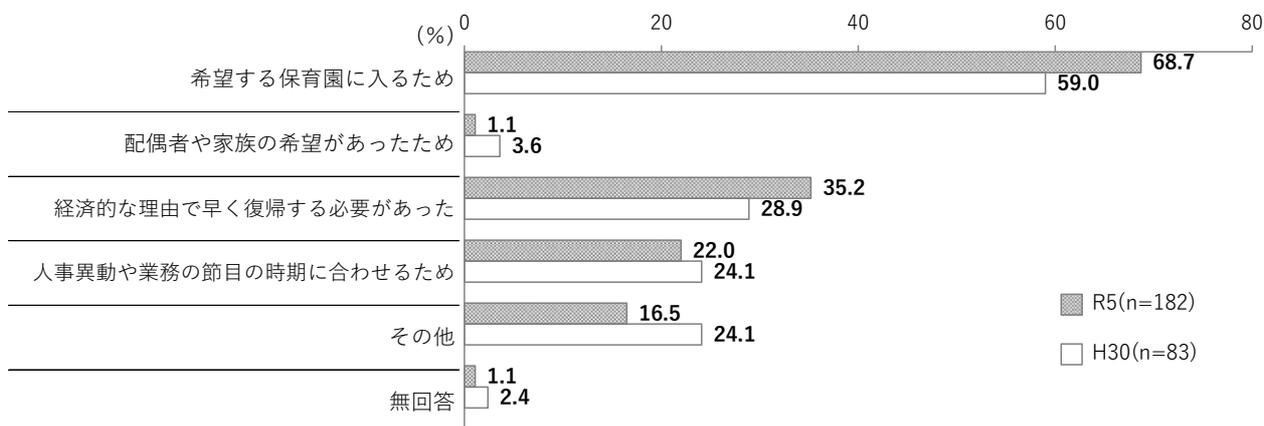


問 28-3 (1) 母親の希望より早く職場復帰した理由 (MA) 回答条件：希望の時期より実際の復帰が早かった人

「希望する保育園に入るため」が 68.7%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 35.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「希望する保育園に入るため」が 9.7 ポイント、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 6.3 ポイント増加しています。

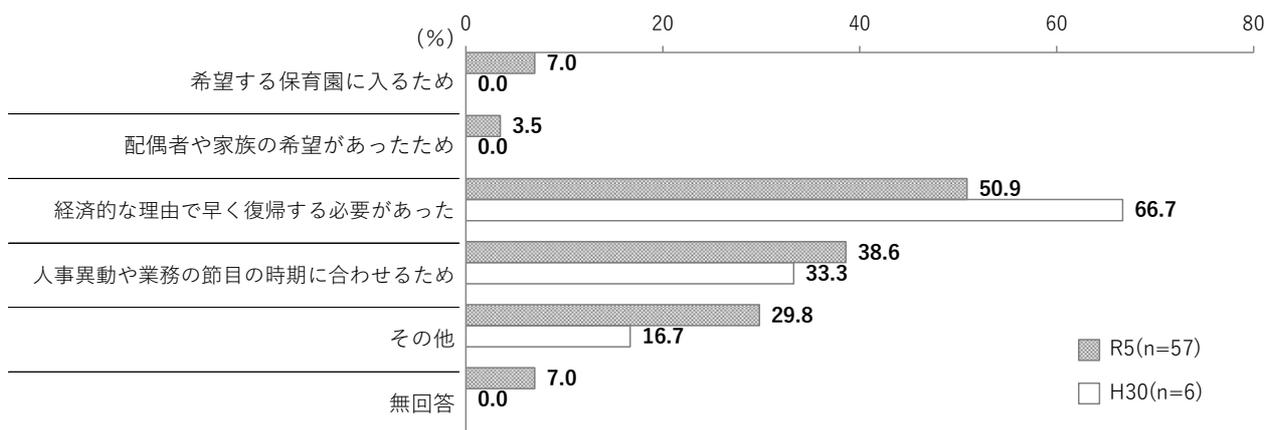
図表 78 母親の希望より早く職場復帰した理由



問 28-3 (2) 父親の希望より早く職場復帰した理由 (MA) 回答条件：希望の時期より実際の復帰が早かった人

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 50.9%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 38.6%となっています。

図表 79 父親の希望より早く職場復帰した理由



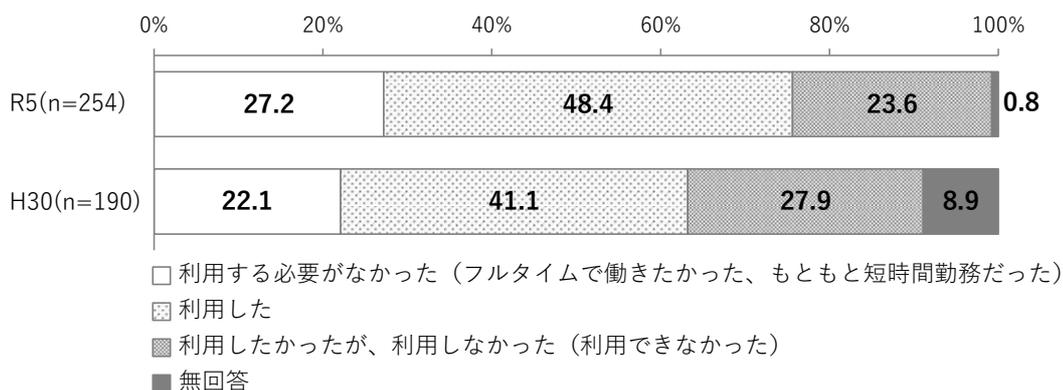
問 28-4 (1) 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無 (SA)

回答条件：育児休業取得後に、職場に復帰した人

「利用した」が48.4%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」が27.2%、「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」が23.6%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「利用した」が7.3ポイント、「利用する必要がなかった」が5.1ポイント増加しています。

図表 80 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無

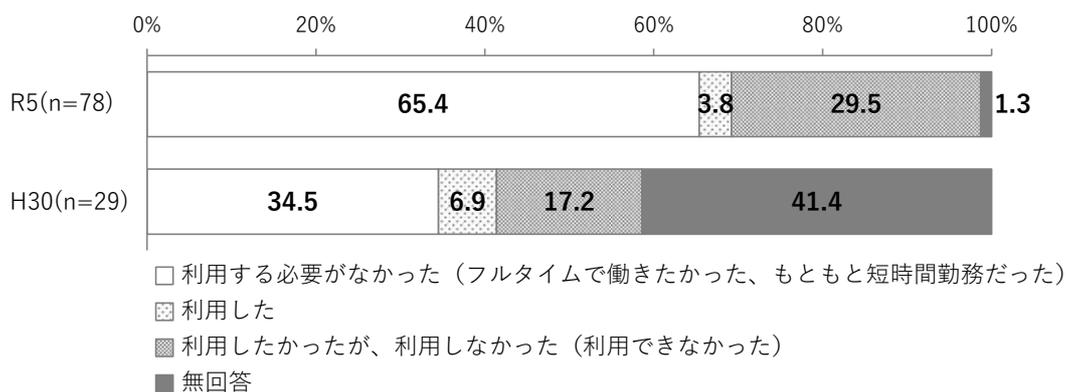


問 28-4 (2) 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無 (SA)

回答条件：育児休業取得後に、職場に復帰した人

「利用する必要がなかった」が65.4%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」が29.5%、「利用した」が3.8%となっています。

図表 81 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無

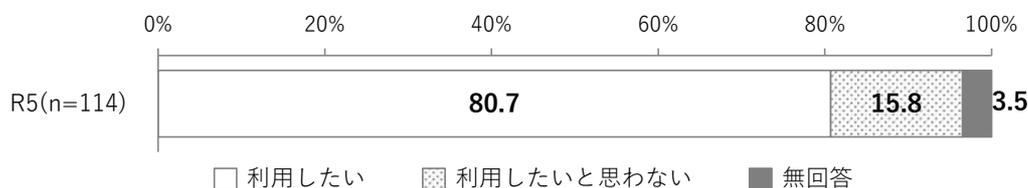


11. 「子ども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望について

問 29 「子ども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望（SA）（MA）

「利用したい」が80.7%、「利用したいと思わない」が15.8%となっています。

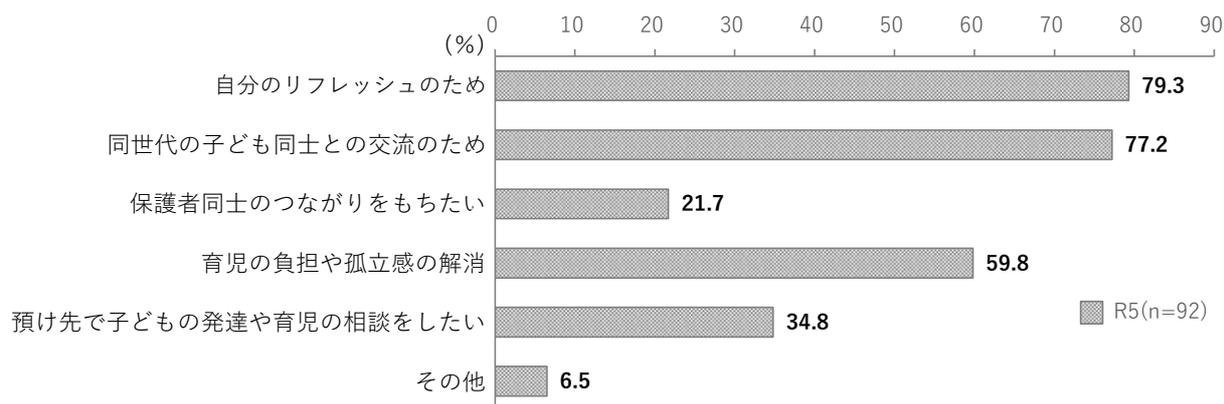
図表 82 「子ども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望



回答条件：子ども誰でも通園制度（仮称）を利用したい人

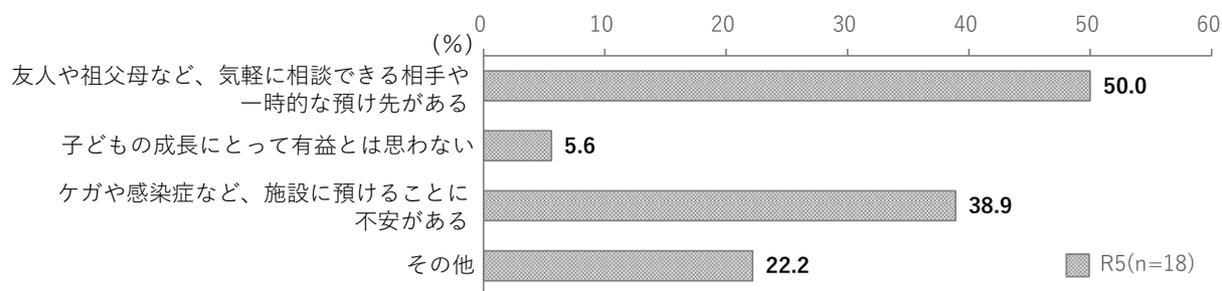
「自分のリフレッシュのため」が79.3%、「同世代の子ども同士との交流のため」が77.2%、「育児の負担や孤立感の解消」が59.8%となっています。

図表 83 「子ども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい理由



回答条件：子ども誰でも通園制度（仮称）を利用したいと思わない人

図表 84 「子ども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいと思わない理由

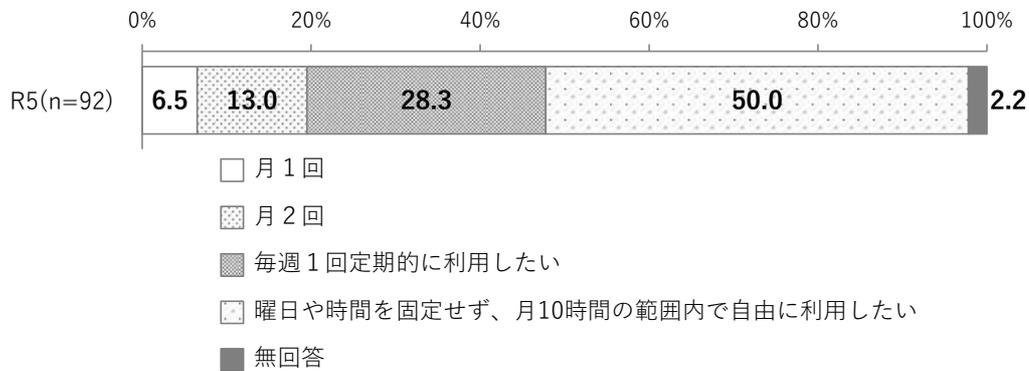


問 29-1 「子ども誰でも通園制度（仮称）」をどの程度利用したいか（SA）

回答条件：子ども誰でも通園制度（仮称）を利用したい人

「曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲内で自由に利用したい」が 50.0%で最も多く、次いで「毎週 1 回定期的に利用したい」が 28.3%となっています。

図表 85 「子ども誰でも通園制度（仮称）」をどの程度利用したいか

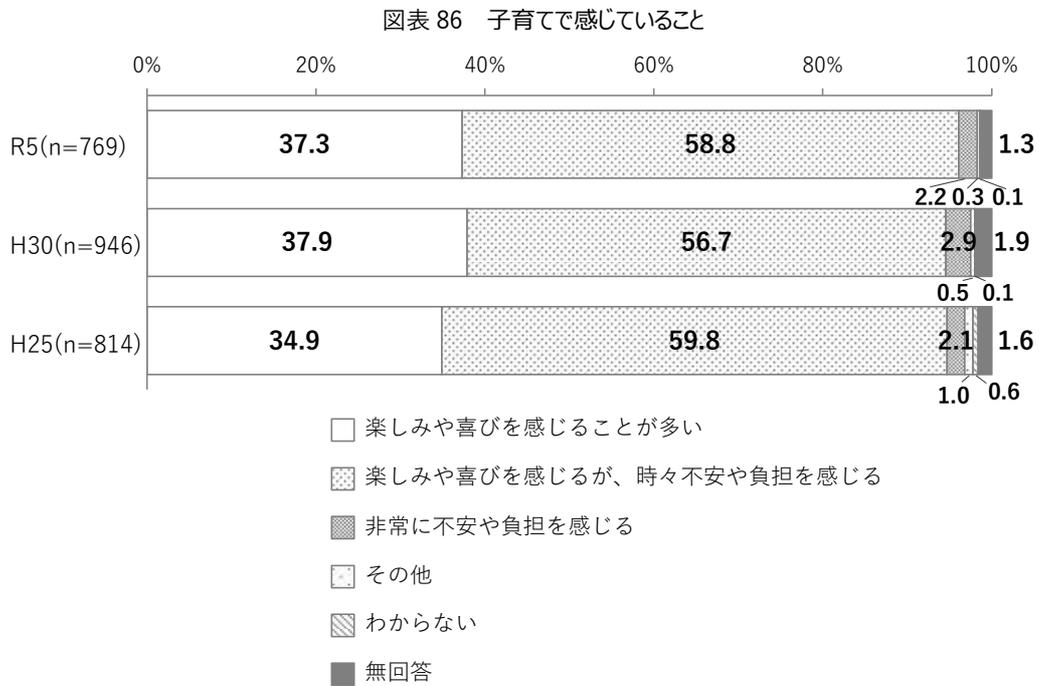


1 2. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 30 子育てで感じていること (SA)

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が 58.8%、「楽しみや喜びを感じるが多い」が 37.3%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。



問 30-1 子育てで感じていること理由 (FA)

理由について、530 人が回答しています。

意見内容等は、以下のとおりです。(抜粋)

「楽しみや喜びを感じるが多い」理由

- 毎日できる動きが増えたりする中で五体満足に生まれてきただけで幸せなことだと思います。
- 親も学ばされることが多く、共に成長していると感じられるため。
- 現在の家庭の環境(祖父母と同居)が経済的にも精神的にも肉体的にも負担が軽くなり生活しやすい。
- きょうだいもおり、それぞれ個性があり違う人間。考え方や悩み方も違い、いろいろな価値観が知れるし、それにお互いに向き合える関係が出来て嬉しい。今後も楽しみがある。
- 腹が立つこともたくさんあるけれど、やっぱり子供といると愛おしくて可愛くて、成長を感じるたびに幸せを感じます。
- 子どもとの行事、あそび、旅行等々一緒に行くことが何より楽しくて可愛い。子育ては苦ではない。保育園でも様々な経験活動を普段の生活にも生かされ、日々感謝している。
- 毎日のように怒っているけれど、子供がいることで、子供の笑顔や素直な感情に触れることができ、例えばそれが日々の中で一瞬であっても子育ての面白さや、驚き、喜びなどをとてつもなく感じさせてくれている。

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」理由

- 楽しみもあるが、将来の不安もある。
- 夫が仕事で帰りが遅い時、1人で2人の子どもを見るのが大変だと感じるため。
- 就労を考えているが、小学校に入ってから放課後や、長期休みの預け先がない。
- 遊ぶことは楽しいが、家事、仕事で思いきり遊ぶ時間がとれない。
- 子供の成長はうれしいが、自分の時間を作ることができない時は多少負担に思う。
- イヤイヤ期に入り、おこることがふえたり、おちつきなくすごすことが多くなって、負担を感じる時がある。
- 少子化が問題視されているわりに子育てにおける手当や控除など深く考えられていない気がする。子供達の成長は嬉しいが、世の中が不安すぎる。

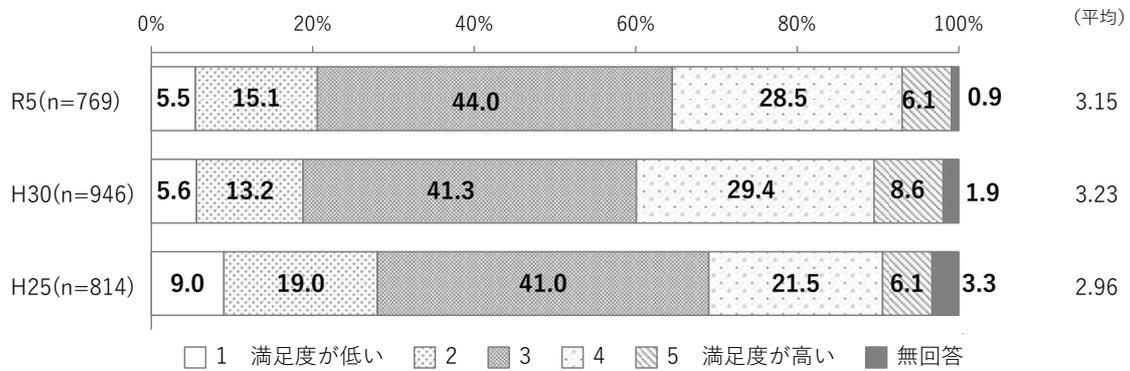
「非常に不安や負担を感じる」理由

- 保育園は就労している親に対し配慮してくれるが、小学校からの一方的な指定は、すべて平日の日中で仕事を休まなければならない、下の子も小学生になり、参観日など日時が同日でない場合、休みも増やして時間調整が大変になる。
- 自閉症と多動症の疑いが有り、周りからの理解が得られないため。
- 江別市は、子育て支援を力入れてるとうたっているのですが、期待していたが、一時保育は、年度初めから空きがなく、急に預ける所はなく、託児も時間の融通が効かず、0歳児の預け先に困る事が多く、負担不安が大きい。
- 今後経済的な不安があるが、働けない(時間的に雇用されにくい)。自分の時間が少なくてリフレッシュができない。

問 31 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

中間の「3」が44.0%と最も多く、次いで「4」が28.5%、「2」が15.1%となっています。
 前回調査 (H30) と平均値を比べると、満足度に大きな差はみられません。

図表 87 地域の子育ての環境や支援の満足度

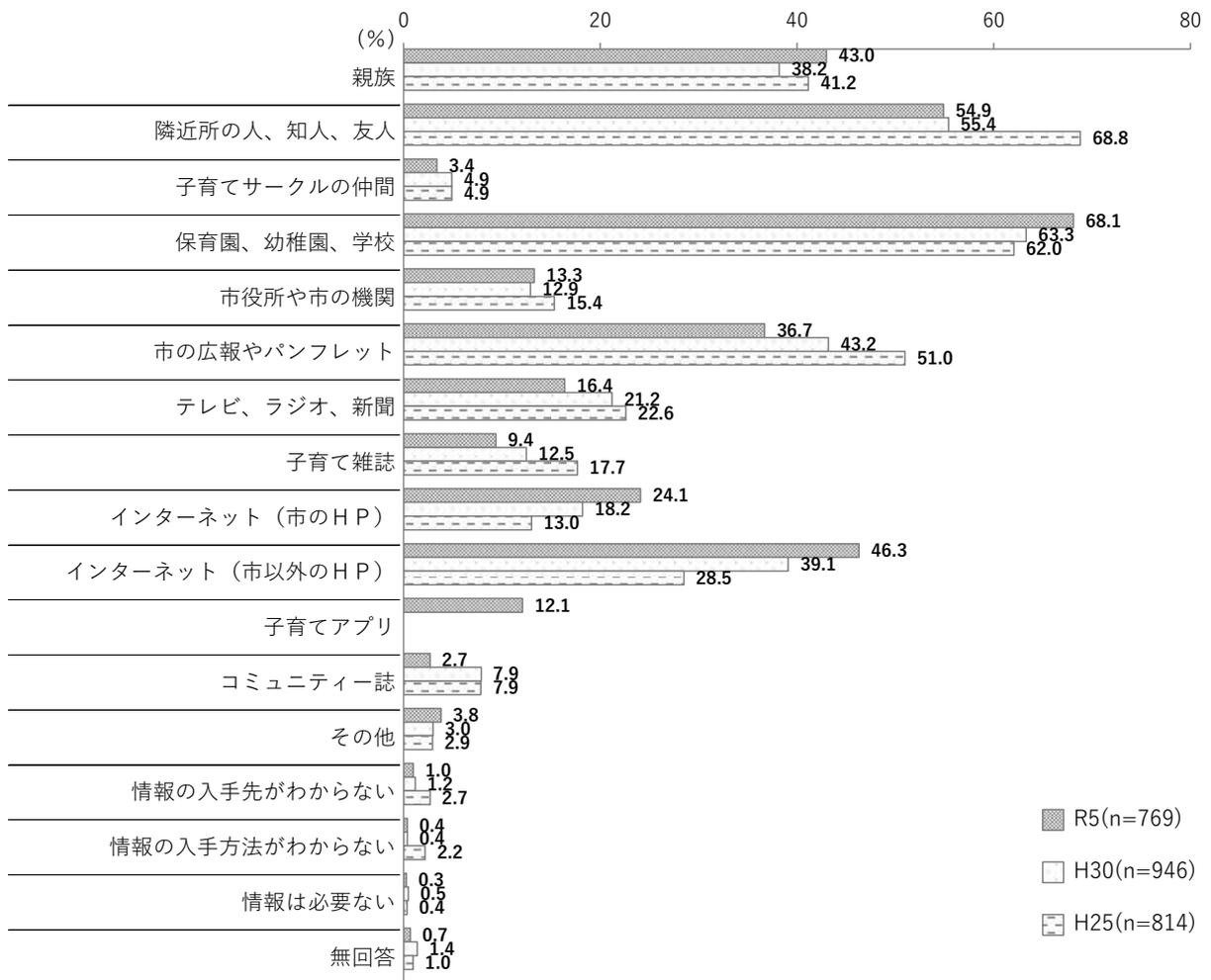


問 32 子育てに関する情報の入手先 (MA)

「保育所、幼稚園、学校」が68.1%と最も多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が54.9%、「インターネット（市以外のHP）」が46.3%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「インターネット（市以外のHP）」が7.2ポイント、「インターネット（市のHP）」が5.9ポイント増加、「市の広報やパンフレット」が6.5ポイント、「コミュニティー誌」が5.2ポイント減少しています。

図表 88 子育てに関する情報の入手先



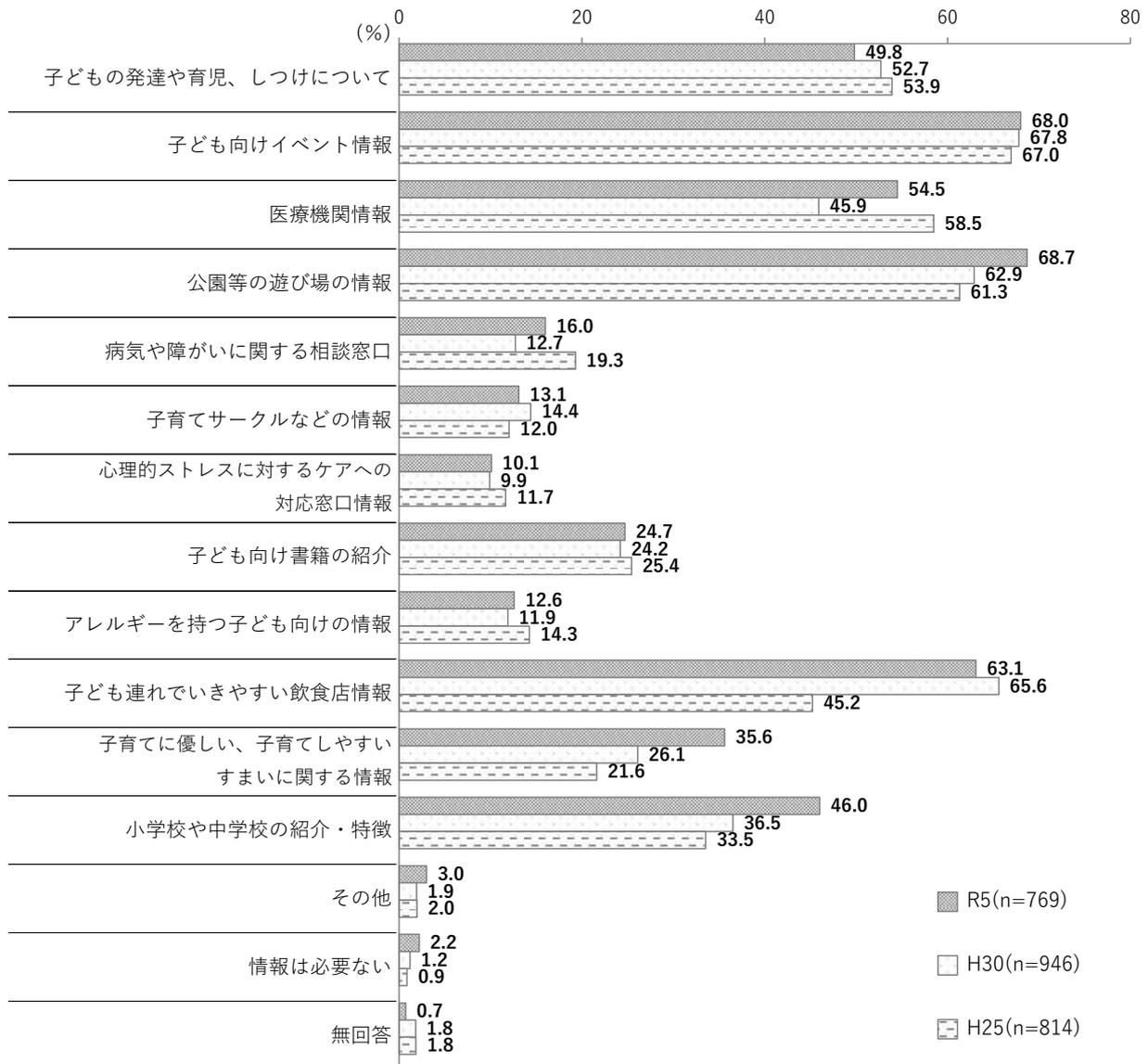
※「子育てアプリ」は新規の選択肢です。

問 33 子育てに関する情報で欲しいこと (MA)

「公園等の遊び場の情報」が68.7%、次いで「子ども向けイベント情報」が68.0%、「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が63.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「子育てに優しい、子育てしやすいすまいに関する情報」「小学校や中学校の紹介・特徴」が各々9.5ポイント、「医療機関情報」が8.6ポイント増加しています。

図表 89 子育てに関する情報で欲しいこと

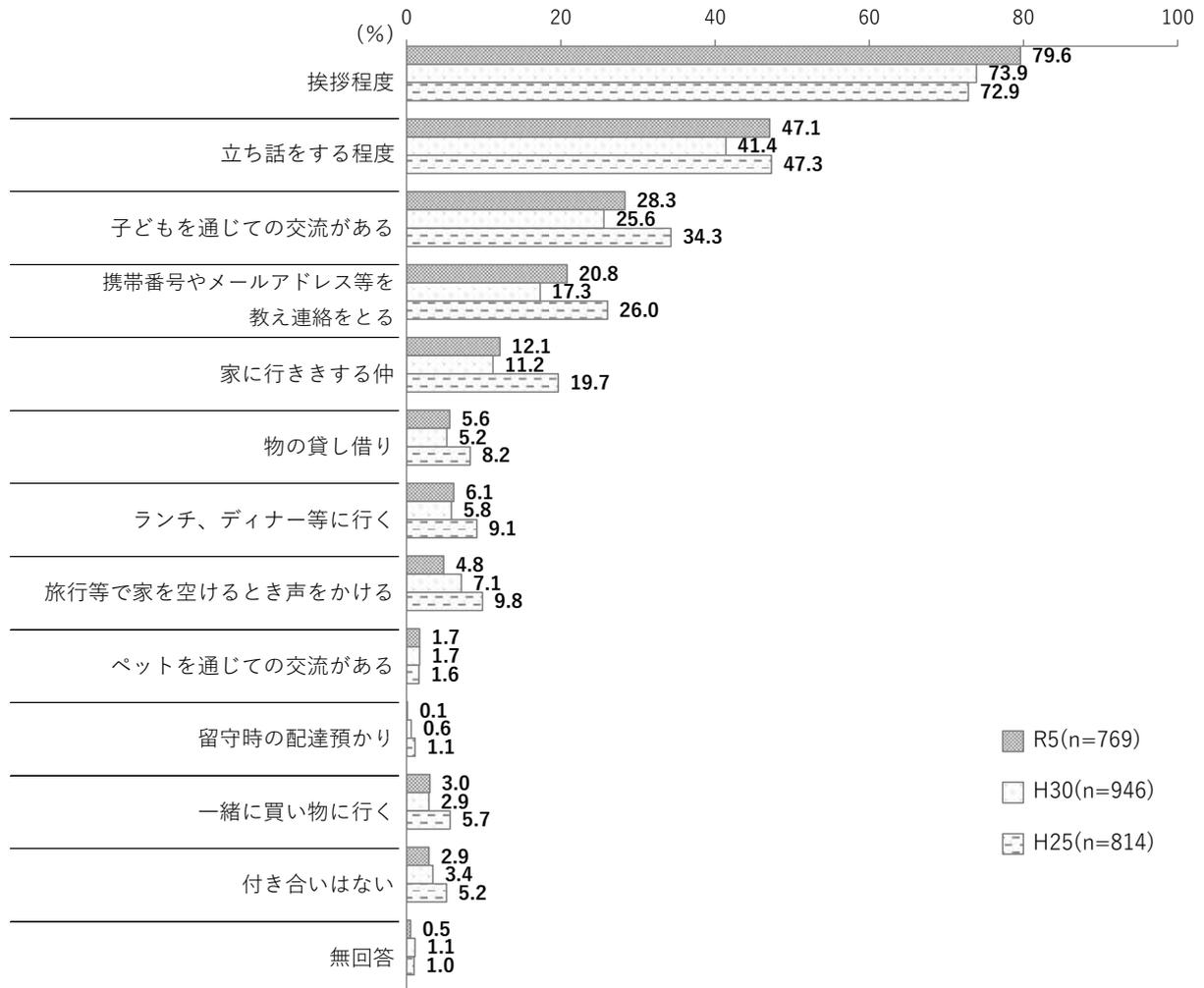


問 34 近所とのつきあいの程度 (MA)

「挨拶程度」が79.6%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が47.1%、「子どもを通じての交流がある」が28.3%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「挨拶程度」「立ち話をする程度」が各々5.7ポイント増加しています。

図表 90 近所とのつきあいの程度

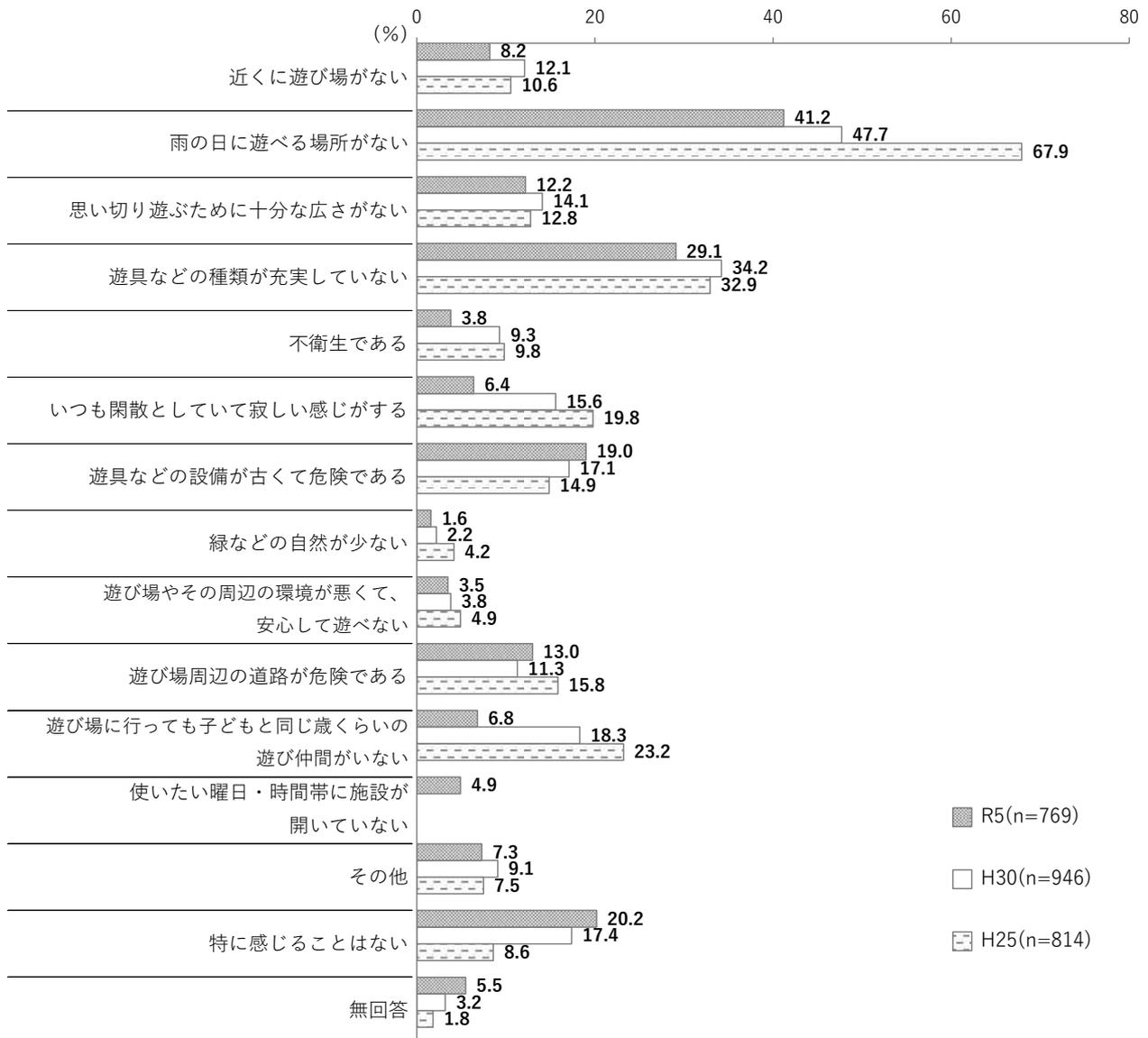


問 35 家の近くの遊び場について感じていること (MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が41.2%と最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が29.1%、「遊具などの設備が古くて危険である」が19.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 91 家の近くの遊び場について感じていること



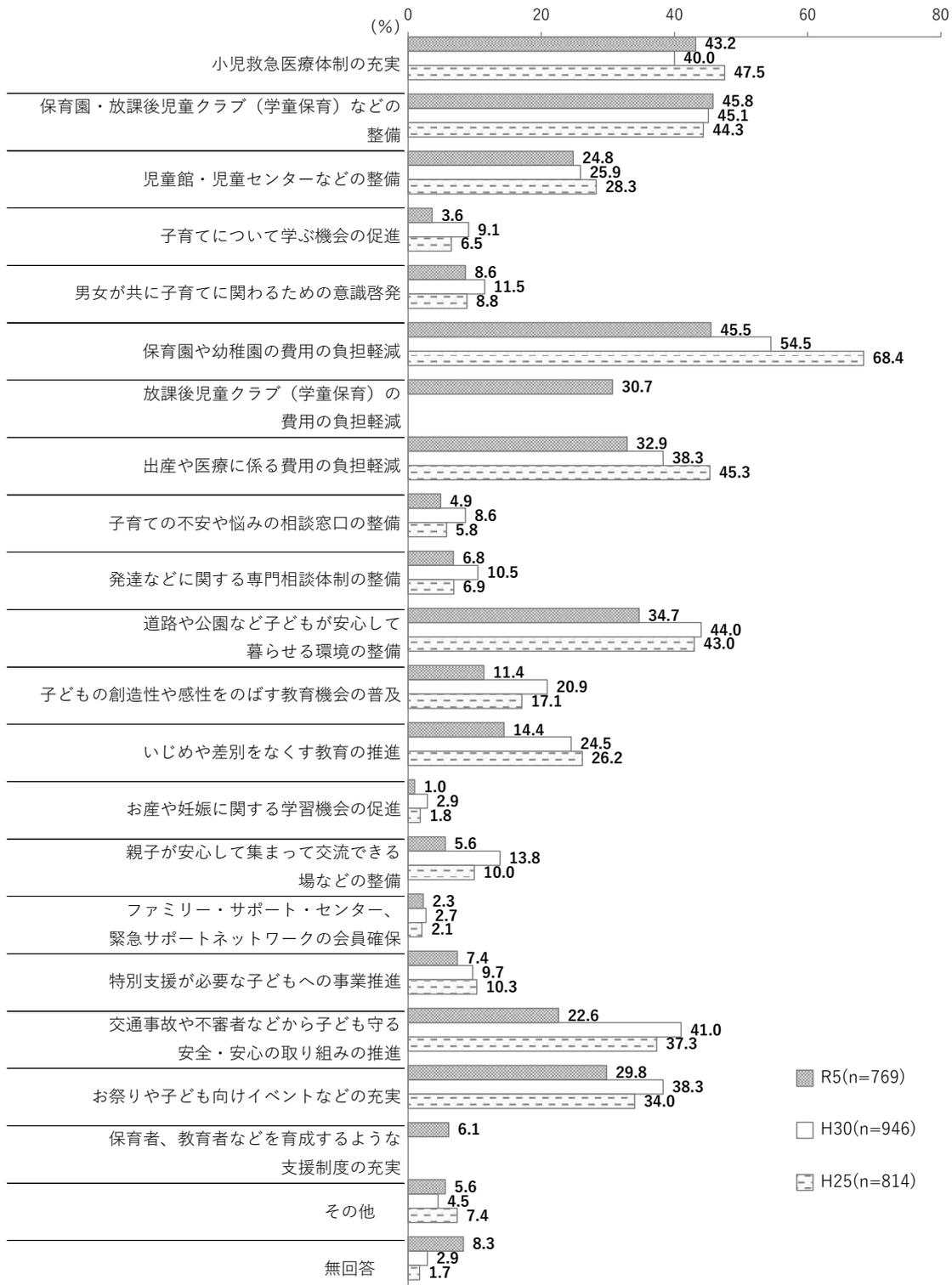
※「使いたい曜日・時間帯に施設が開いていない」は新規の選択肢です。

問 36 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと (MA)

「保育園・放課後児童クラブ（学童保育）などの整備」が 45.8%、「保育園や幼稚園の費用の負担軽減」が 45.5%、「小児救急医療体制の充実」が 43.2%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「交通事故や不審者などから子どもを守る安全・安心の取り組みの推進」が 18.4 ポイント、「いじめや差別をなくす教育の推進」が 10.1 ポイント減少しています。

図表 92 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと



※「放課後児童クラブ（学童保育）の費用の負担軽減」「保育者、教育者などを育成するような支援制度の充実」は新規の選択肢です。
 ※「保育園や幼稚園の費用の負担軽減」「ファミリー・サポート・センター、緊急サポートネットワークの会員確保」は前回調査までと表現が異なります。

問 37 子育ての環境や支援に関してのご意見 (FA)

子育ての環境や支援に関してのご意見について、354 人から 485 件の回答をしています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

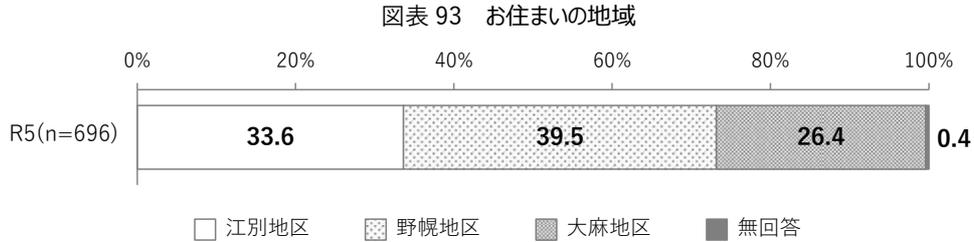
主な記述内容	件数
1. 保育サービスの充実（延長、一時保育、預かり、待遇改善など）	79
2. 生活環境の整備（交通・遊び場）	74
3. 医療の充実（病院を増やす、負担軽減、無料化など）	65
3. 地域における子育て支援（経済的支援、周囲の援助・情報）	65
5. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実	62
6. 安全等の確保、不審者・交通事故	39
7. 職場と家庭の両立	26
7. 幼児教育・保育の無償化・負担軽減	26
9. 学校教育環境の整備（学校・幼稚園）	22
10. 健康の確保及び増進	4
その他	23
合計	485

III 小学生調査

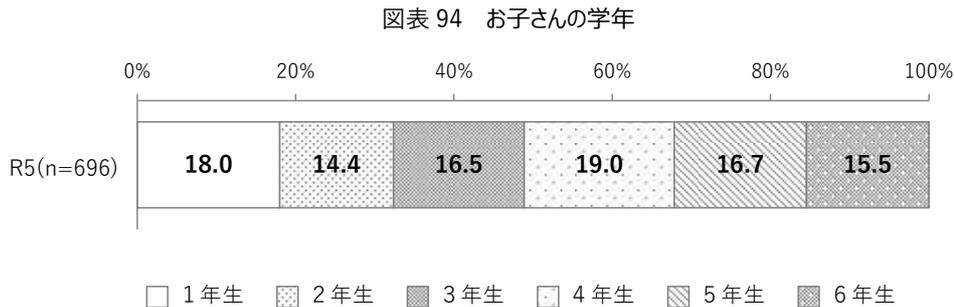
1. お子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地域 (FA)

「江別地区」が33.6%、「野幌地区」が39.5%、「大麻地区」が26.4%となっています。



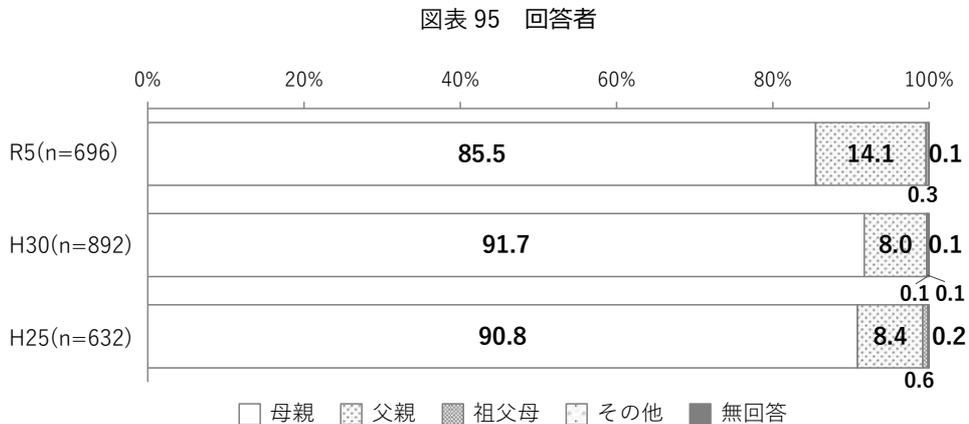
問2 お子さんの学年 (SA)



問3 回答者 (SA)

「母親」が85.5%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「父親」が6.1ポイント増加、「母親」が6.2ポイント減少しています。



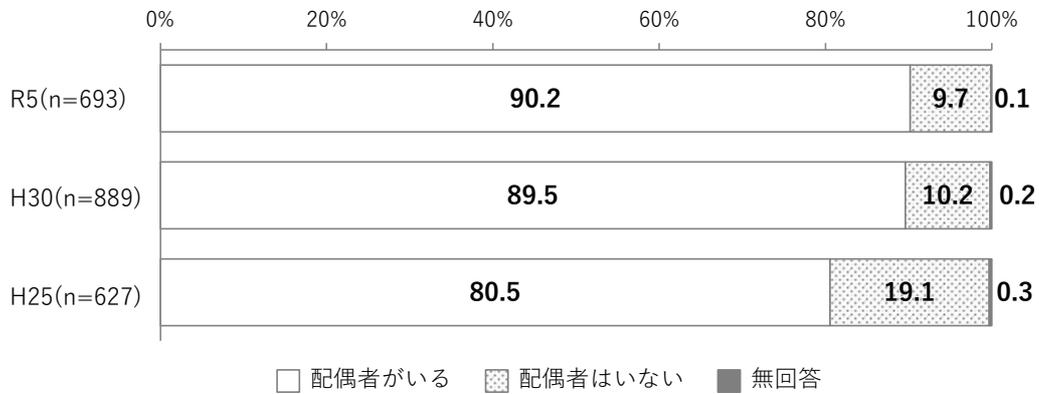
問4 回答者の配偶関係 (SA)

回答条件：母親もしくは父親が回答した人

「配偶者がいる」が90.2%となっています。

前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 96 回答者の配偶関係

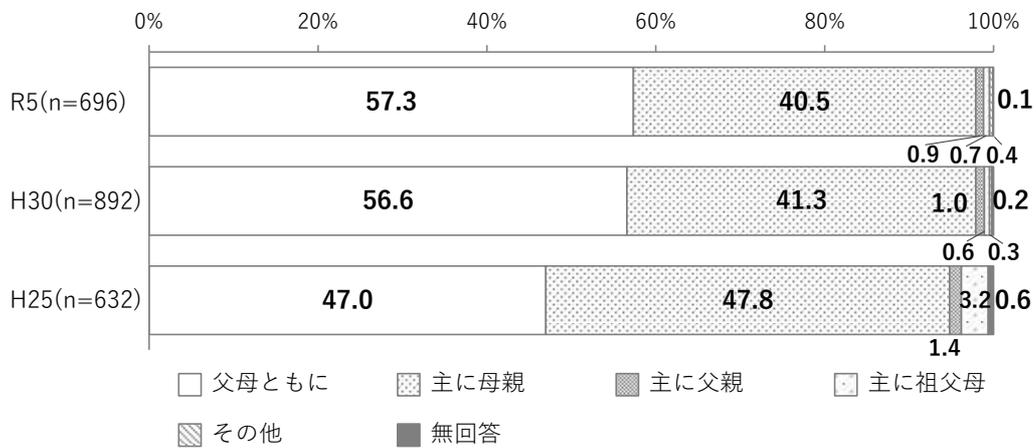


問5 子育てを主に行っている人 (SA)

「父母ともに」が57.3%と最も多く、次いで「主に母親」が40.5%となっています。

前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 97 子育てを主に行っている人



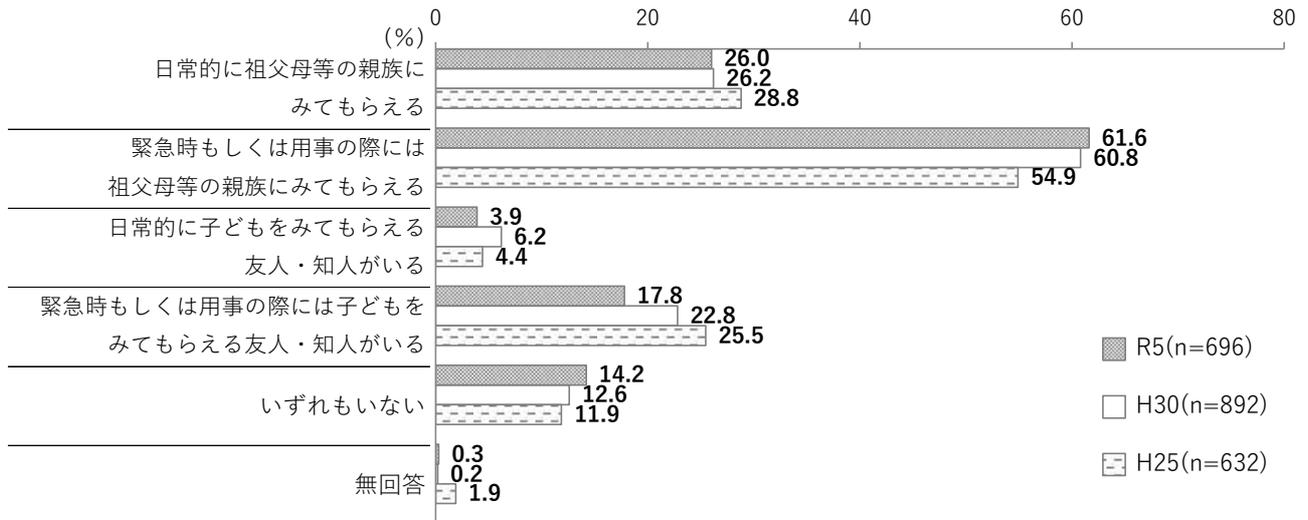
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 お子さんをみてもらえる親族・知人 (MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.6%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が26.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が5.0ポイント減少しています。

図表 98 お子さんをみてもらえる親族・知人

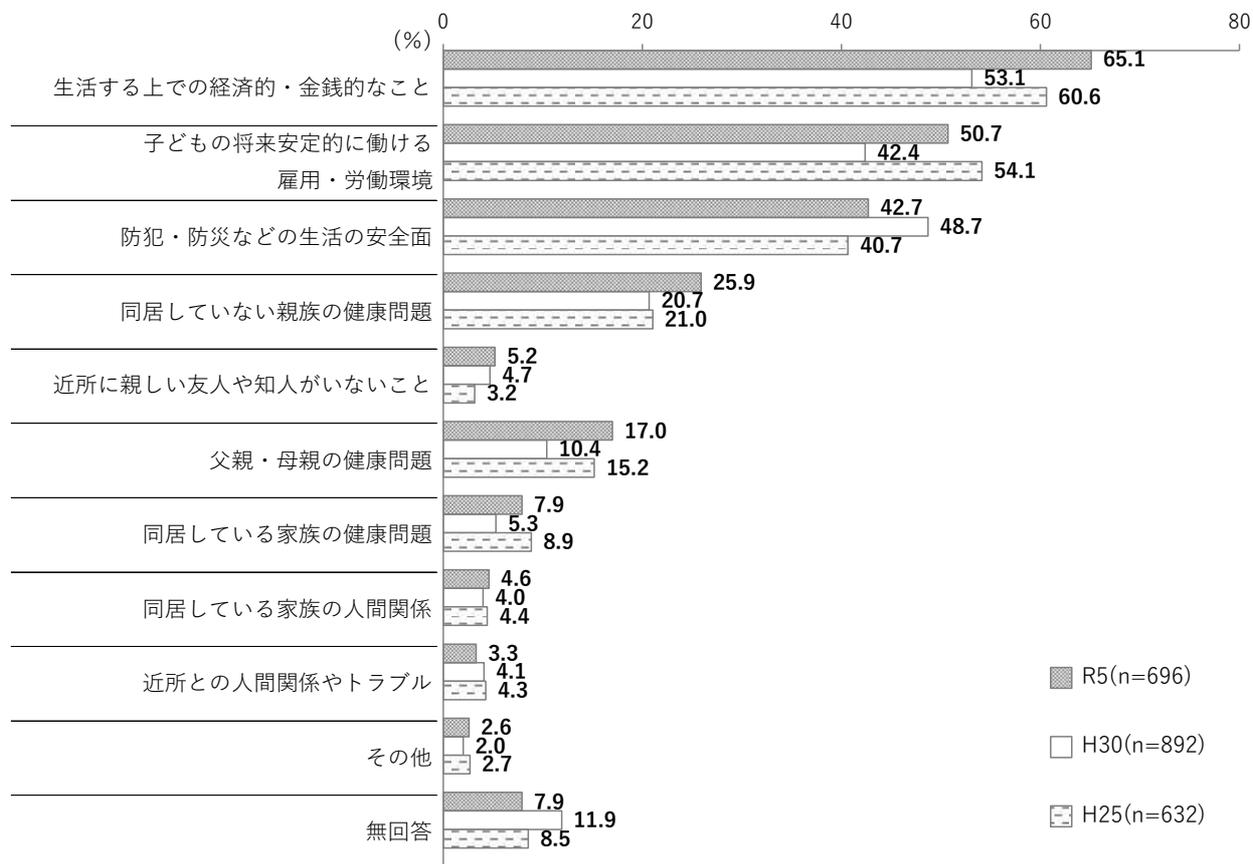


問7 (1) 家庭で気になっていること 生活全般 (MA)

「生活する上での経済的・金銭的なこと」が65.1%で最も多く、次いで「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が50.7%、「防犯・防災などの生活の安全面」が42.7%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「生活する上での経済的・金銭的なこと」が12.0ポイント、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が8.3ポイント増加しています。

図表 99 家庭で気になっていること 生活全般

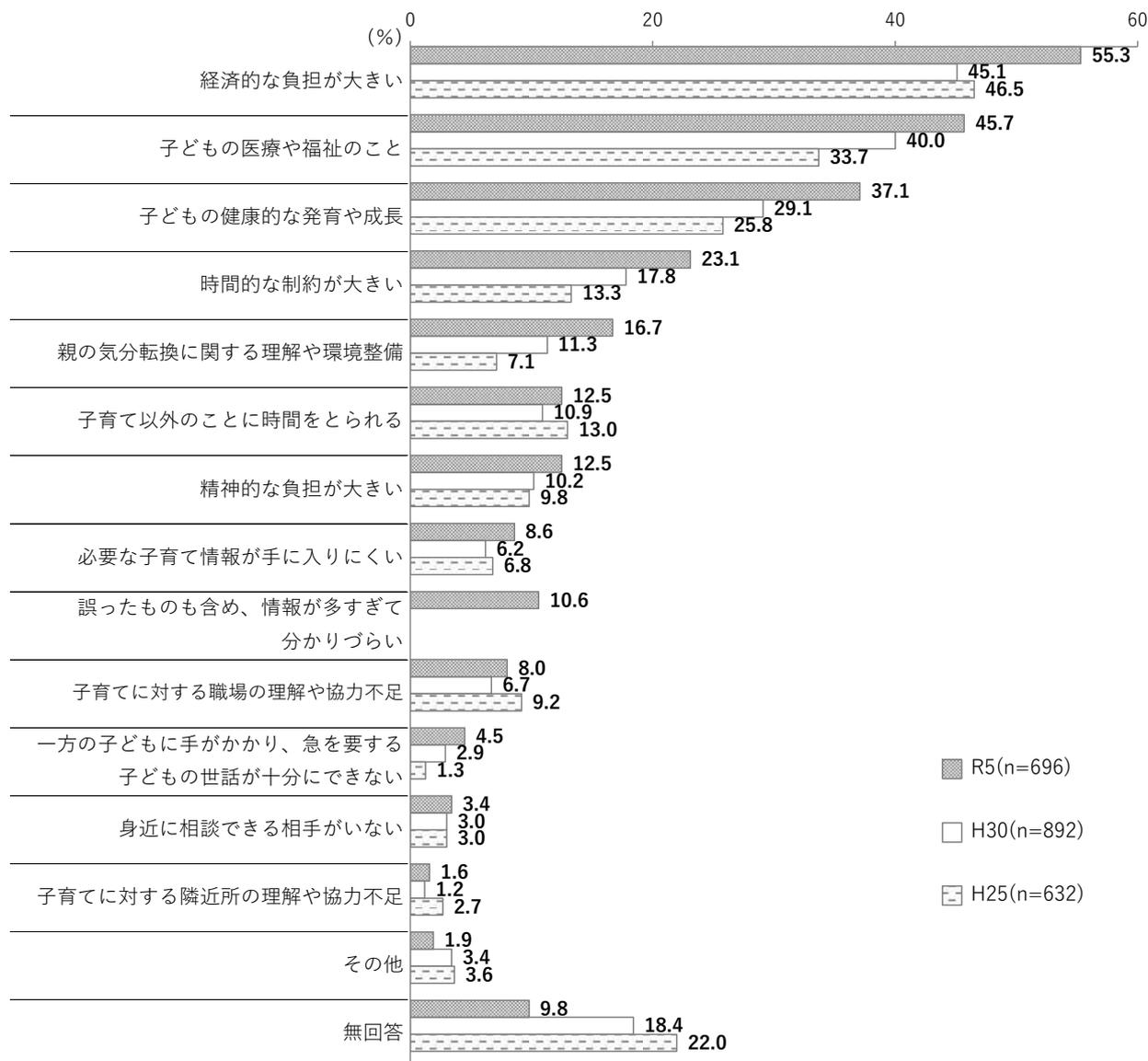


問7 (2) 家庭で気になっていること 子育て (MA)

「経済的な負担が大きい」が55.3%で最も多く、次いで「子どもの医療や福祉のこと」が45.7%、「子どもの健康的な発育や成長」が37.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「経済的な負担が大きい」が10.2ポイント、「子どもの健康的な発育や成長」が8.0ポイント増加しています。

図表 100 家庭で気になっていること 子育て

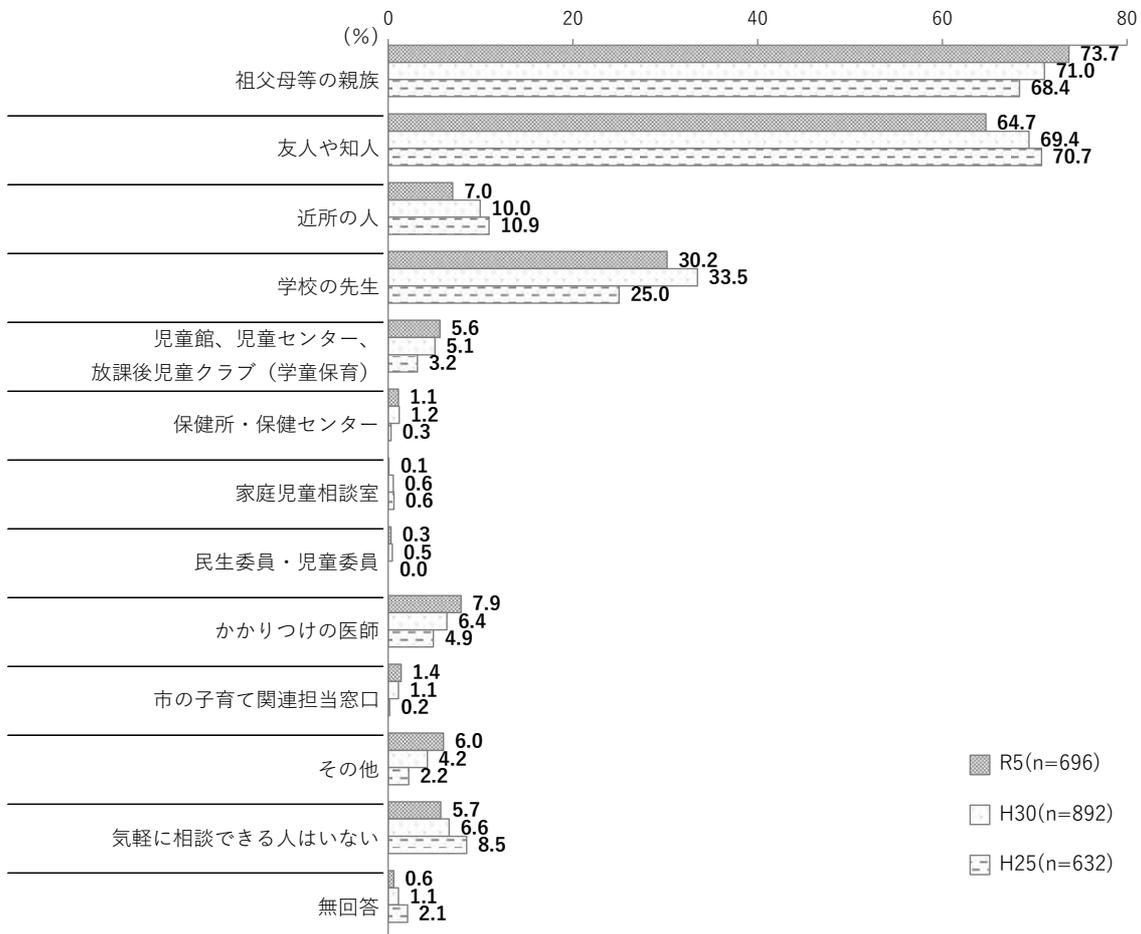


※「誤ったものも含め、情報が多すぎて分かりづらい」は新規の選択肢です。

問8 相談先 (MA)

「祖父母等の親族」が73.7%最も多く、次いで「友人や知人」が64.7%となっています。
 前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 101 相談先



※H25、H30 調査は今回の設問設計に合わせて再集計を行っています。

		問8 相談先													
		合計	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	学校の先生	児童館、児童センター、放課後児童クラブ (学童保育)	保健所・保健センター	家庭児童相談室	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	市の子育て関連担当窓口	その他	気軽に相談できる人はいない	無回答
全体		696	513	450	49	210	39	8	1	2	55	10	42	40	4
		100.0	73.7	64.7	7.0	30.2	5.6	1.1	0.1	0.3	7.9	1.4	6.0	5.7	0.6
問4 配偶関係	配偶者がいる	625	461	411	48	196	31	8	1	2	52	10	41	34	3
		100.0	73.8	65.8	7.7	31.4	5.0	1.3	0.2	0.3	8.3	1.6	6.6	5.4	0.5
問6 お子さん をみてもらえる 親族・知人	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	181	161	122	11	59	13	4	-	1	21	3	11	2	-
		100.0	89.0	67.4	6.1	32.6	7.2	2.2	-	0.6	11.6	1.7	6.1	1.1	-
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	429	337	293	33	135	25	6	-	1	39	5	22	16	3
		100.0	78.6	68.3	7.7	31.5	5.8	1.4	-	0.2	9.1	1.2	5.1	3.7	0.7
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	27	23	26	5	10	2	1	-	1	4	1	2	-	-
		100.0	85.2	96.3	18.5	37.0	7.4	3.7	-	3.7	14.8	3.7	7.4	-	-
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	124	88	111	17	48	9	1	-	-	15	-	5	3	1
		100.0	71.0	89.5	13.7	38.7	7.3	0.8	-	-	12.1	-	4.0	2.4	0.8
	いずれもない	99	38	46	7	22	3	-	1	-	3	2	11	21	1
		100.0	38.4	46.5	7.1	22.2	3.0	-	1.0	-	3.0	2.0	11.1	21.2	1.0

問9 周囲からあればよいと思うサポート（FA）

周囲からあればよいと思うサポートについて、238人が回答しています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

○生活環境・遊び場
学校内に全学年が利用できる放課後児童クラブができて欲しい。 共働きによる放課後児童クラブへの送迎の負担を減らしてほしい。 放課後いつでも気軽に行ける学童等のサービスが充実していると助かる。 ぽこあぽこのような室内の遊び場、大型遊具の公園などをより充実させてほしい。 小学校から帰宅後近くに同級生がいないので気軽に遊べない…公園以外の遊び場が欲しい。 小学校のミニ児童館をもっと使いやすくしていただくと嬉しいです。
○地域における支援
子どもたちを暖かく見守ってくれる地域の方の目がとてもありがたく感じます。 他の保護者や地域の人たちとの交流の機会があると助かります。 気分転換になるような子どもと一緒にに行けるイベントをたくさん開いてほしい。
○健康・医療
健康面で不安が生じたとき相談できる人が圧倒的に少ない。 医療費や教育に関する補助があると助かります。
○相談体制
匿名で顔も合わせず相談できるライン等を活用したサポートがあればいい。 何もない子でもせめて年に1回、市で子供の相談ができる場所がほしい。 小3や小6などで簡易的でもよいので、保健センターで保健士さんに会う機会があると、発達思春期に関する相談などしやすい。 困った時にカウンセラーなどの専門機関にすぐ相談できるようになるとよい。
○教育環境
他の学校の勉強の進み具合に合わせてほしい。 学校教育だけでは足りないのなら、午後に誰もが受けられるサポートがあるといいと思う。 （学童でボランティアで学生が教えてくれる等） 教育無償化 金銭面であきらめる事がないようなサポートがあればいい。
○仕事と子育ての両立支援
雨や雪で学校にむかえに行かなければならない時、仕事が終わるまでみてほしい。 不審者情報が多いので、仕事をしている以上限界もあるため、パトロールを強化していただけると安心です。 習い事をさせるため送迎が必要な場合、仕事を早退、休暇取得をしているので、そこのサポートがほしい。 急な仕事が入り、時間通りに帰れない時に子どもをみてもらえるようなサポートがほしい。

3. 保護者の就労状況について

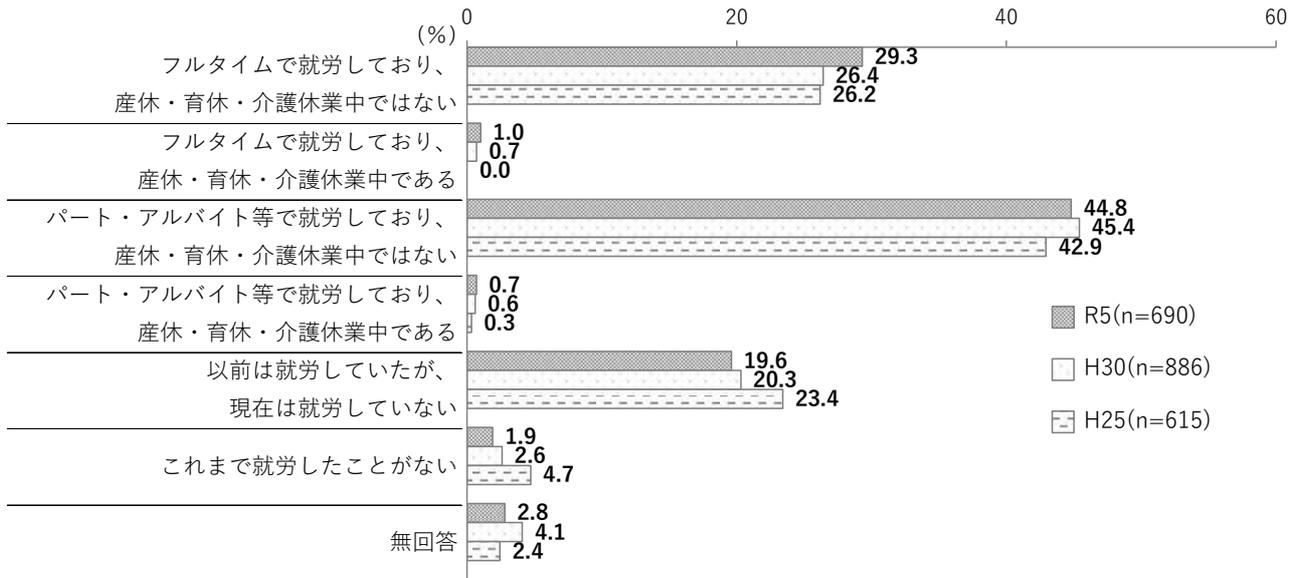
問 10 母親の就労状況 (SA)

回答条件：回答者＝父親かつ配偶者いない人除く

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 44.8%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 29.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 19.6%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 102 母親の就労状況



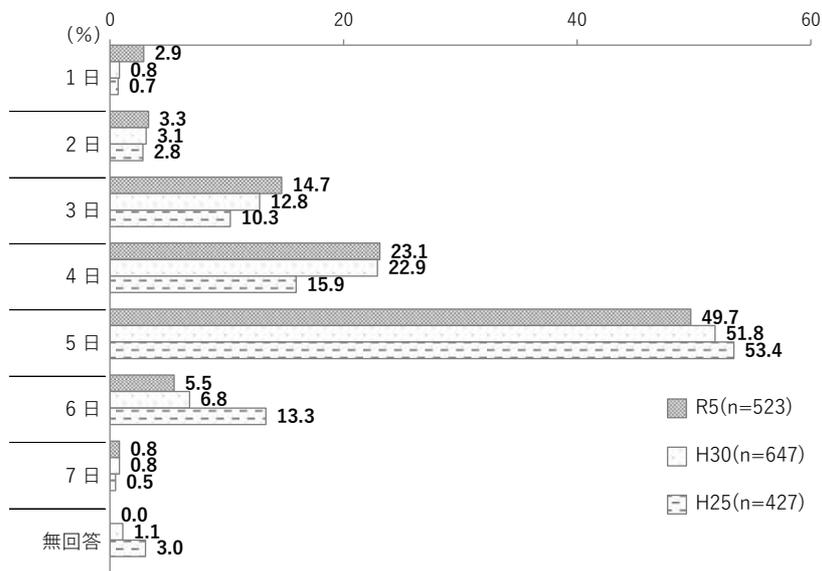
上段：実数 下段：比率		問10 母親の就労状況							無回答
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	
全 体		690 100.0	202 29.3	7 1.0	309 44.8	5 0.7	135 19.6	13 1.9	19 2.8
問2 お子さんの学年	1年生	125 100.0	41 32.8	2 1.6	50 40.0	-	29 23.2	2 1.6	1 0.8
	2年生	100 100.0	34 34.0	3 3.0	40 40.0	1 1.0	19 19.0	3 3.0	-
	3年生	114 100.0	28 24.6	-	56 49.1	1 0.9	21 18.4	2 1.8	6 5.3
	4年生	131 100.0	34 26.0	1 0.8	66 50.4	1 0.8	22 16.8	4 3.1	3 2.3
	5年生	113 100.0	30 26.5	1 0.9	54 47.8	1 0.9	21 18.6	1 0.9	5 4.4
	6年生	107 100.0	35 32.7	-	43 40.2	1 0.9	23 21.5	1 0.9	4 3.7

問 10-1 母親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

回答条件：母親が就労している人

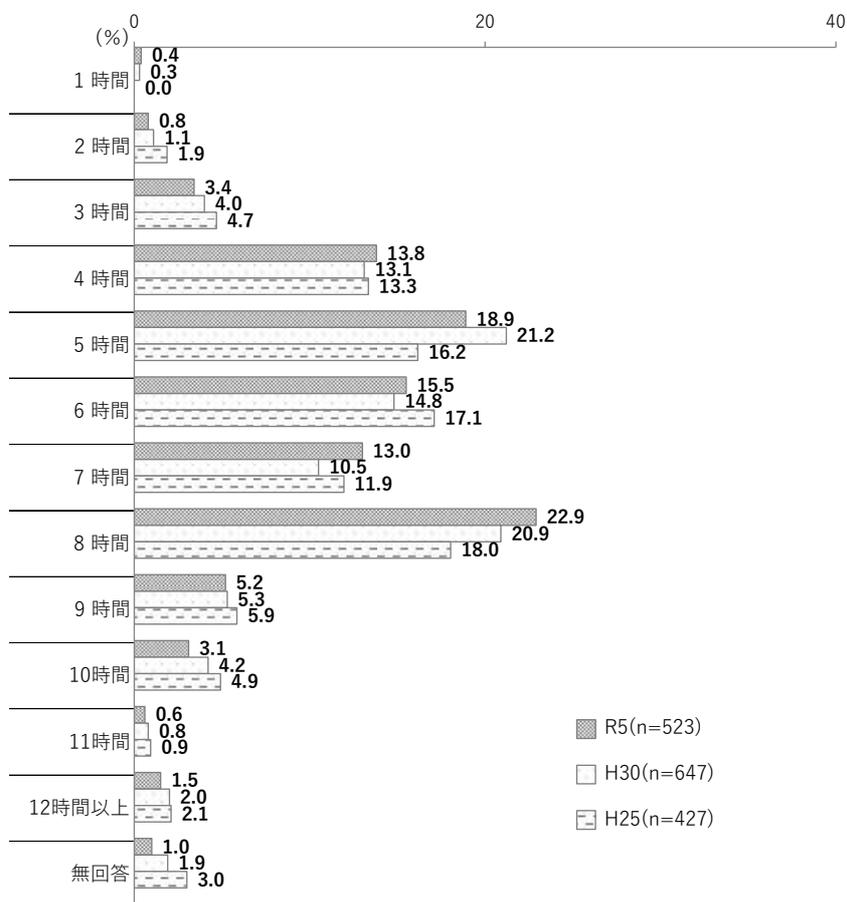
「5日」が49.7%と最も多くなっています。
 前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 103 母親の平均就労日数



「8時間」が22.9%と最も多く、次いで「5時間」が18.9%、「6時間」が15.5%となっています。
 前回調査（H30）と比べて大きな差はみられません。

図表 104 母親の平均就労時間

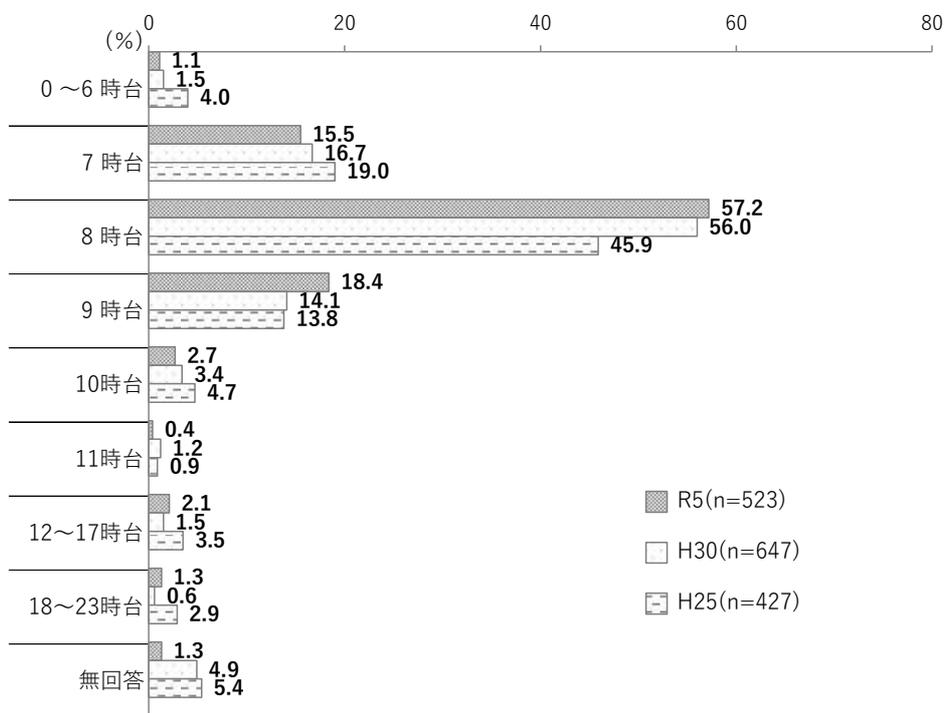


問 10-2 母親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

回答条件：母親が就労している人

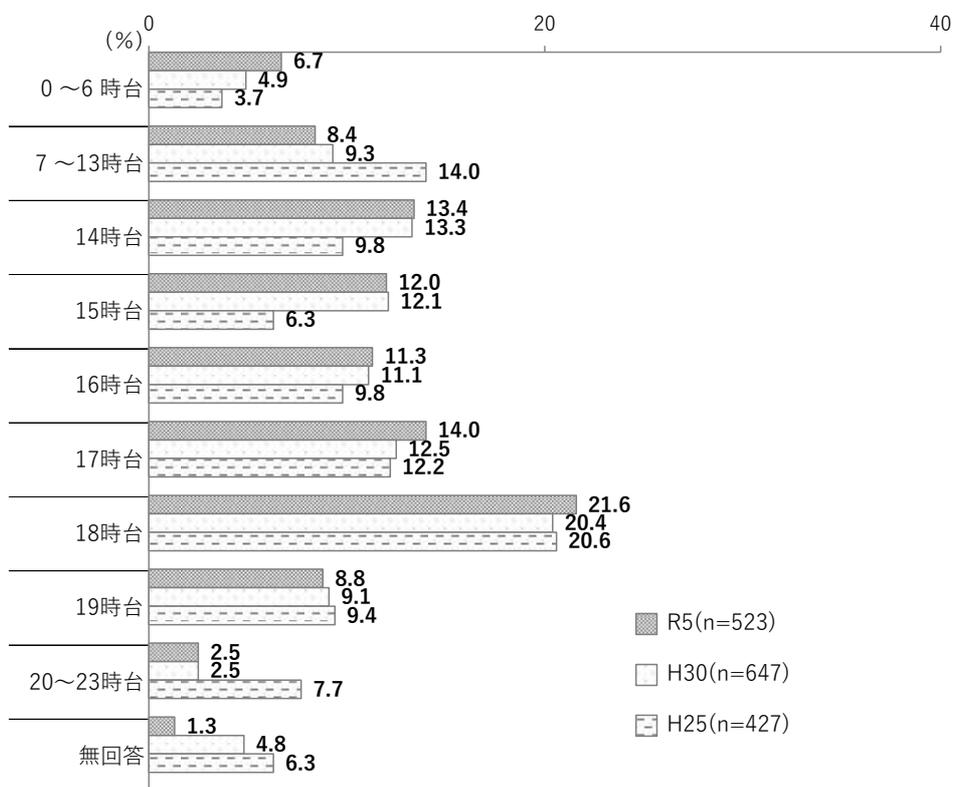
「8 時台」が 57.2%と最も多く、次いで「9 時台」が 18.4%、「7 時台」が 15.5%となっています。

図表 105 母親の家を出る時間



「18 時台」が 21.6%と最も多く、次いで「17 時台」が 14.0%、「14 時台」が 13.4%となっています。

図表 106 母親の帰宅時間



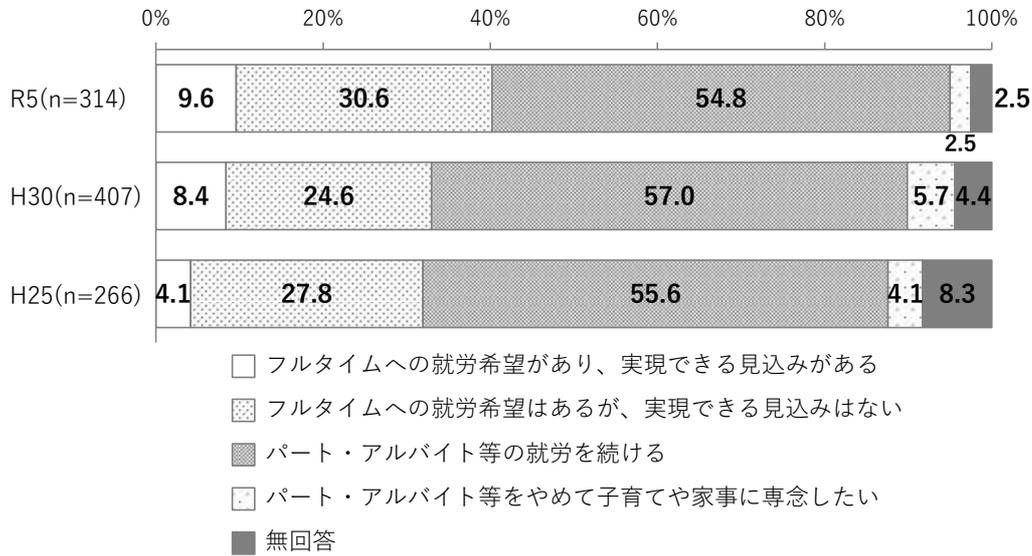
問 10-3 母親のフルタイムへの就労希望 (SA)

回答条件：母親がパート・アルバイト等で就労している人

「パート・アルバイト等の就労を続ける」が54.8%と最も多くなっています。

前回調査 (H30) と比べると、「フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が6.0ポイント増加しています。

図表 107 母親のフルタイムへの就労希望



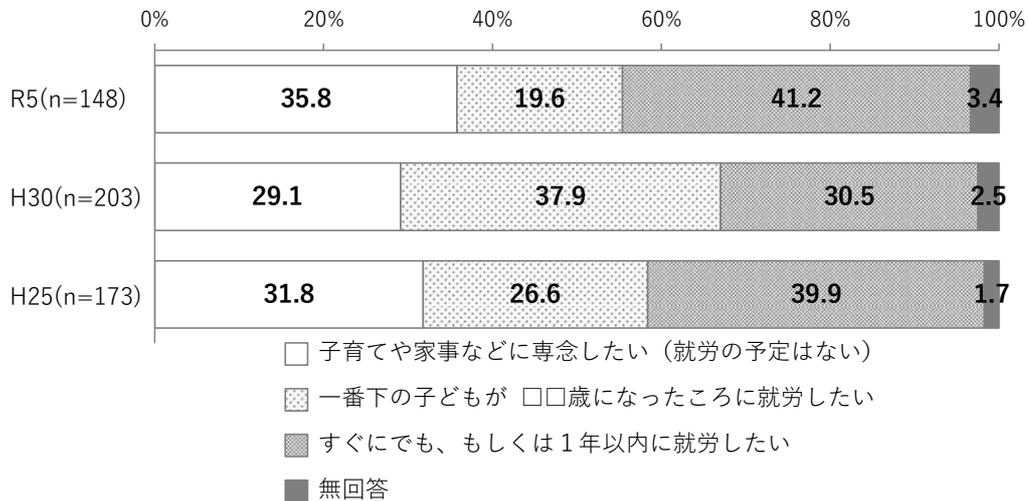
問 10-4 母親の就労希望 (SA)

回答条件：母親が現在就労していない人

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が41.2%と最も多くなっています。

前回調査 (H30) と比べると、「一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が18.3ポイント減少しています。

図表 108 母親の就労希望

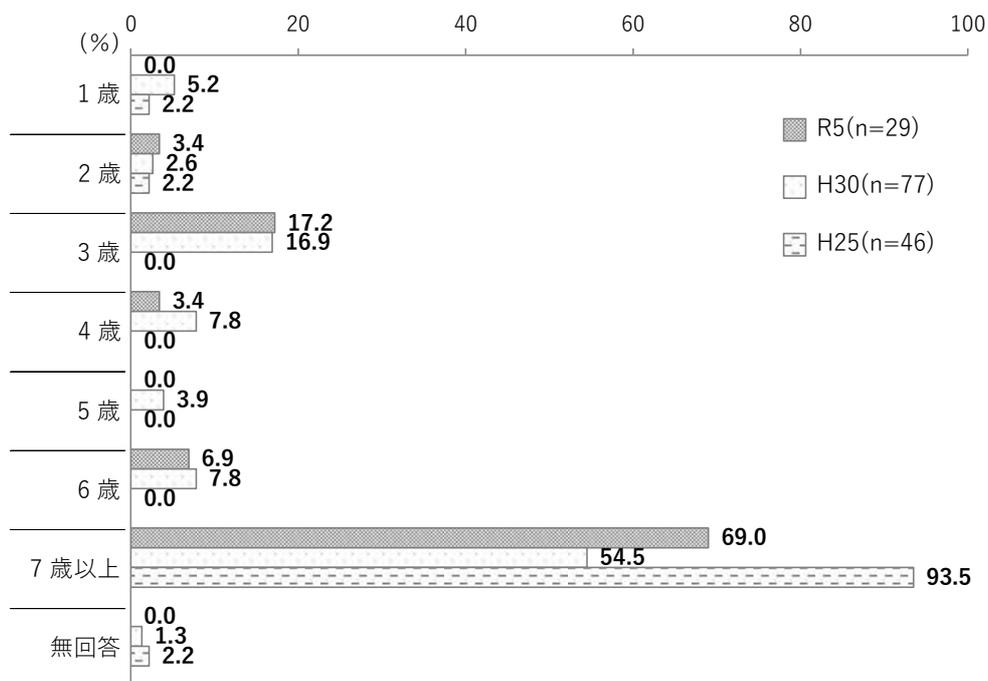


回答条件：母親が非就労かつ子どもが□□歳になったら就労したい人

「一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」と回答した方の□□歳頃の年齢は、「7歳以上」が69.0%と最も多く、次いで「3歳」が17.2%、「6歳」が6.9%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「7歳以上」が14.5ポイント増加しています。

図表 109 □□歳になったところ

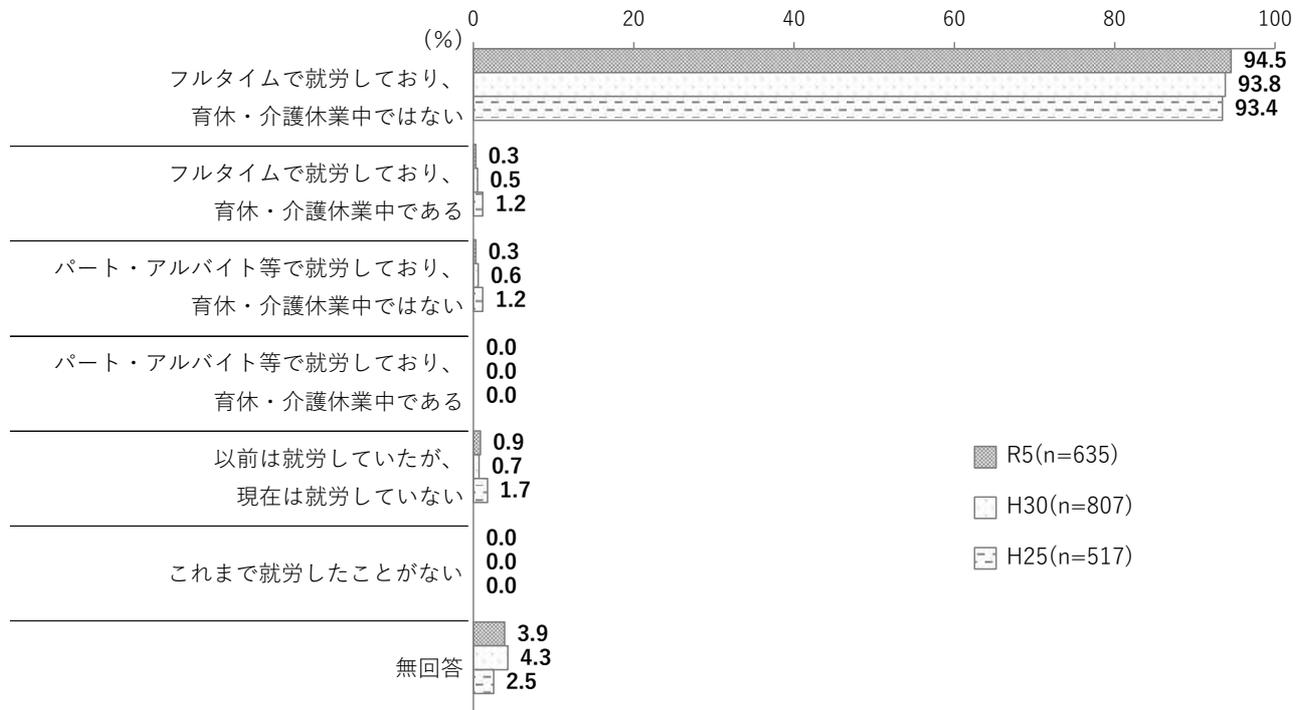


問 11 父親の就労状況 (SA)

回答条件：回答者=母親かつ配偶者いない人除く

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が94.5%と最も多くなっています。前回調査（H30）と比べても、大きな差はみられません。

図表 110 父親の就労状況

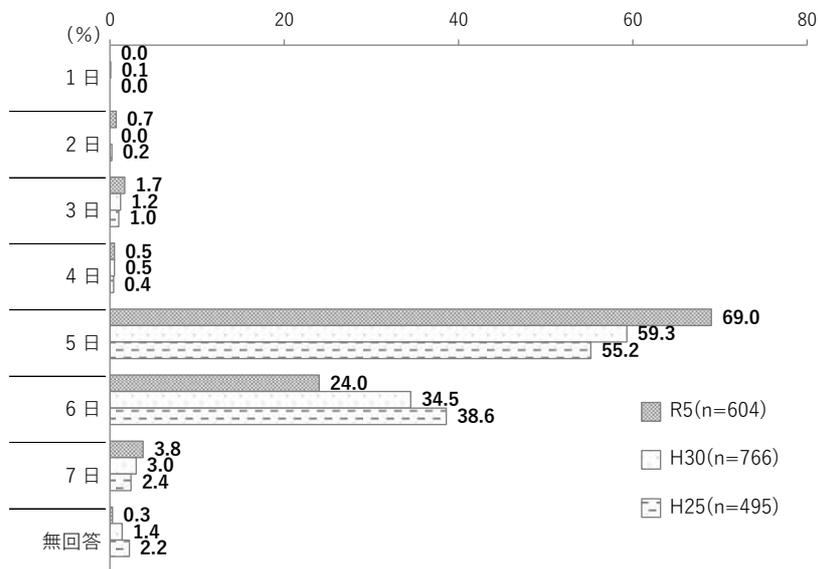


問 11-1 父親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

回答条件：父親が就労している人

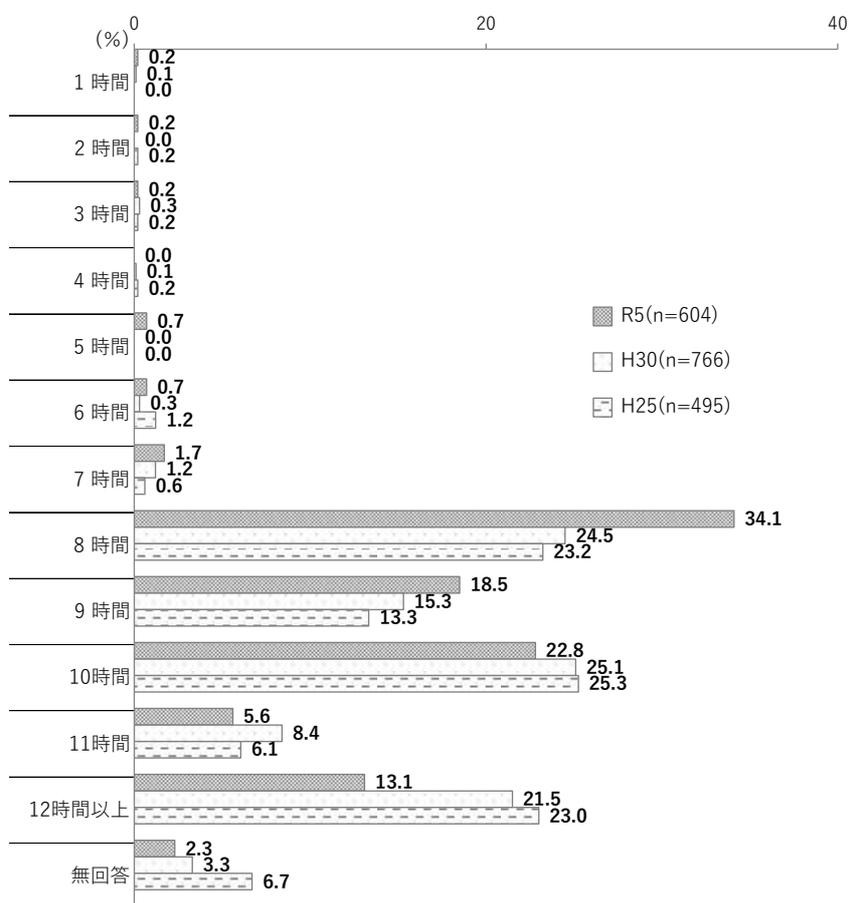
「5日」が69.0%、「6日」が24.0%となっています。
 前回調査 (H30) と比べると、「6日」が10.4ポイント減少しています。

図表 111 父親の平均就労日数



「8時間」が34.1%と最も多く、次いで「10時間」が22.8%、「9時間」が18.5%となっています。
 前回調査 (H30) と比べると、「8時間」が9.6ポイント増加、「12時間以上」が8.4ポイント減少しています。

図表 112 父親の平均就労時間

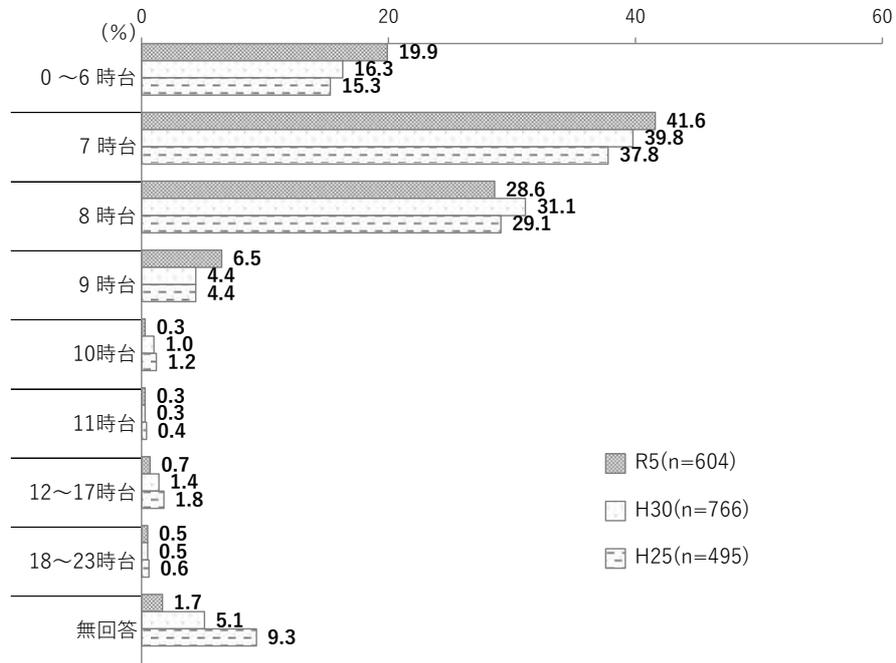


問 11-2 父親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

回答条件：父親が就労している人

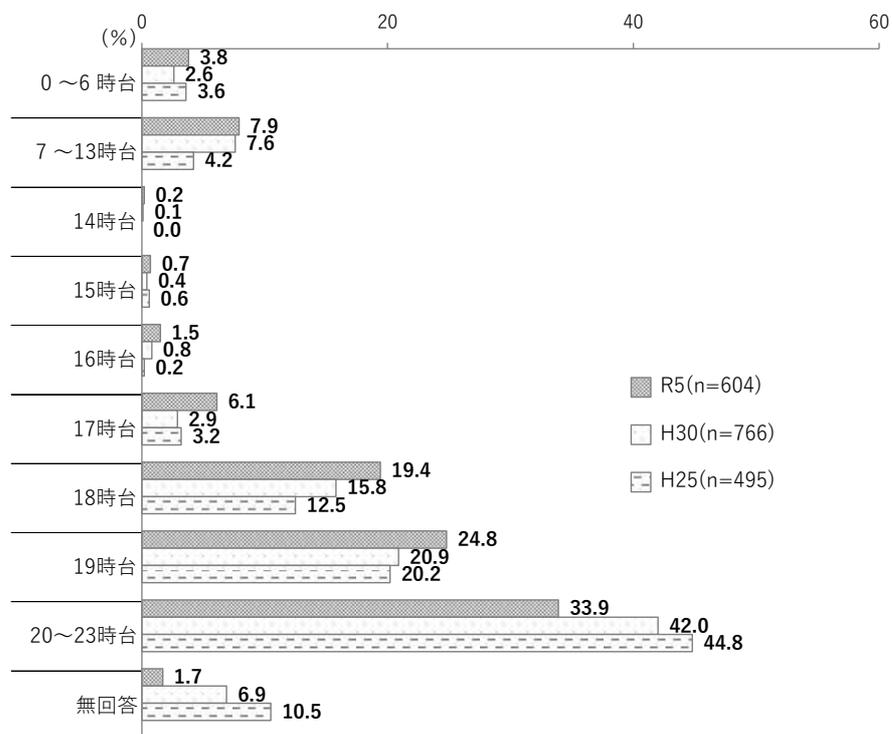
「7 時台」が 41.6%と最も多く、次いで「8 時台」が 28.6%、「0~6 時台」が 19.9%となっています。

図表 113 父親の家を出る時間



「20~23 時台」が 33.9%と最も多く、次いで「19 時台」が 24.8%、「18 時台」が 19.4%となっています。

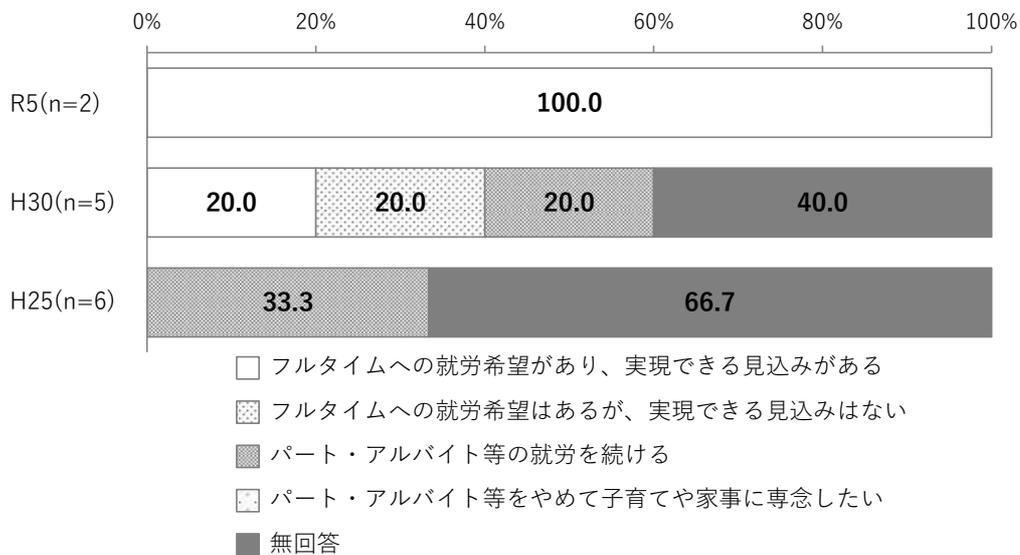
図表 114 父親の帰宅時間



問 11-3 父親のフルタイムへの就労希望 (SA)

回答条件：父親がパート・アルバイト等で就労している人

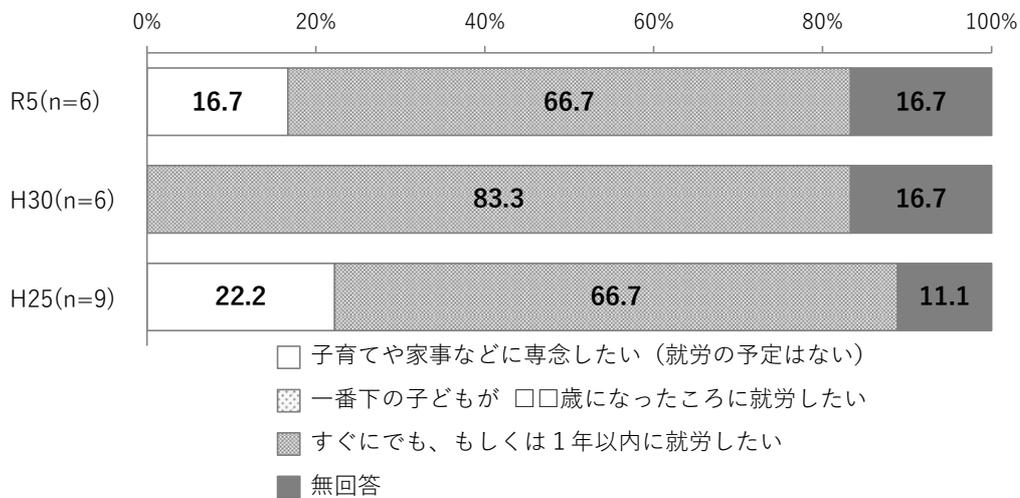
図表 115 父親のフルタイムへの就労希望



問 11-4 父親の就労希望 (SA)

回答条件：父親が現在就労していない人

図表 116 父親の就労希望



4. 放課後の過ごし方について

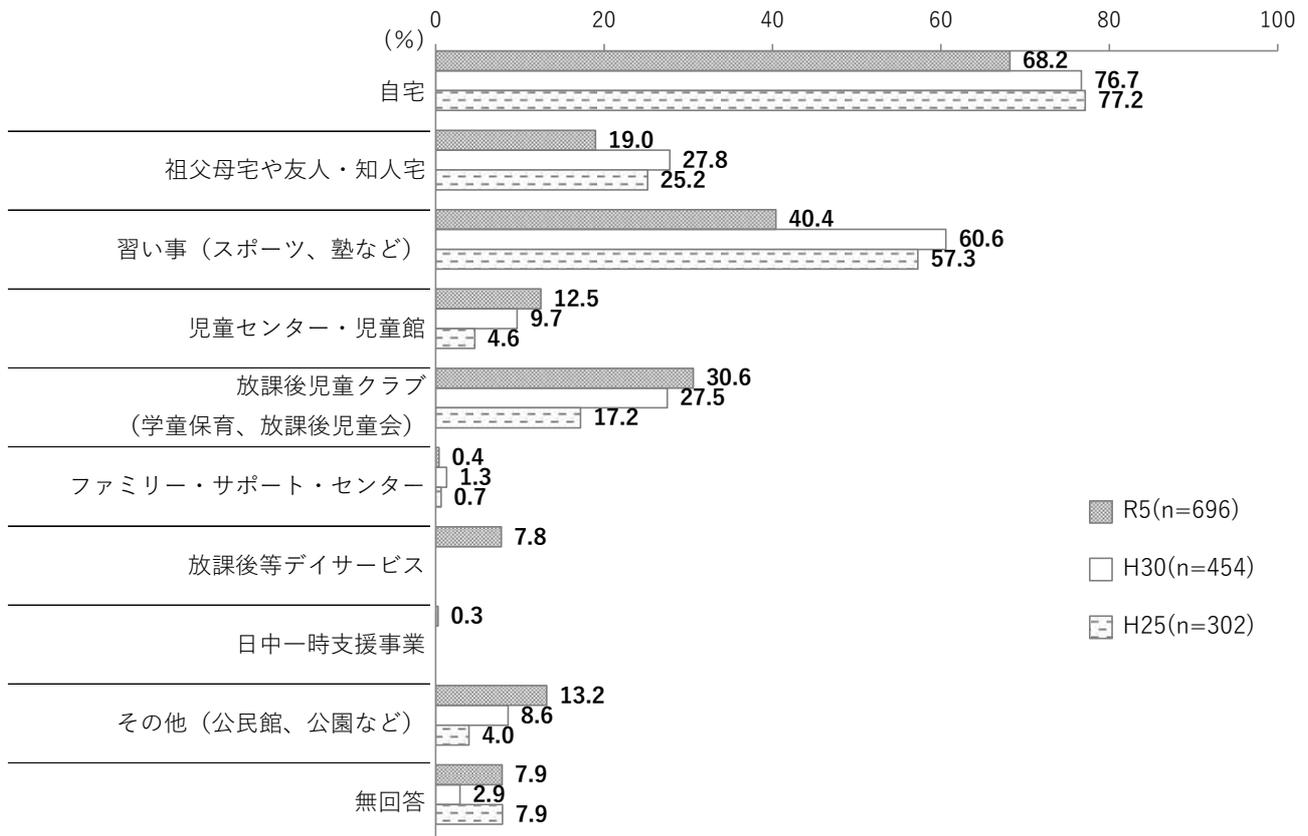
問 12 就学後の放課後に居場所として希望する場所 (MA)

【1～3年生までの間】

「自宅」が68.2%と最も多く、次いで「習い事」が40.4%、「放課後児童クラブ」が30.6%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「習い事」が20.2ポイント減少しています。

図表 117 就学後の放課後に居場所として希望する場所 低学年



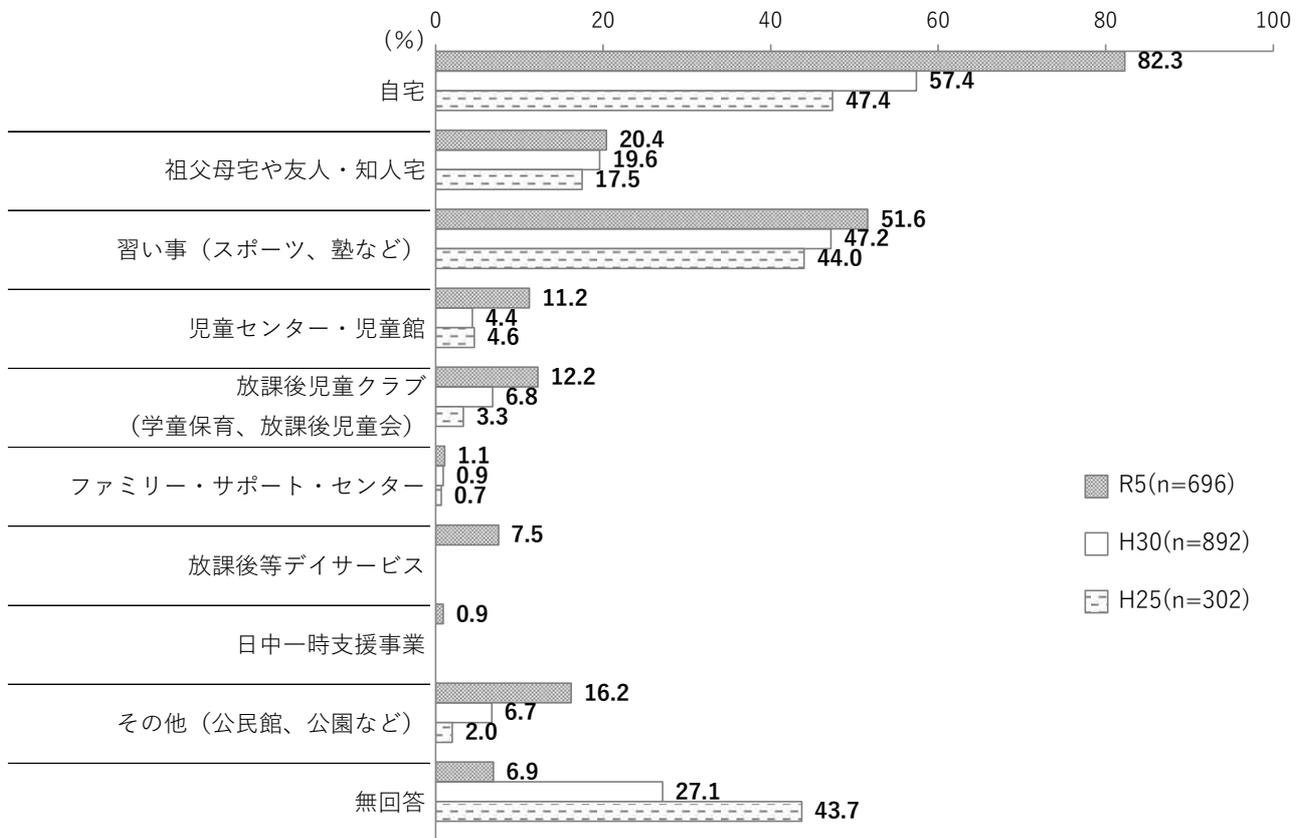
※「放課後等デイサービス」「日中一時支援事業」は新規の選択肢です。

【4～6年生までの間】

「自宅」が82.3%と最も多く、次いで「習い事」が51.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が20.4%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「自宅」が24.9ポイント増加しています。

図表 118 就学後の放課後に居場所として希望する場所 高学年



※「放課後等デイサービス」「日中一時支援事業」は新規の選択肢です。

問 13 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇での放課後児童クラブの利用希望（SA）

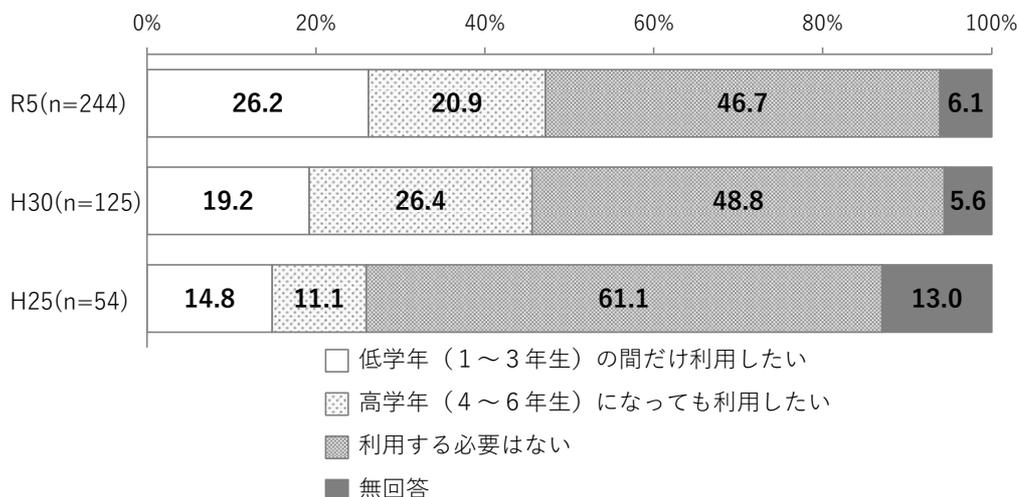
回答条件：放課後児童クラブを利用したい人

【土曜日】

「利用する必要はない」が46.7%と最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が26.2%、「高学年になっても利用したい」が20.9%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「高学年になっても利用したい」が5.5ポイント減少しています。

図表 119 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

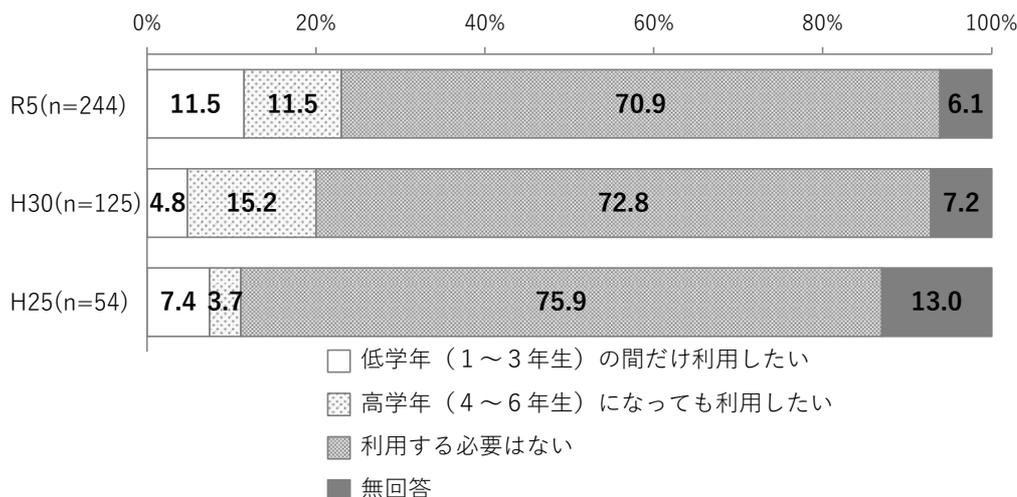


【日曜日・祝日】

「利用する必要はない」が70.9%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」「低学年の間だけ利用したい」が各々11.5%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「低学年の間だけ利用したい」が6.7ポイント増加しています。

図表 120 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

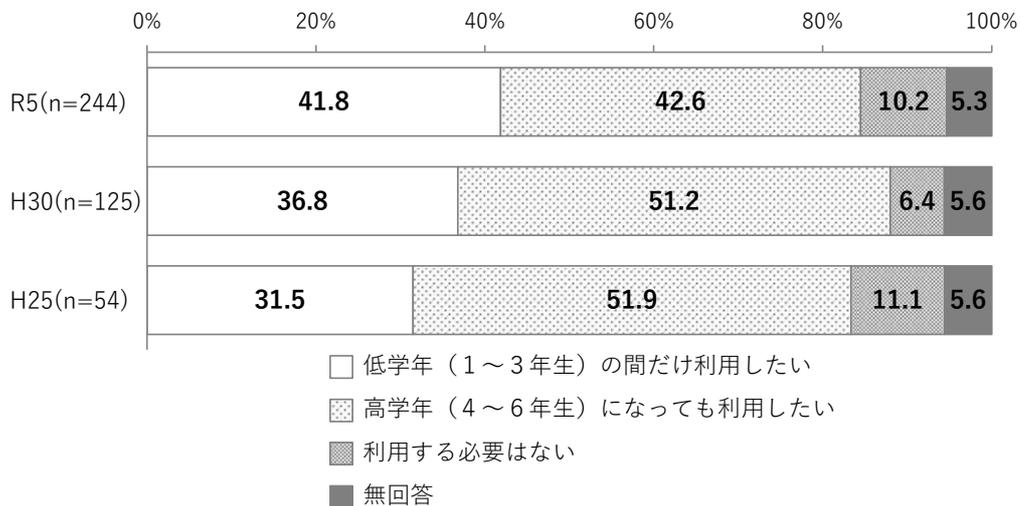


【長期休暇】

「高学年になっても利用したい」が42.6%、「低学年の間だけ利用したい」が41.8%、「利用する必要はない」が10.2%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「高学年になっても利用したい」が8.6ポイント減少、「低学年の間だけ利用したい」が5.0ポイント増加しています。

図表 121 長期休暇の放課後児童クラブの利用希望



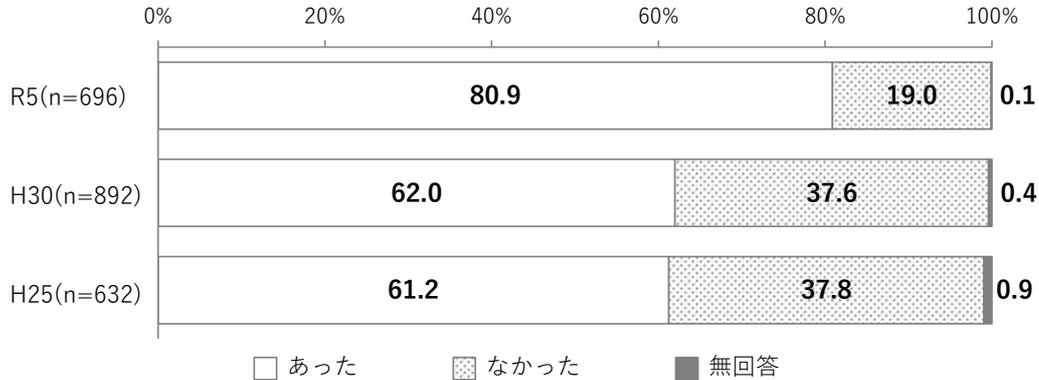
5. お子さんの病気の際の対応について

問 14 この1年間にお子さんの病気やケガによって学校を休んだ経験 (SA)

「あった」が80.9%、「なかった」が19.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「あった」が18.9ポイント増加しています。

図表 122 この1年間にお子さんの病気やケガによって学校を休んだ経験



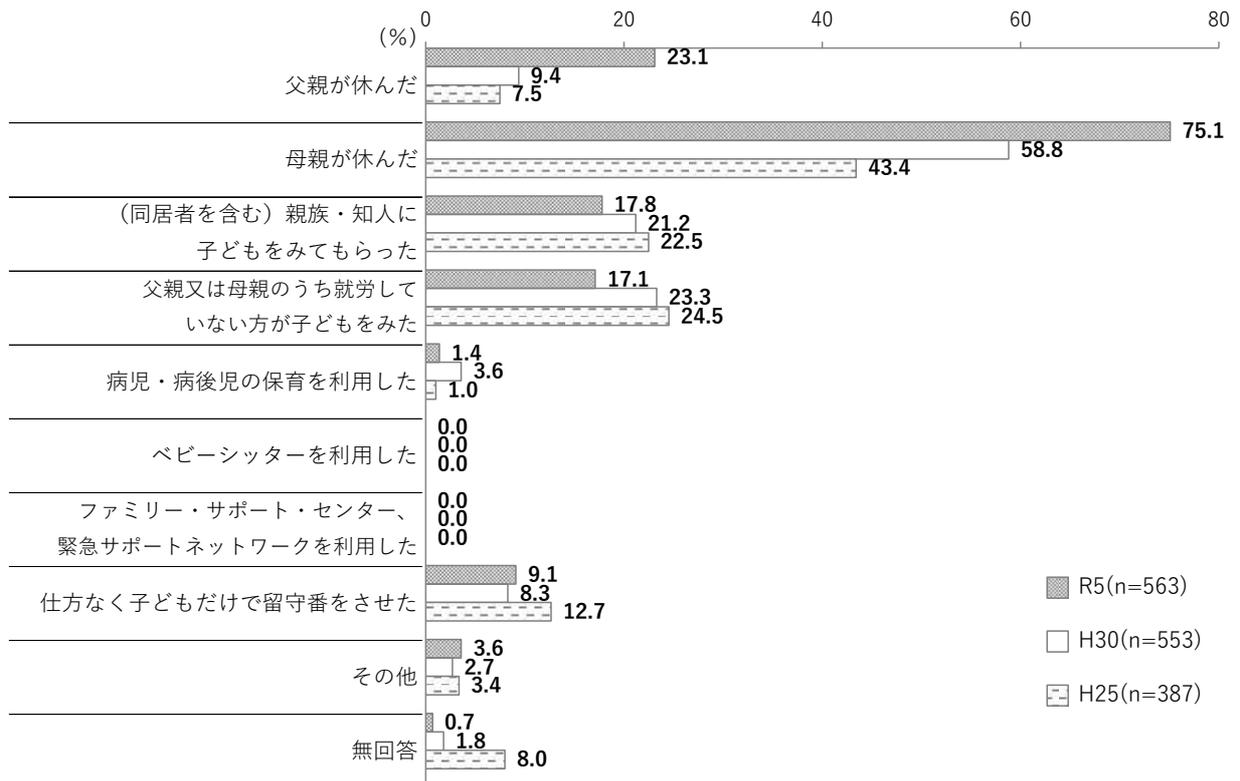
問 14-1 学校を休んだときの対処方法 (MA)

回答条件：子どもが病気やケガで学校を休んだことがある人

「母親が休んだ」が75.1%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が23.1%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が17.8%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「母親が休んだ」が16.3ポイント増加、「父親が休んだ」が13.7ポイント増加しています。

図表 123 学校を休んだときの対処方法



上段：実数 下段：比率		問14-1 お子さんの病気やケガで学校を休んだときの対処方法										
		合計	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センター、緊急サポートネットワークを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体		563 100.0	130 23.1	423 75.1	100 17.8	96 17.1	8 1.4	-	-	51 9.1	20 3.6	4 0.7
問2 お子さんの学年	1年生	101 100.0	22 21.8	74 73.3	23 22.8	22 21.8	-	-	-	2 2.0	2 2.0	1 1.0
	2年生	81 100.0	20 24.7	56 69.1	17 21.0	17 21.0	4 4.9	-	-	4 4.9	5 6.2	-
	3年生	92 100.0	25 27.2	76 82.6	11 12.0	12 13.0	1 1.1	-	-	7 7.6	2 2.2	-
	4年生	111 100.0	22 19.8	85 76.6	16 14.4	21 18.9	2 1.8	-	-	6 5.4	4 3.6	1 0.9
	5年生	98 100.0	24 24.5	70 71.4	15 15.3	12 12.2	1 1.0	-	-	23 23.5	7 7.1	1 1.0
	6年生	80 100.0	17 21.3	62 77.5	18 22.5	12 15.0	-	-	-	9 11.3	-	1 1.3

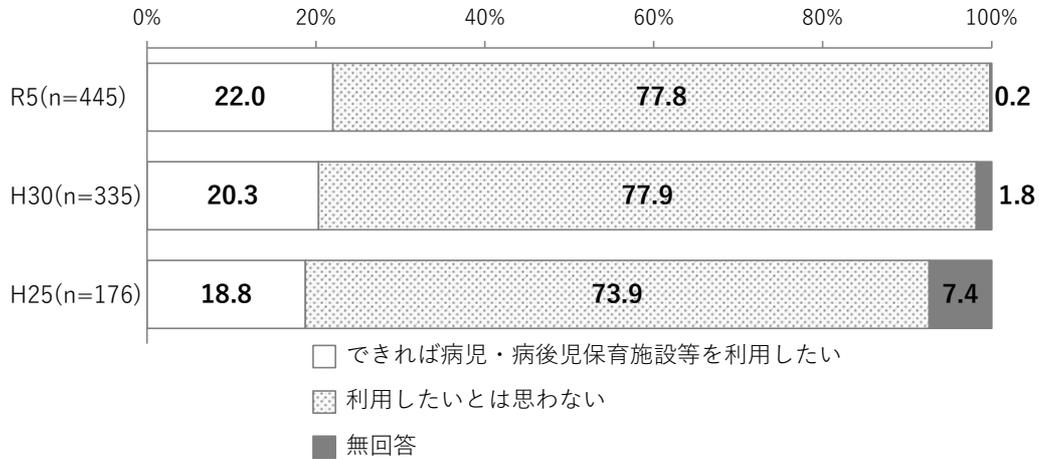
問 14-2 病児・病後児の保育施設等の利用希望 (SA)

回答条件：父親または母親が休んで対処した人

「利用したいとは思わない」が77.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が22.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。

図表 124 病児・病後児の保育施設等の利用希望

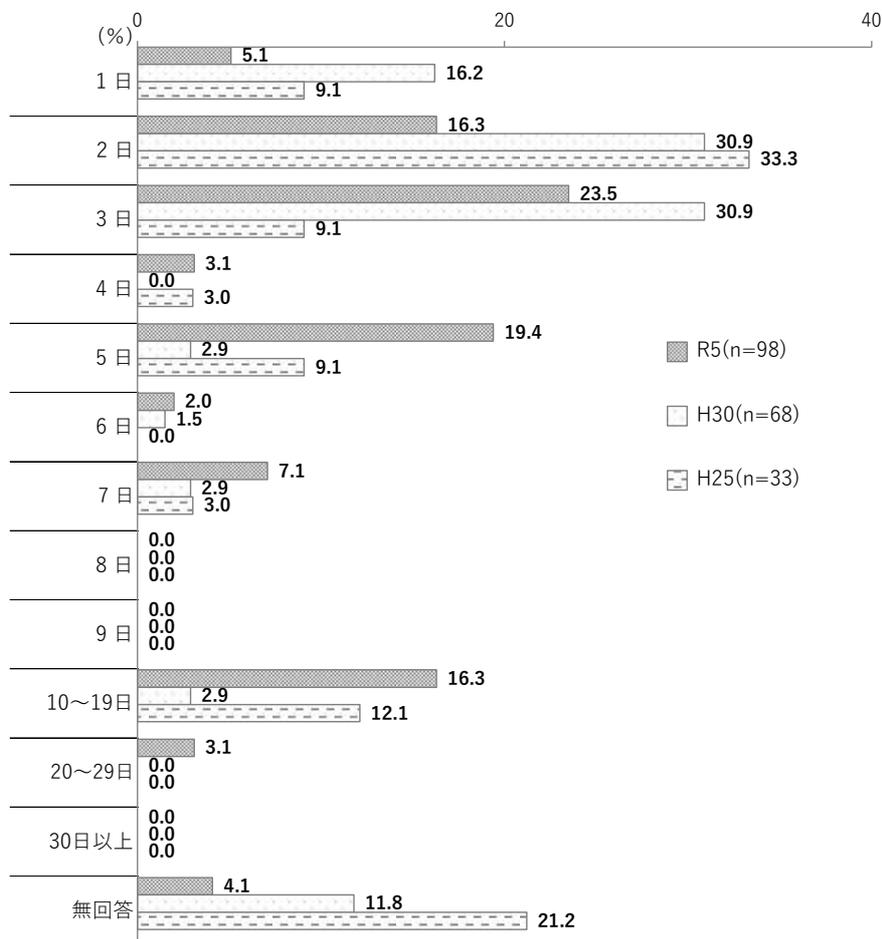


回答条件：できれば病児・病後児保育施設等を利用したい人

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方の利用したい日数は、「3日」が23.5%、「5日」が19.4%となっています。

前回調査（H30）と比べると、「5日」が16.5ポイント増加しています。

図表 125 利用したい日数

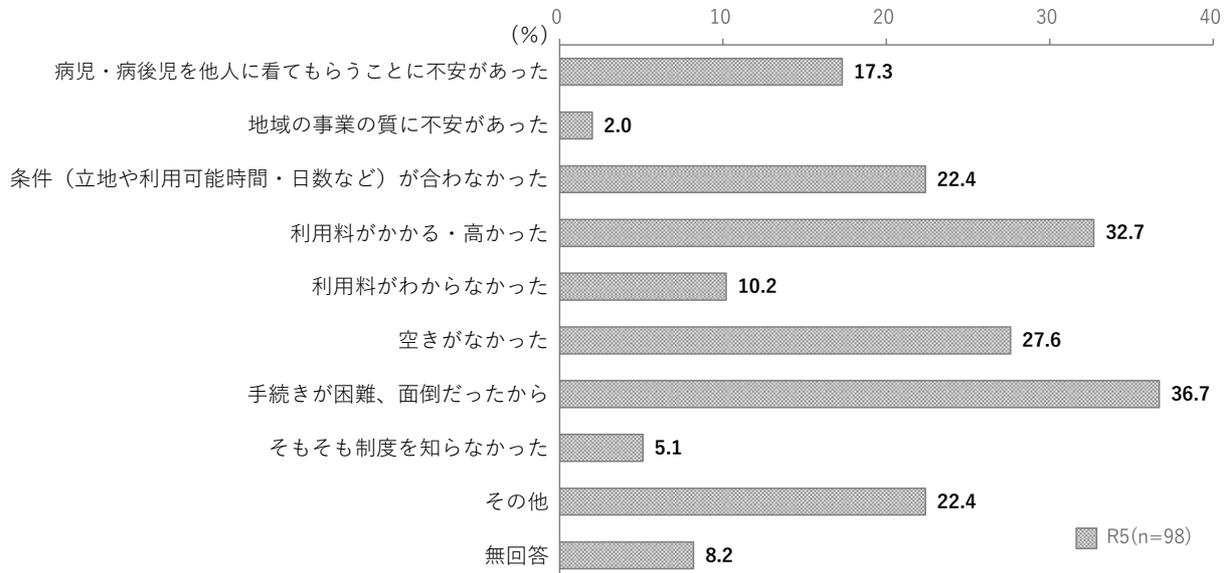


問 14-3 病児・病後児の保育施設等を利用しなかった理由 (MA)

回答条件：できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった人

「手続きが困難、面倒だったから」が36.7%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高かった」が32.7%となっています。

図表 126 病児・病後児の保育施設等を利用しなかった理由



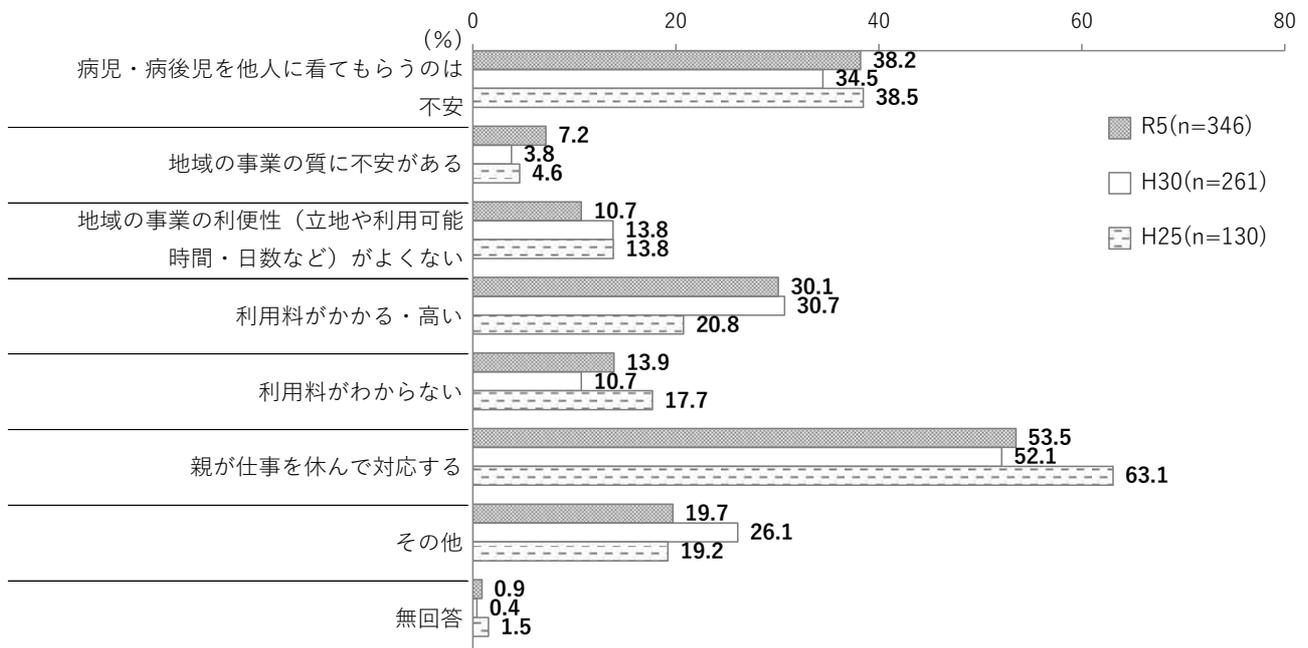
問 14-4 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由 (MA)

回答条件：病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない人

「親が仕事を休んで対応する」が53.5%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が38.2%、「利用料がかかる・高い」が30.1%となっています。

前回調査(H30)と比べて大きな差はみられません。

図表 127 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由

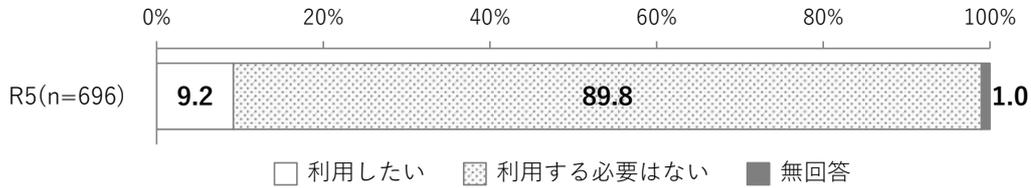


6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 15 子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用希望の有無（SA）（MA）

「利用する必要はない」が 89.8%、「利用したい」が 9.2%となっています。

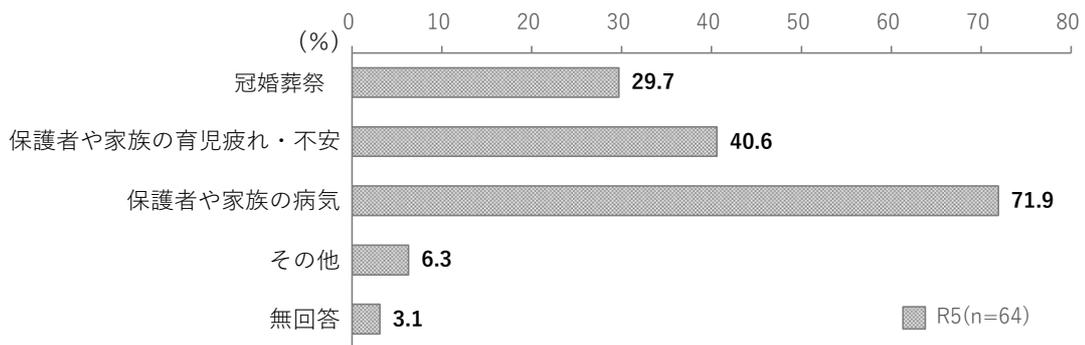
図表 128 子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用希望の有無



回答条件：子育て短期支援事業を利用したい人

「利用したい」と回答した方の利用内容は、「保護者や家族の病気」が 71.9%と最も多くなっています。

図表 129 利用目的

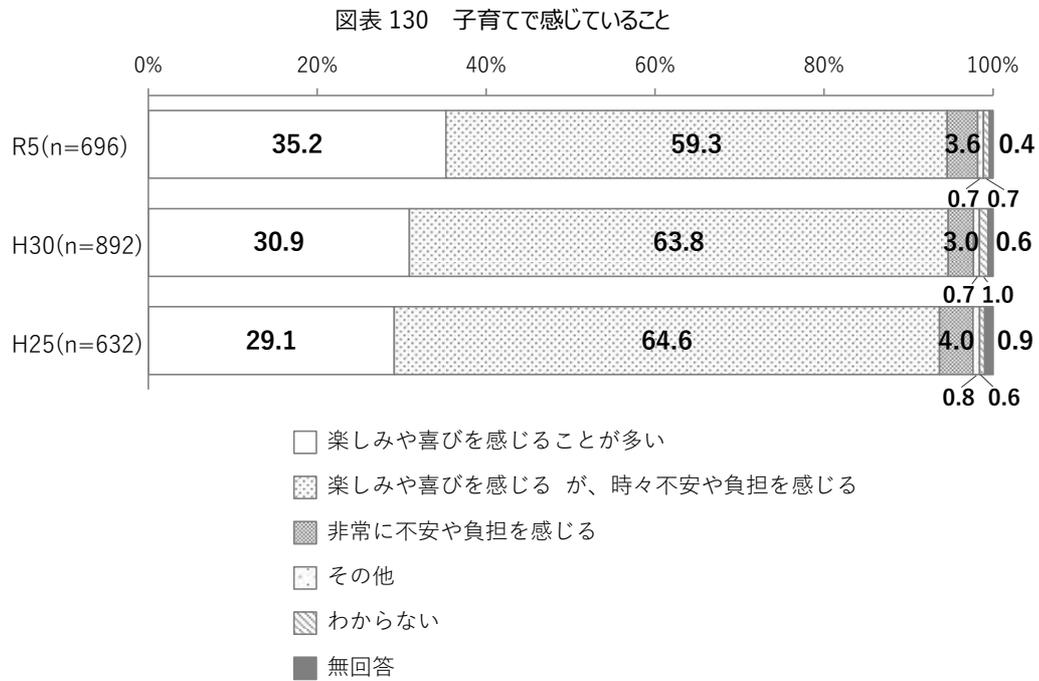


7. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 16 子育てで感じていること (SA)

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が 59.3%、「楽しみや喜びを感じるが多い」が 35.2%となっています。

前回調査 (H30) と比べて大きな差はみられません。



問 16-1 子育てで感じていることの原因 (FA)

理由について、460 人が回答しています。

意見内容等は、以下のとおりです。(抜粋)

「楽しみや喜びを感じるが多い」理由

- 父(夫)と協力し合って話し合っながら色々解決しながら子育てができているので、楽しんで過ごしているからです。
- 不安になったり負担に感じている時もあると思うが、それでも子どもの成長を一番近くでみれることが幸せだから。
- 子ども達の試合を観に行っって他の保護者達と応援することが今の一番の楽しみ。
- 子どもとの会話が楽しい。おやつを作っている間、たべてくれるとき幸せ。悩みをきき、話をきく時すぐそばにいれることがよかったと思う。
- 子どもが就学前は負担が大きくとても辛かった。病気のときは病児保育に預けたり、休んだり、あちこちに頭を下げて乗り切った。いまは小学生3年になり、体調を崩すことが減って仕事との両立が楽になった。
- 夫婦共働きで、経済的に余裕がある分、気持ち的にも穏やかに過ごせているんだと思います。こどもが風邪などで親が休まないといけないときも、互いの職場の理解があることは大きいです。そして、夫婦で交代で休むこともできるので、気持ちの余裕があるので、子育ての負担よりも楽しさが勝っているんだと思います。

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」理由

- 笑顔で元気に一緒にすごしている事に楽しみや喜びを感じるが、母子家庭の為、自分に何かあった時の事を考えると不安になる。
- 私が思い描いていたよりも良い子に育ってくれた。反面、わがまますぎて、手に負えない時もある。
- 経済的な理由が大きいです。物価の値上りは続くが給料が増えるわけでもなく、そういう日々の中で子育てに対しての不安はあります。
- 子どもの今後の進路が楽しみではあるが子供のやる気を引き出せるか、どう進んでいくか心配もある。
- 私は大丈夫ですが、妻はほぼ子供につきっきりなので妻が心配になるときがあります。
- 下の子に障害があるので成長してると感じれば嬉しいが、この先どうなるのかが一番不安に感じます。

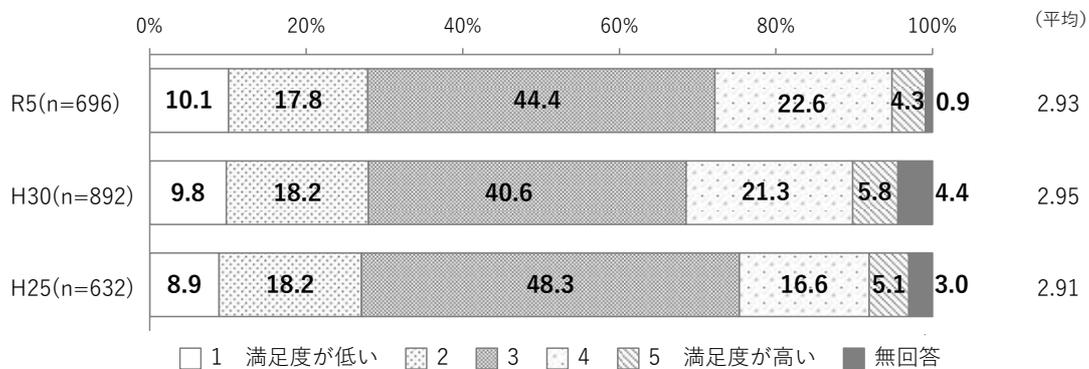
「非常に不安や負担を感じる」理由

- ひとり親の為、自分に子どものことが、ちゃんと考えられているのか、とても不安に感じます。
- 子育て全般に楽しみよりもストレスを感じることも多いから。
- 子供が大きくなって、家のことを手伝ってくれないので、負担ばかりが増えている。ゲームばかりやっっていて、ご飯に呼んでも来ないのでイライラする。

問 17 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

中間の「3」が44.4%と最も多く、次いで「4」が22.6%、「2」が17.8%となっています。
 前回調査 (H30) と平均値を比べると、満足度に大きな差はみられません。

図表 131 地域の子育ての環境や支援の満足度

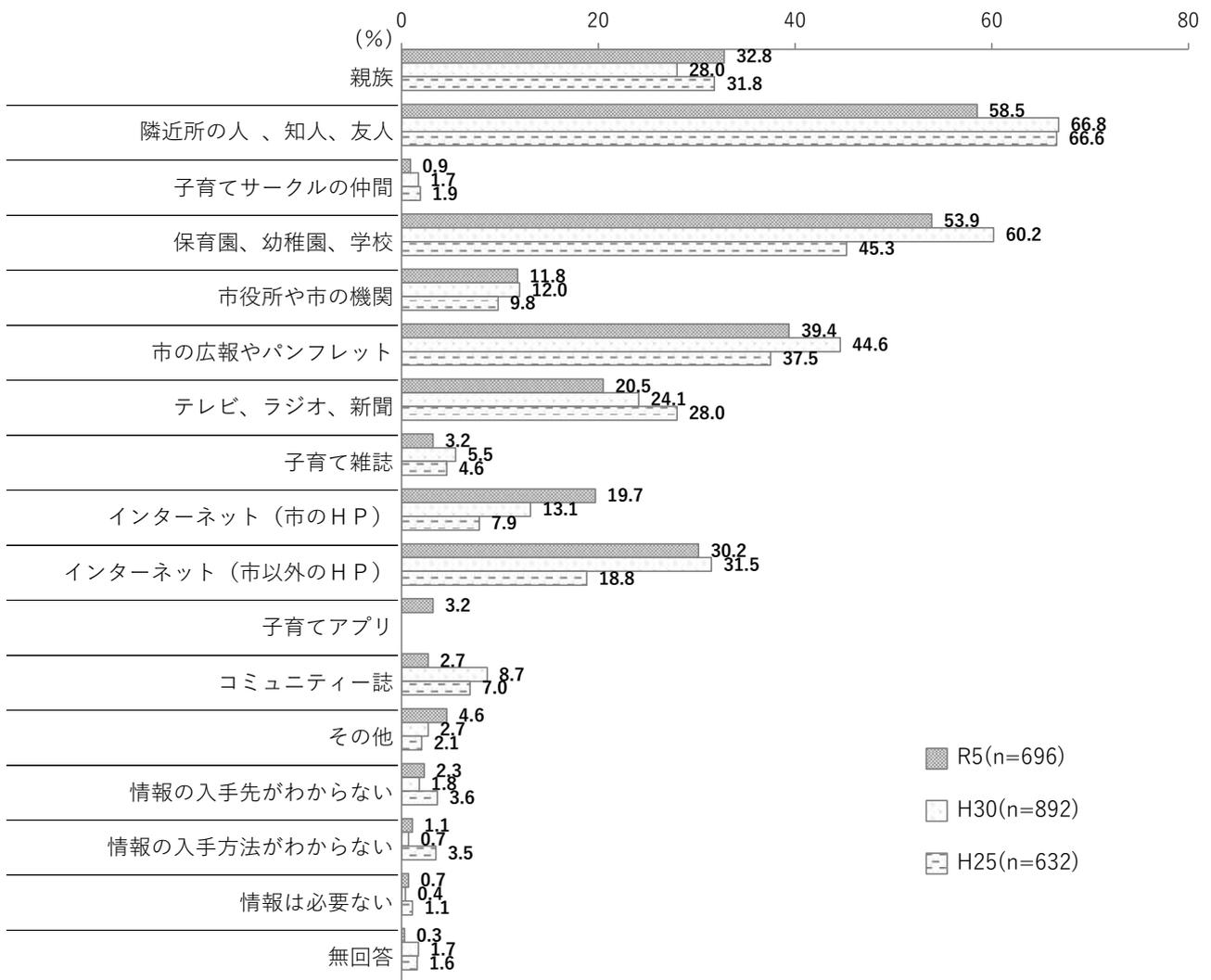


問 18 子育てに関する情報の入手先 (MA)

「隣近所の人、知人、友人」が58.5%と最も多く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が53.9%、「市の広報やパンフレット」が39.4%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「インターネット (市のHP)」が6.6ポイント増加、一方「隣近所の人、知人、友人」は8.3ポイント、「保育園、幼稚園、学校」は6.3ポイント、「コミュニティー誌」は6.0ポイント、「市の広報やパンフレット」は5.2ポイント減少しています。

図表 132 子育てに関する情報の入手先



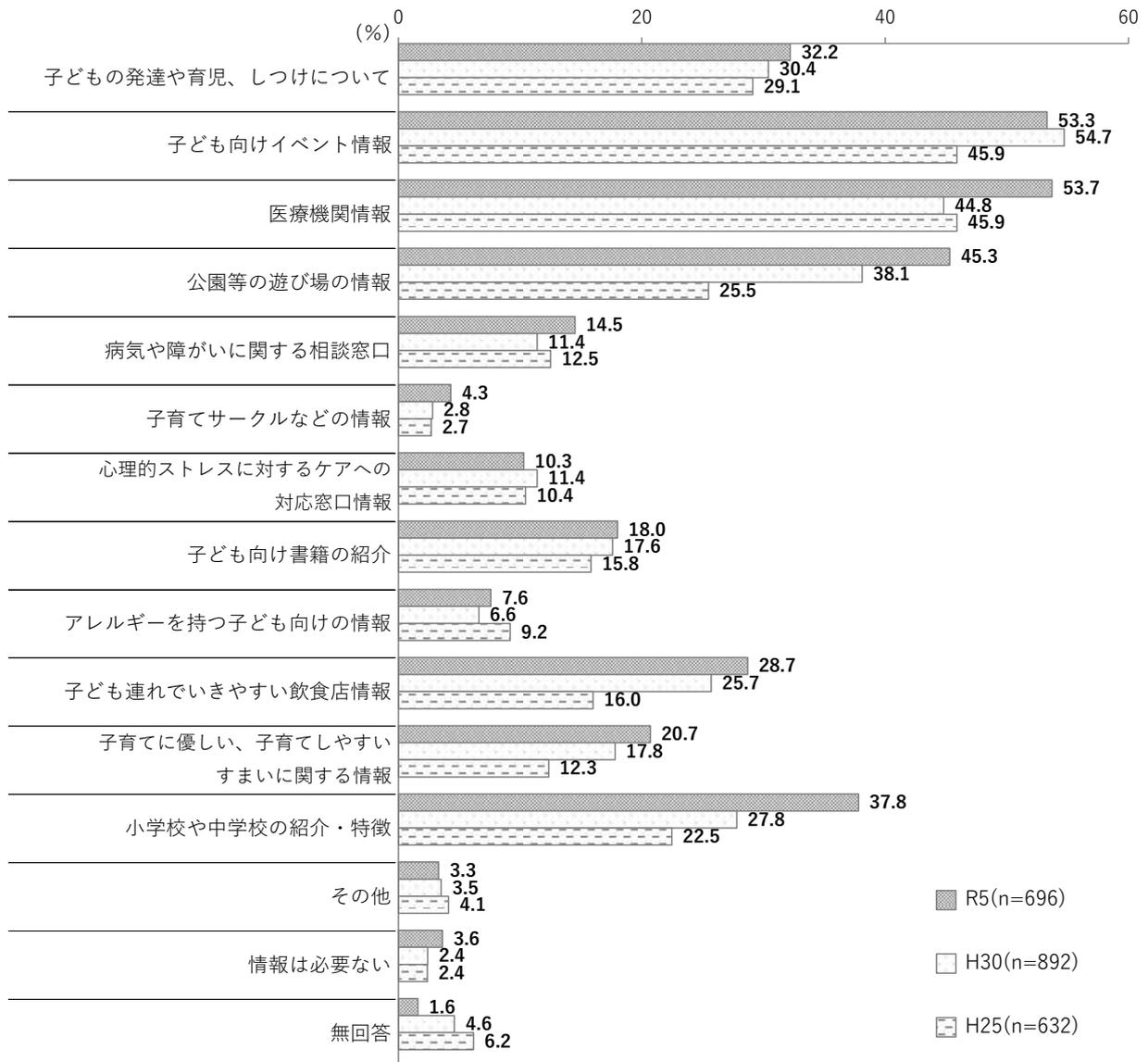
※「子育てアプリ」は新規の選択肢です。

問 19 子育てに関する情報で欲しいこと (MA)

「医療機関情報」が 53.7%、「子ども向けイベント情報」が 53.3%、「公園等の遊び場の情報」が 45.3% となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「小学校や中学校の紹介・特徴」が 10.0 ポイント、「医療機関情報」が 8.9 ポイント、「公園等の遊び場の情報」が 7.2 ポイント増加しています。

図表 133 子育てに関する情報で欲しいこと

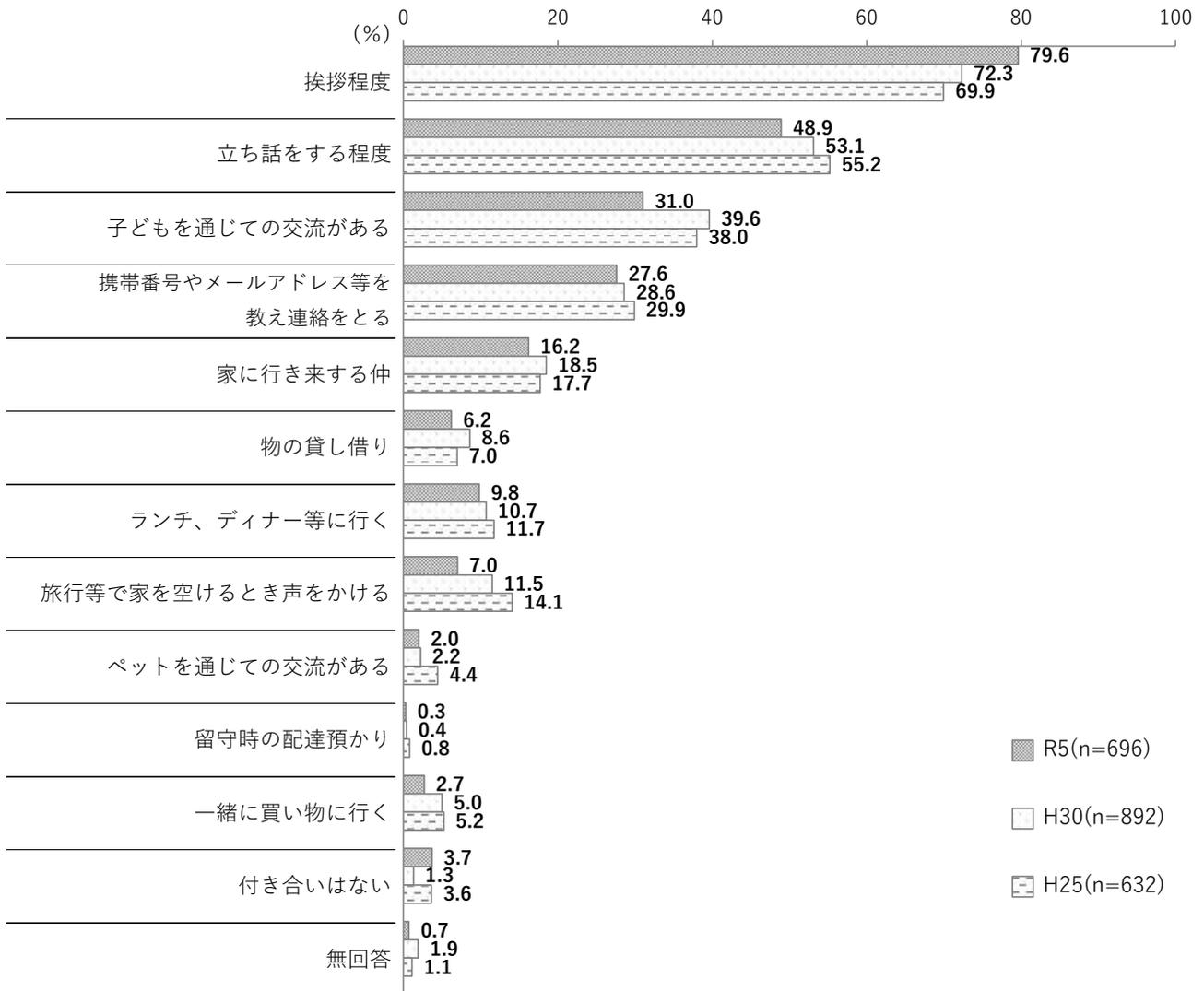


問 20 近所とのつきあいの程度 (MA)

「挨拶程度」が79.6%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が48.9%、「子どもを通じての交流がある」が31.0%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「挨拶程度」が7.3ポイントの増加、「子どもを通じての交流がある」が8.6ポイント減少しています。

図表 134 近所とのつきあいの程度

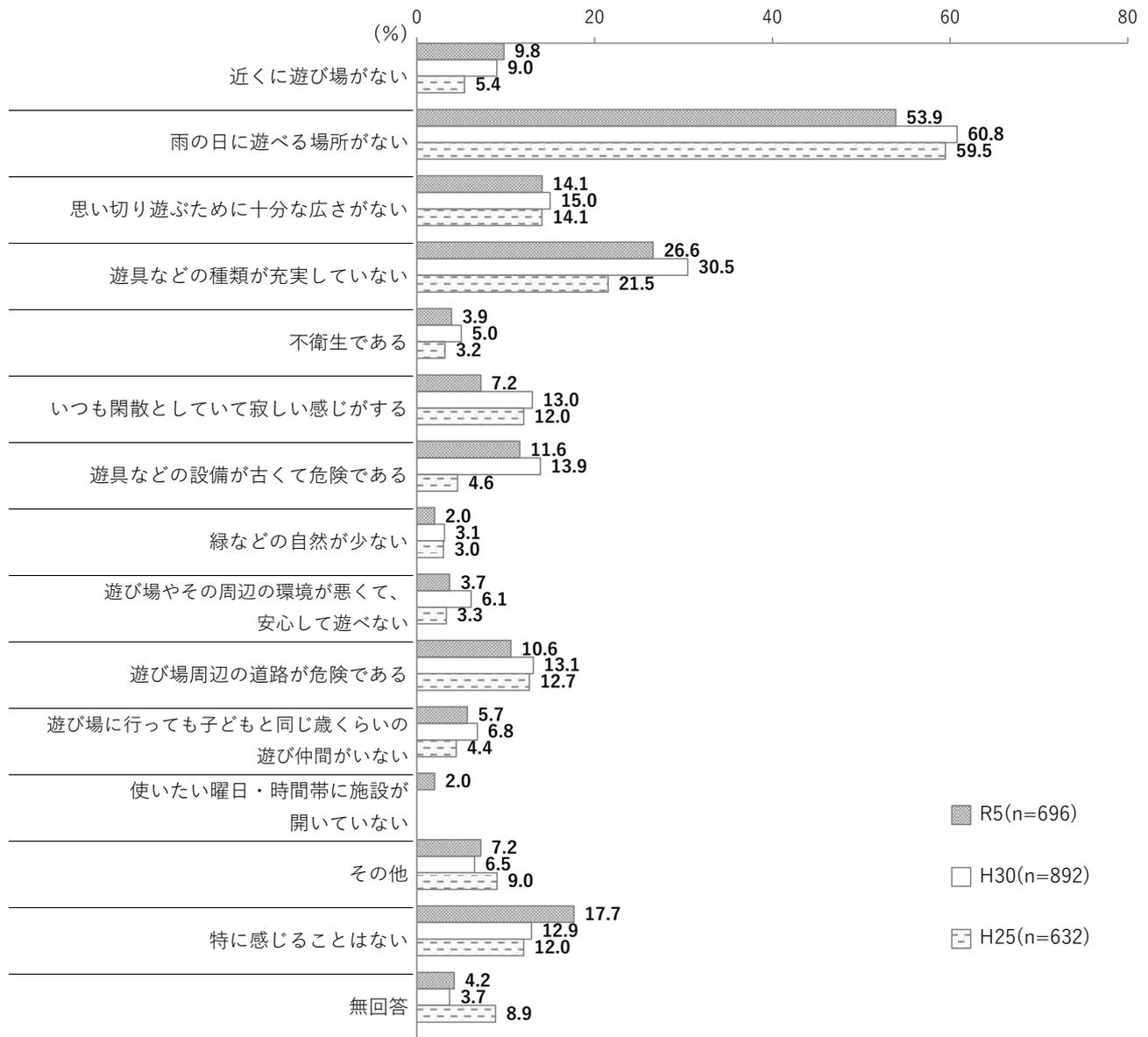


問 21 家の近くの遊び場について感じていること (MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が53.9%と最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が26.6%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が14.1%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「雨の日に遊べる場所がない」が6.9ポイント、「いつも閑散としていて寂しい感じがする」が5.8ポイント減少しています。

図表 135 家の近くの遊び場について感じていること



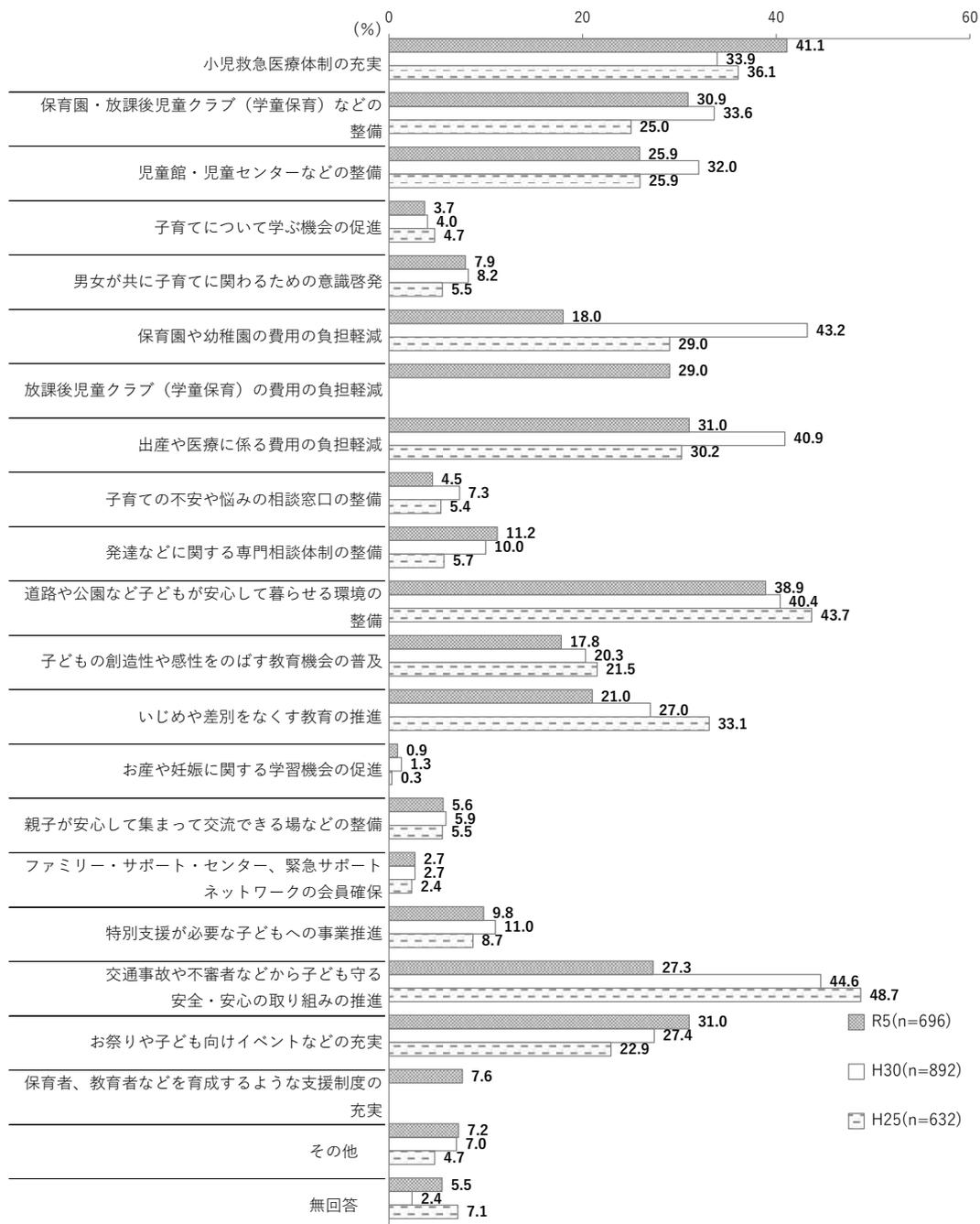
※「使いたい曜日・時間帯に施設が開いていない」は新規の選択肢です。

問 22 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと (MA)

「小児救急医療体制の充実」が41.1%と最も多く、次いで「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が38.9%となっています。

前回調査 (H30) と比べると、「小児救急医療体制の充実」が7.2ポイント増加、「保育園や幼稚園の費用の負担軽減」が25.2ポイント、「交通事故や不審者などから子どもを守る安全・安心の取り組みの推進」が17.3ポイント減少しています。

図表 136 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと



※「放課後児童クラブ(学童保育)の費用の負担軽減」「保育者、教育者などを育成するような支援制度の充実」は新規の選択肢です。

※「保育園や幼稚園の費用の負担軽減」「ファミリー・サポート・センター、緊急サポートネットワークの会員確保」は前回調査までと表現が異なります。

問 23 子育ての環境や支援に関してのご意見 (FA)

子育ての環境や支援に関してのご意見について、283 人から 443 件の回答をいただきました。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

主な記述内容	件数
1. 学校教育環境の整備（学校・幼稚園）	65
2. 医療の充実（病院を増やす、負担軽減、無料化など）	60
3. 地域における子育て支援（経済的支援、周囲の援助・情報）	58
4. 生活環境の整備（交通・遊び場）	57
5. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実	48
6. 安全等の確保、不審者・交通事故	42
7. 職場と家庭の両立	28
8. 保育サービスの充実（延長、一時保育、預かり、待遇改善など）	24
9. 幼児教育・保育の無償化・負担軽減	12
10. 健康の確保及び増進	2
その他	47
合計	443